

2025 年度（令和7年度）

学生による授業評価アンケート
実施報告書

福山大学大学教育センター
教育開発部門

目次

はじめに.....	1
1. アンケート調査の目的.....	2
2. アンケート調査の概要.....	2
(1) 実施期間.....	2
(2) 調査科目の選定.....	2
(3) アンケート調査内容.....	2
(4) 調査結果の集計.....	3
(5) 学生へのフィードバック方法.....	3
(6) アンケート実施後の教員による報告書提出.....	3
(7) アンケート実施後の学科による総括.....	3
3. 全学、学部・センターのアンケート調査結果.....	5
(1) 全学、学部・センターの集計結果一覧.....	5
(2) アンケート回答率について.....	9
(3) 調査結果の内容（学生による授業評価結果について）.....	10
①【質問1】授業準備について.....	10
②【質問2】話し方について.....	11
③【質問3】授業の計画性について.....	12
④【質問4】授業時間について.....	13
⑤【質問5】講義の工夫について.....	14
⑥【質問6】質問への誠意について.....	15
⑦【質問7】講義の満足度について.....	16
(4) 調査結果の内容（学生の自己点検について）.....	17
①【質問8】関連学習について.....	17
②【質問9】集中力について.....	18
③【質問10】出席状況について.....	19
④【質問11】知識や技能の深まりについて.....	20
⑤【質問12】授業内容理解への積極性について.....	21
⑥【質問13】意欲の高まりについて.....	22
⑦【質問14】講義の満足度について.....	23
4. 全学、学部・センターの全体総括.....	24
5. 学科の授業評価アンケート結果.....	26
(1) 学科の集計結果一覧.....	26
6. 学科、センターの個別総括.....	30
① 経済学部経済学科.....	30

② 経済学部国際経済学科	32
③ 経済学部税務会計学科	34
④ 人間文化学部人間文化学科	36
⑤ 人間文化学部心理学科	38
⑥ 人間文化学部メディア・映像学科.....	40
⑦ 工学部電気電子工学科	43
⑧ 工学部建築学科.....	45
⑨ 工学部情報工学科	48
⑩ 工学部機械システム工学科	50
⑪ 生命工学部生物科学科	52
⑫ 生命工学部健康栄養科学科	55
⑬ 生命工学部海洋生物科学科	57
⑭ 薬学部薬学科	59
⑮ 大学教育センター	62
⑯ 共同利用センター	66
7. 令和7年度（前期）授業評価アンケート実施科目一覧	68
8. 令和7年度（後期）授業評価アンケート実施科目一覧	75

はじめに

福山大学は、次の6つを教育目標として掲げ、この目標を達成するべく、日々、教育の改革と改善に取り組んでいる。

福山大学教育目標

- (1) 真理の探究と道理の実践
- (2) 豊かな品性と強い意志の涵養
- (3) 生命と自然の尊重
- (4) 個性の発揮と信頼に基づく人間関係の構築
- (5) 可能性への挑戦
- (6) 地域社会の発展への貢献

教育とは、学修者の行動に価値ある変化をもたらすプロセスであり、「何を教えたか？」ではなく、「学修者が、何ができるようになったか？」が問われる。通常、教育者は、教育の効果を試験の結果、すなわち学修成果として認識し把握している。

しかしながら、真に教育を改善するためには、学修者からの忌憚のないフィードバックを得ることは必要不可欠である。このため福山大学では、自己評価委員会が平成16年度に実施して以来、本学のすべての教員が毎年、学生による授業評価を受けている。平成23年度より大学教育センターが担当することになり、学生による授業評価だけでなく学生自身の学修の点検も加えたアンケート調査を実施している。

令和7年度も、大学教育センター教育開発部門が「学生による授業評価アンケート」を実施した。このアンケート調査結果が、教員と学生がそれぞれの目標とする教育と学修の成果向上の機会となることを願っている。

令和8年3月31日

大学教育センター センター長 鶴田 泰人
同 教育開発部門 生物科学科長 岩本 博行
健康栄養科学科長 菊田 安至
海洋生物科学科長 北口 博隆
IR室 片桐 重和（データ集計・解析）

1. アンケート調査の目的

学生が主体的に学ぶ授業の展開を目指して、学生が授業をどのように受講しているのか、授業の何を期待しているのかを教員が理解し、各教員の授業改善に資するために本アンケートを実施する。また、全学的な教育改革の成果を検討する貴重な資料とする。さらに、学生が自己評価し、自身の学習姿勢を点検して改善に役立てるために本アンケートを実施する。

2. アンケート調査の概要

(1) 実施期間

前期：令和7年6月23日（月）～7月13日（日）

後期：令和7年12月8日（月）～令和8年1月16日（金）

(2) 調査科目の選定

本学に勤務する教員（非常勤講師を含む）を対象に、各教員前期1科目、後期1科目のアンケートを実施した。科目の選定は、各学科長・センター長に依頼した。全学で前期250科目（受講者数延べ14,100人）、後期239科目（受講者数延べ14,484人）について実施した。調査科目はp.68～81に示す。

(3) アンケート調査内容

アンケートの調査項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学修点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。各設問を以下に示す。

【質問1】 授業準備：授業の準備が適切になされていると思いますか？

【質問2】 教員の話し方：教員の話しは聞き取りやすいですか？/（音声のない遠隔授業の場合では）資料は読みやすいですか？

【質問3】 授業の計画性：授業はシラバス通りに行われていますか？

【質問4】 授業時間：授業を遅く始めたり、早く終わったりしないで、授業時間を守っていますか？

【質問5】 講義の工夫：教員は、授業内容を理解しやすいように工夫していると思いますか？

【質問6】 質問への誠意：教員は、あなたの質問に誠意をもって答えていますか？

【質問7】 授業への満足度：この授業に対する総合的なあなたの満足度を5段階で示してください。

【質問8】 関連学習：この授業に関して、1回の授業あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか？

【質問9】 集中力：授業中に私語、居眠り、携帯電話の操作、あるいは別のことを考えることなどはありますか？

【質問10】 出席状況：授業には特別な事情（公認欠席、忌引きなど）を除き、出席していますか？

【質問11】 知識や技能の深まり：この授業を受講して、授業内容を更に詳しく学びたいと思いますか？

【質問12】 授業内容理解への積極性：授業内容のわからない点や疑問に思う点について、教員や友人への質問、インターネットや書籍を利用した自己学習等によって積極的に解決しようとしていますか？

【質問13】 意欲の高まり：この授業を受講して、授業内容を更に詳しく学びたいと思いますか？

【質問 14】学修の成果：この授業であなたが得た成果を 5 段階で自己評価してください。

(4) 調査結果の集計

アンケート調査及び結果の集計は学修支援システム Cerezo（セレツソ）の機能を利用して行った。集計後、各回答数に係数（強く肯定する回答には 5、強く否定する回答には 1）を乗じ全回答数で除することで、平均点を算出した。強く否定する回答にも係数 1 を与えているため、最高点は 5.0、最低点は 1.0、標準点は 3.0 となる。なお、質問 3 では「シラバスを読んでいない」、質問 4 では「この授業は遠隔授業なのでわからない」、質問 6 では「質問したことがない」という選択肢を増やし、6 段階評価とした。これらの選択肢については、平均点の算出には用いていない。

集計は、全学、学部・センター、学科、科目単位で行った。本報告書では、全学、学部・センター、学科単位での集計結果を掲載した。各種集計結果は少数第二位以下を四捨五入して表示している。なお、所属教員が 1 名の国際センター、社会連携センターおよび IR 室については本集計表から除外した。集計結果で表示している全学の各種値は、上記の 2 センターと IR 室の数値も含めて計算しているため学部・センターの合計値とは一致しないことに留意してほしい。

(5) 学生へのフィードバック方法

アンケート調査の結果のフィードバックは、授業担当教員がアンケート調査終了後の授業時や定期試験時に口頭で行ったか、あるいは学修支援システム Cerezo の機能を利用して行った。

(6) アンケート実施後の教員による報告書提出

授業担当教員に集計結果返却後、各教員は約 3 週間以内に報告書（p. 4 の報告書書式を参照）を学科長に提出し、学科長は学科教員の報告書を取りまとめて大学教育センター長に提出した。

(7) アンケート実施後の学科による総括

年度末に学部・センター単位で授業評価アンケートを総括し、学科長から大学教育センター長に提出した。

令和7年度【前期】授業評価アンケート結果に対する報告書

担当教員	氏 名		所属学部・学科		
			学部	学科	
講義名			科目分類（不要な方を消去する）	受講者数	回答率
			共通教育科目 専門科目	名	%

お手数ですがこの科目のアンケート集計結果を各質問毎に記載してください

質問1	質問2	質問3	質問4	質問5	質問6	質問7		
授業準備	話し方	計画性	授業時間	講義の工夫	質問への誠意	満足度		
質問8	質問9	質問10	質問11	質問12	質問13	質問14		
関連学習	集中力	出席状況	知識の深まり	授業内容理解への積極性	意欲の高まり	学修の成果		

◆アンケート結果の学生へのフィードバック方法

--

◆この講義に対する学生の評価結果について（アンケートの質問1～質問7が該当します）

○高く評価された事項

--

○改善を求められている事項

--

○今後の授業改善の計画

--

◆この講義を受講した学生の自己点検結果について（アンケートの質問8～質問14が該当します）

○学修成果という点でこの結果をどのように考えますか

--

○学生の学修成果を望ましい方向に進展させる方策はありますか

--

3. 全学、学部・センターのアンケート調査結果

(1) 全学、学部・センターの集計結果一覧

全学、学部・センター単位の前期の集計結果を以下に示す（表3-(1)-1~2：前期、表3-(1)-3~4：後期）。

表3-(1)-1 令和7年度授業評価アンケート 学部別集計結果 前期【質問1~7】

講義番号		係数	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
学部										
学科										
曜限										
主担当教員										
実施教員										
科目名										
受講者数			14,100	2,945	1,751	1,344	1,795	3,263	2,483	448
回答者数			7,515	1,325	888	978	1,179	1,346	1,446	285
回答率			53.3%	45.0%	50.7%	72.8%	65.7%	41.3%	58.2%	63.6%
【質問1】 授業準備 授業の準備は適切になされていると思いますか？	適切である	5	5,779	933	705	747	932	1,069	1,115	225
	ほぼ適切である	4	1,390	257	155	179	213	231	291	54
	どちらとも言えない	3	279	105	27	41	31	37	30	4
	やや不適切である	2	43	19	1	7	1	8	5	2
	不適切である	1	24	11	0	4	2	1	5	0
	平均点			4.71	4.57	4.76	4.70	4.76	4.75	4.73
【質問2】 教員の話し方 教員の話は聞き取りやすいですか？ (音声のない遠隔授業の場合では)資料は読みやすいですか？	聞き取りやすい(読みやすい)	5	5,114	827	658	653	830	926	993	183
	ほぼ聞き取りやすい(ほぼ読みやすい)	4	1,796	303	187	227	280	344	351	86
	どちらとも言えない	3	342	108	30	50	42	42	57	10
	やや聞き取りにくい(やや読みにくい)	2	187	53	9	38	20	27	32	6
	聞き取りにくい(読みにくい)	1	76	34	4	10	7	7	13	0
	平均点			4.55	4.39	4.67	4.51	4.62	4.60	4.58
【質問3】 授業の計画性 授業はシラバス通りに行われていますか？	行われている	5	5,490	905	641	714	865	1,058	1,042	215
	ほぼ行われている	4	1,272	255	165	173	207	154	258	50
	どちらとも言えない	3	257	83	16	30	47	18	53	9
	やや異なっている	2	66	28	8	14	6	1	7	1
	全く異なっている	1	20	8	2	4	1	0	5	0
	シラバスを読んでいない	-	410	46	56	43	53	115	81	10
平均点			4.71	4.58	4.72	4.69	4.71	4.84	4.70	4.74
【質問4】 授業時間 授業を遅く始めたり、早く終わったりしないで、授業時間を守っていますか？	守っている	5	5,981	983	721	741	955	1,139	1,160	224
	ほぼ守っている	4	1,244	234	145	200	193	174	236	55
	どちらとも言えない	3	208	76	15	29	22	23	36	4
	やや守っていない	2	57	20	6	5	6	6	12	2
	守っていない	1	18	7	1	2	3	4	1	0
	この授業は遠隔授業なのでわからない	-	7	5	0	1	0	0	1	0
平均点			4.75	4.64	4.78	4.71	4.77	4.81	4.76	4.76
【質問5】 講義の工夫 教員は、授業内容を理解しやすくするように工夫していると思いますか？	思う	5	5,083	825	660	629	868	889	981	194
	やや思う	4	1,744	285	181	232	244	363	343	70
	どちらとも言えない	3	464	144	32	68	53	64	84	15
	あまり思わない	2	164	49	11	39	9	23	26	6
	思わない	1	60	22	4	10	5	7	12	0
	平均点			4.55	4.39	4.67	4.46	4.66	4.56	4.56
【質問6】 質問への誠意 教員は、あなたの質問に誠意をもって答えていますか？	誠意をもって答える	5	4,336	721	617	593	688	634	878	169
	ほぼ誠意をもって答える	4	1,028	183	123	157	175	109	231	37
	どちらとも言えない	3	445	126	34	73	61	49	77	22
	やや誠意が感じられない	2	65	24	7	8	4	7	13	1
	誠意が感じられない	1	44	19	1	13	3	2	4	1
	質問したことがない	-	1,597	252	106	134	248	545	243	55
平均点			4.61	4.46	4.72	4.55	4.66	4.71	4.63	4.62
【質問7】 授業への満足度 この授業に対する総合的なあなたの満足度を5段階で示してください	満足	5	4,528	738	579	581	770	798	856	171
	ほぼ満足	4	2,157	354	252	261	325	420	432	86
	どちらとも言えない	3	610	161	44	94	69	104	110	23
	やや不満	2	153	47	8	28	12	20	33	4
	不満	1	67	25	5	14	3	4	15	1
	平均点			4.45	4.31	4.57	4.40	4.57	4.48	4.44
【質問1】~【質問7】の平均			4.62	4.48	4.70	4.57	4.68	4.68	4.63	4.64

表3-(1)-2 令和7年度授業評価アンケート 学部別集計結果 前期【質問8～14】

講義番号	学部	学科	曜限	主担当教員	実施教員	科目名	受講者数	回答者数	回答率	係数	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
											14,100	2,945	1,751	1,344	1,795	3,263	2,483	448
											7,515	1,325	888	978	1,179	1,346	1,446	285
											53.3%	45.0%	50.7%	72.8%	65.7%	41.3%	58.2%	63.6%
【質問8】 関連学習 この授業に関して、1回の授業あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか？	3時間以上	5	460	77	29	134	23	124	62	7								
	2～3時間未満	4	459	82	47	108	51	104	55	11								
	1～2時間未満	3	1,366	194	145	201	255	309	216	34								
	30分～1時間未満	2	2,498	382	286	253	492	483	480	100								
	30分未満	1	2,732	590	381	282	358	326	633	133								
	平均点		2.12	2.00	1.94	2.55	2.06	2.42	1.92	1.80								
【質問9】 集中力 授業中に私語、居眠り、携帯電話の操作、あるいは別のことを考えることなどはありますか？	全くない	5	2,569	390	220	325	325	660	549	78								
	ほとんどない	4	2,935	478	340	414	512	506	543	109								
	どちらとも言えない	3	1,225	278	175	147	221	122	212	61								
	しばしばある	2	684	149	140	80	109	50	119	33								
	毎回ある	1	102	30	13	12	12	8	23	4								
	平均点		3.96	3.79	3.69	3.98	3.87	4.31	4.02	3.79								
【質問10】 出席状況 授業には特別な事情(公認欠席、急引きなど)を除き、出席していますか？	全出席	5	4,752	596	512	623	704	1,123	952	191								
	ほぼ出席	4	2,111	514	290	263	383	205	373	70								
	ときどき欠席する	3	509	168	71	65	72	15	97	18								
	やや欠席が多い	2	112	34	13	22	13	2	21	6								
	欠席が大変多い	1	31	13	2	5	7	1	3	0								
	平均点		4.52	4.24	4.46	4.51	4.50	4.82	4.56	4.56								
【質問11】 知識や技能の深まり この授業を受講して、あなたの知識や技能は深まっていますか？	大いに深まっている	5	3,745	539	478	507	628	710	719	133								
	やや深まっている	4	2,962	528	344	372	469	532	560	128								
	どちらとも言えない	3	612	190	56	66	67	81	123	22								
	あまり深まっていない	2	149	44	9	28	13	21	31	2								
	全く深まっていない	1	47	24	1	5	2	2	13	0								
	平均点		4.36	4.14	4.45	4.38	4.45	4.43	4.34	4.38								
【質問12】 授業内容理解への積極性 授業内容のわからない点や疑問に思う点について、教員や友人への質問、インターネットや書籍を利用した自己学習等によって積極的に解決しようとしていますか？	ほぼ全てしている	5	2,579	408	293	396	334	552	474	95								
	頻繁にしている	4	1,726	305	188	248	268	311	328	59								
	ときどきしている	3	2,438	424	308	260	456	400	479	96								
	ほとんどしていない	2	568	122	83	56	90	61	124	26								
	全くしていない	1	204	66	16	18	31	22	41	9								
	平均点		3.79	3.65	3.74	3.97	3.66	3.97	3.74	3.72								
【質問13】 意欲の高まり この授業を受講して、授業内容を更に詳しく学びたいと思いますか？	大いに思う	5	3,161	440	399	452	535	577	634	96								
	やや思う	4	2,814	485	342	335	490	525	473	132								
	どちらとも言えない	3	1,106	288	102	133	116	183	235	43								
	あまり思わない	2	333	76	41	41	36	52	73	12								
	全く思わない	1	101	36	4	17	2	9	31	2								
	平均点		4.14	3.92	4.23	4.19	4.29	4.20	4.11	4.08								
【質問14】 学修の成果 この授業であなたが得た成果を5段階で自己評価してください。	十分に成果はあがっている	5	3,244	520	387	430	523	611	627	114								
	少し成果はあがっている	4	3,267	537	398	429	519	588	620	146								
	どちらとも言えない	3	774	195	84	85	120	111	154	19								
	あまり成果はあがっていない	2	178	50	16	25	13	32	36	6								
	全く成果はあがっていない	1	52	23	3	9	4	4	9	0								
	平均点		4.26	4.12	4.30	4.27	4.31	4.32	4.26	4.29								
【質問8】～【質問14】の平均											3.88	3.70	3.83	3.98	3.88	4.07	3.85	3.80

表3-(1)-3 令和7年度授業評価アンケート 学部別集計結果 後期【質問1～7】

講義番号	学部	学科	曜限	担当教員	実施教員	科目名	係数	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
受講者数								14,484	2,968	1,826	1,762	2,049	3,148	2,206	284
回答者数								7,221	1,134	766	1,023	1,395	1,381	1,215	163
回答率								49.9%	38.2%	41.9%	0.0%	68.1%	43.9%	55.1%	57.4%
【質問1】 授業準備 授業の準備は適切になされていると思いますか？	適切である	5	5,614	829	607	775	1,032	1,147	992	133					
	ほぼ適切である	4	1,335	246	136	186	305	216	188	25					
	どちらとも言えない	3	218	44	15	52	45	15	31	5					
	やや不適切である	2	34	10	4	5	9	2	3	0					
	不適切である	1	20	5	4	5	4	1	1	0					
	平均点			4.73	4.66	4.75	4.68	4.69	4.81	4.78	4.79				
【質問2】 教員の話し方 教員の話は聞き取りやすいですか？／ (音声のない遠隔授業の場合では)資料は読みやすいですか？	聞き取りやすい(読みやすい)	5	5,042	746	581	677	908	1,000	927	119					
	ほぼ聞き取りやすい(ほぼ読みやすい)	4	1,658	277	154	240	379	312	225	35					
	どちらとも言えない	3	323	61	17	66	72	40	45	5					
	やや聞き取りにくい(やや読みにくい)	2	144	32	12	32	26	23	12	3					
	聞き取りにくい(読みにくい)	1	54	18	2	8	10	6	6	1					
	平均点			4.59	4.50	4.70	4.51	4.54	4.65	4.69	4.64				
【質問3】 授業の計画性 授業はシラバス通りに行われていますか？	行われている	5	5,386	813	554	734	984	1,142	919	135					
	ほぼ行われている	4	1,261	230	145	188	290	170	196	18					
	どちらとも言えない	3	246	47	23	61	51	9	41	5					
	やや異なっている	2	45	6	5	10	9	5	9	0					
	全く異なっている	1	16	5	1	2	4	1	3	0					
	シラバスを読んでいない	-	267	33	38	28	57	54	47	5					
平均点			4.72	4.67	4.71	4.65	4.67	4.84	4.73	4.82					
【質問4】 授業時間 授業を遅く始めたり、早く終わったりしないで、授業時間を守っていますか？	守っている	5	5,633	864	612	725	1,097	1,127	965	137					
	ほぼ守っている	4	1,304	217	133	244	249	219	195	20					
	どちらとも言えない	3	227	41	15	46	41	26	42	6					
	やや守っていない	2	36	6	5	4	6	7	7	0					
	守っていない	1	20	6	1	4	2	2	5	0					
	この授業は遠隔授業なのでわからない	-	1	0	0	0	0	0	1	0					
平均点			4.73	4.70	4.76	4.64	4.74	4.78	4.74	4.80					
【質問5】 講義の工夫 教員は、授業内容を理解しやすくするように工夫していると思いますか？	思う	5	5,125	767	600	675	962	1,006	909	117					
	やや思う	4	1,555	260	128	244	308	301	238	38					
	どちらとも言えない	3	389	85	28	72	80	54	51	6					
	あまり思わない	2	107	14	8	25	27	16	11	2					
	思わない	1	45	8	2	7	18	4	6	0					
	平均点			4.61	4.56	4.72	4.52	4.55	4.66	4.67	4.66				
【質問6】 質問への誠意 教員は、あなたの質問に誠意をもって答えていますか？	誠意をもって答える	5	3,900	632	523	564	706	552	763	87					
	ほぼ誠意をもって答える	4	1,123	205	113	185	218	165	200	19					
	どちらとも言えない	3	381	64	22	93	101	20	57	11					
	やや誠意が感じられない	2	44	10	3	11	5	2	9	2					
	誠意が感じられない	1	18	4	0	7	3	3	0	0					
	質問したことがない	-	1,755	219	105	163	362	639	186	44					
平均点			4.62	4.59	4.75	4.50	4.57	4.70	4.67	4.61					
【質問7】 授業への満足度 この授業に対する総合的なあなたの満足度を5段階で示してください	満足	5	4,541	673	541	616	849	890	791	103					
	ほぼ満足	4	2,043	336	181	292	402	408	331	48					
	どちらとも言えない	3	471	94	31	81	111	64	63	10					
	やや不満	2	111	23	8	22	19	13	20	2					
	不満	1	55	8	5	12	14	6	10	0					
	平均点			4.51	4.45	4.63	4.44	4.47	4.57	4.54	4.55				
【質問1】～【質問7】の平均			4.64	4.59	4.72	4.56	4.61	4.72	4.69	4.69					

表3-(1)-4 令和7年度授業評価アンケート 学部別集計結果 後期【質問8～14】

講義番号		係数	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
学部										
学科										
曜限										
主担当教員										
実施教員										
科目名										
受講者数			14,484	2,968	1,826	1,762	2,049	3,148	2,206	284
回答者数			7,221	1,134	766	1,023	1,395	1,381	1,215	163
回答率			49.9%	38.2%	41.9%	0.0%	68.1%	43.9%	55.1%	57.4%
【質問8】 関連学習 この授業に関して、1回の授業あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか？	3時間以上	5	353	55	28	102	41	55	54	3
	2～3時間未満	4	407	42	40	76	62	117	58	4
	1～2時間未満	3	1,319	150	126	219	267	293	217	25
	30分～1時間未満	2	2,370	321	270	261	559	485	399	34
	30分未満	1	2,772	566	302	365	466	431	487	97
	平均点		2.06	1.85	1.98	2.30	2.03	2.19	2.01	1.66
【質問9】 集中力 授業中に私語、居眠り、携帯電話の操作、あるいは別のことを考えることなどはありますか？	全くない	5	2,373	327	212	288	359	643	457	38
	ほとんどない	4	2,849	434	290	415	598	528	462	75
	どちらとも言えない	3	1,209	238	150	195	279	131	161	29
	しばしばある	2	666	108	106	109	135	65	108	18
	毎回ある	1	124	27	8	16	24	14	27	3
	平均点		3.93	3.82	3.77	3.83	3.81	4.25	4.00	3.78
【質問10】 出席状況 授業には特別な事情（公認欠席、忌引きなど）を除き、出席していますか？	全出席	5	4,144	492	401	500	750	1,161	665	95
	ほぼ出席	4	2,303	450	276	399	476	184	425	45
	ときどき欠席する	3	562	141	58	90	113	34	97	15
	やや欠席が多い	2	170	41	23	25	49	2	21	7
	欠席が大変多い	1	42	10	8	9	7	0	7	1
	平均点		4.43	4.21	4.36	4.33	4.37	4.81	4.42	4.39
【質問11】 知識や技能の深まり この授業を受講して、あなたの知識や技能は深まっていますか？	大いに深まっている	5	3,653	513	404	483	674	773	644	87
	やや深まっている	4	2,862	476	308	424	581	521	435	66
	どちらとも言えない	3	549	110	41	88	109	74	105	6
	あまり深まっていない	2	113	25	8	21	25	8	22	3
	全く深まっていない	1	44	10	5	7	6	5	9	1
	平均点		4.38	4.28	4.43	4.32	4.36	4.48	4.39	4.44
【質問12】 授業内容理解への積極性 授業内容のわからない点や疑問に思う点について、教員や友人への質問、インターネットや書籍を利用した自己学習等によって積極的に解決しようとしていますか？	ほぼ全てしている	5	2,279	334	240	375	325	468	431	56
	頻繁にしている	4	1,603	269	178	252	275	308	268	21
	ときどきしている	3	2,536	375	259	311	612	494	374	63
	ほとんどしていない	2	563	117	55	63	138	79	93	8
	全くしていない	1	240	39	34	22	45	32	49	15
	平均点		3.71	3.65	3.70	3.87	3.50	3.80	3.77	3.58
【質問13】 意欲の高まり この授業を受講して、授業内容を更に詳しく学びたいと思いますか？	大いに思う	5	3,027	396	356	432	578	630	514	68
	やや思う	4	2,792	427	288	403	530	570	448	67
	どちらとも言えない	3	1,032	231	91	148	203	146	166	22
	あまり思わない	2	275	50	23	29	68	28	66	5
	全く思わない	1	95	30	8	11	16	7	21	1
	平均点		4.16	3.98	4.25	4.19	4.14	4.29	4.13	4.20
【質問14】 学修の成果 この授業であなたが得た成果を5段階で自己評価してください。	十分に成果はあがっている	5	3,251	451	395	483	591	602	595	69
	少し成果はあがっている	4	3,083	502	290	405	610	667	471	80
	どちらとも言えない	3	692	145	63	100	154	92	110	12
	あまり成果はあがっていない	2	139	23	14	26	28	16	27	1
	全く成果はあがっていない	1	56	13	4	9	12	4	12	1
	平均点		4.29	4.19	4.38	4.30	4.25	4.34	4.33	4.32
【質問8】～【質問14】の平均			3.85	3.71	3.84	3.88	3.78	4.02	3.86	3.77

(2) アンケート回答率について

回答率をグラフに、実数を表に示した。全学平均では、前期が 53.3%、後期が 49.9%で昨年度と同程度であった（令和 6 年度：前期 56.1%、後期 50.3%）。毎年前期と比べて後期は回答率が低くなる傾向が認められる。今後は学生へのアンケートの実施時期や実施方法について再検討を行い、より多くの学生に協力してもらえよう改善を図っていきたい。

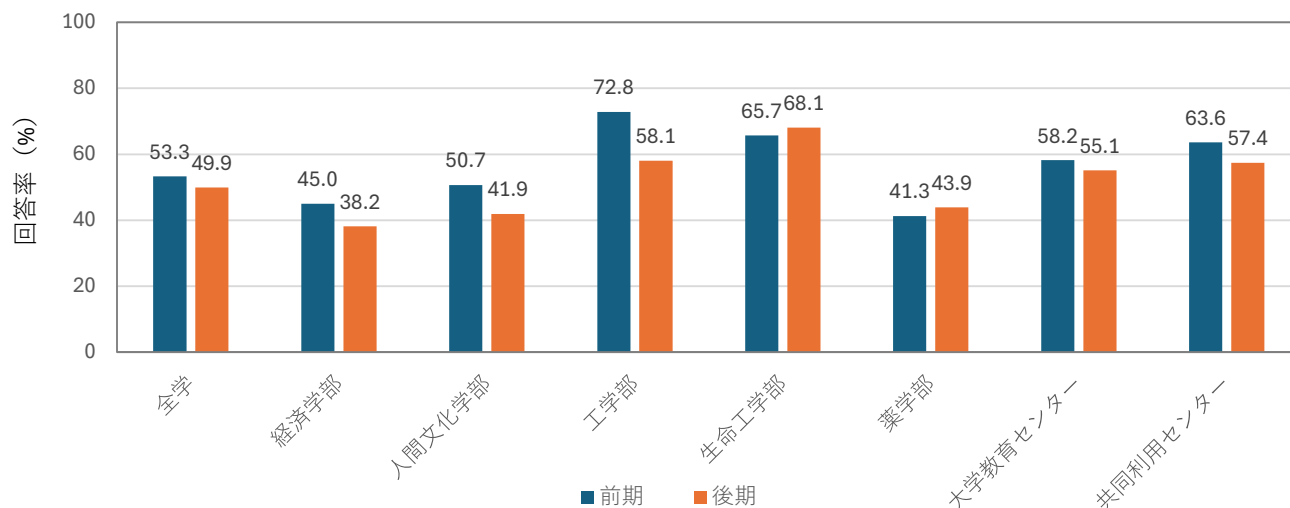


図 3-(2)-1 令和 7 年度学生による授業評価アンケート回答率

表 3-(2)-1 令和 7 年度学生による授業評価アンケート 前期 回答率

	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
受講者数 (人)	14100	2945	1751	1344	1795	3263	2483	448
回答者数 (人)	7515	1325	888	978	1179	1346	1446	285
回答率 (%)	53.3	45.0	50.7	72.8	65.7	41.3	58.2	63.6

表 3-(2)-2 令和 7 年度学生による授業評価アンケート 後期 回答率

	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
受講者数 (人)	14484	2968	1826	1762	2049	3148	2206	284
回答者数 (人)	7221	1134	766	1023	1395	1381	1215	163
回答率 (%)	49.9	38.2	41.9	58.1	68.1	43.9	55.1	57.4

(3) 調査結果の内容 (学生による授業評価結果について)

①【質問1】授業準備について

教員の「授業準備」については、すべての学部・センターにおいて前後期ともほぼ 4.6 以上と高く評価されており、適切に実施されていると考えられた。2 トップ (回答の 5 と 4) の割合は、すべての学部・センターにおいてほぼ 90%を超えており、組織間で大きな相違は認められなかった。

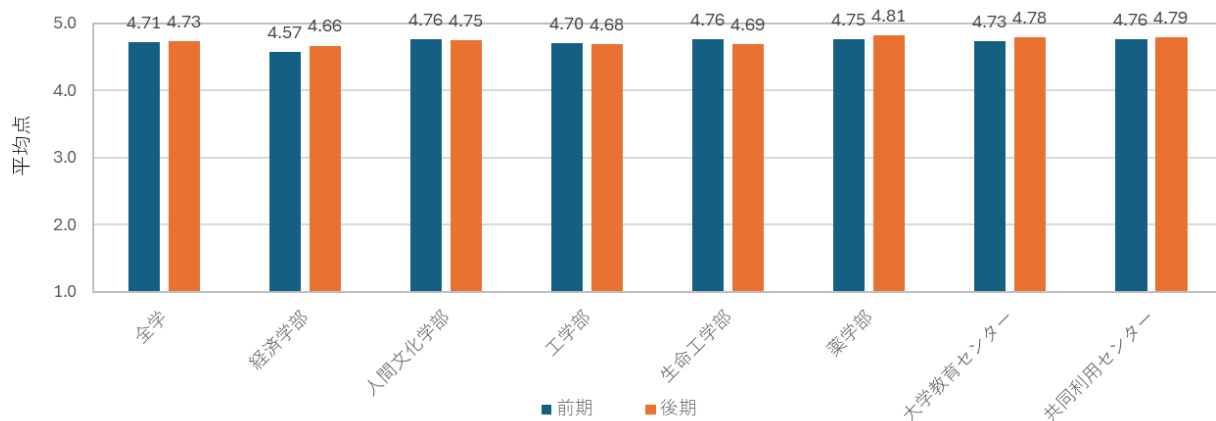


図3-(3)-①-1 令和7年度学生による授業評価アンケート【質問1】授業準備 平均点

表3-(3)-①-1 令和7年度学生による授業評価アンケート 前期【質問1】授業準備 回答割合

【質問1】 授業準備			全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
			適切である	5	76.9%	70.4%	79.4%	76.4%	79.1%	79.4%
ほぼ適切である	4	18.5%	19.4%	17.5%	18.3%	18.1%	17.2%	20.1%	18.9%	
どちらとも言えない	3	3.7%	7.9%	3.0%	4.2%	2.6%	2.7%	2.1%	1.4%	
やや不適切である	2	0.6%	1.4%	0.1%	0.7%	0.1%	0.6%	0.3%	0.7%	
不適切である	1	0.3%	0.8%	0.0%	0.4%	0.2%	0.1%	0.3%	0.0%	
	計		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

表3-(3)-①-2 令和7年度学生による授業評価アンケート 後期【質問1】授業準備 回答割合

【質問1】 授業準備			全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
			適切である	5	77.7%	73.1%	79.2%	75.8%	74.0%	83.1%
ほぼ適切である	4	18.5%	21.7%	17.8%	18.2%	21.9%	15.6%	15.5%	15.3%	
どちらとも言えない	3	3.0%	3.9%	2.0%	5.1%	3.2%	1.1%	2.6%	3.1%	
やや不適切である	2	0.5%	0.9%	0.5%	0.5%	0.6%	0.1%	0.2%	0.0%	
不適切である	1	0.3%	0.4%	0.5%	0.5%	0.3%	0.1%	0.1%	0.0%	
	計		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

②【質問2】話し方について

教員の「話し方」については、すべての学部・センターにおいて前後期とも概ね 4.4 以上と高く評価されており、適切に実施されていると考えられた。2 トップ（回答の 5 と 4）の割合は、すべての学部・センターにおいて 80% 半ば～90% 台であり、組織間で大きな相違は認められなかった。

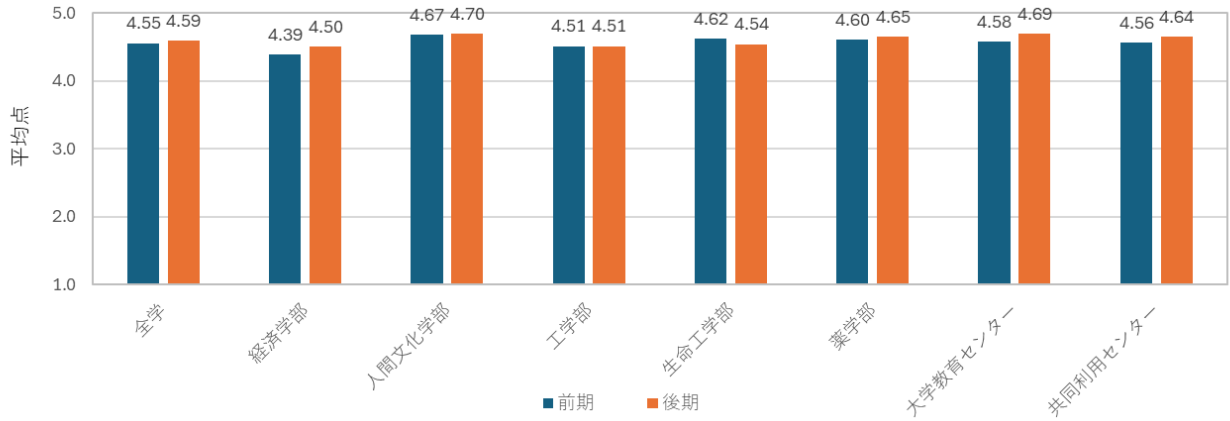


図3-(3)-②-1 令和7年度学生による授業評価アンケート【質問2】教員の話し方 平均点

表3-(3)-②-1 令和7年度学生による授業評価アンケート 前期【質問2】教員の話し方 回答割合

			全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問2】 教員の話し方 教員の話し方は聞き取りやすいですか？	適切である	5	68.1%	62.4%	74.1%	66.8%	70.4%	68.8%	68.7%	64.2%
	ほぼ適切である	4	23.9%	22.9%	21.1%	23.2%	23.7%	25.6%	24.3%	30.2%
	どちらとも言えない	3	4.6%	8.2%	3.4%	5.1%	3.6%	3.1%	3.9%	3.5%
	やや不適切である	2	2.5%	4.0%	1.0%	3.9%	1.7%	2.0%	2.2%	2.1%
	不適切である	1	1.0%	2.6%	0.5%	1.0%	0.6%	0.5%	0.9%	0.0%
計			100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

表3-(3)-②-2 令和7年度学生による授業評価アンケート 後期【質問2】教員の話し方 回答割合

			全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問2】 教員の話し方 教員の話し方は聞き取りやすいですか？	適切である	5	69.8%	65.8%	75.8%	66.2%	65.1%	72.4%	76.3%	73.0%
	ほぼ適切である	4	23.0%	24.4%	20.1%	23.5%	27.2%	22.6%	18.5%	21.5%
	どちらとも言えない	3	4.5%	5.4%	2.2%	6.5%	5.2%	2.9%	3.7%	3.1%
	やや不適切である	2	2.0%	2.8%	1.6%	3.1%	1.9%	1.7%	1.0%	1.8%
	不適切である	1	0.7%	1.6%	0.3%	0.8%	0.7%	0.4%	0.5%	0.6%
計			100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

③【質問3】授業の計画性について

教員の「授業の計画性」については、すべての学部・センターにおいて前後期とも概ね 4.6 以上と高く評価されており、適切に実施されていると考えられた。2 トップ（回答の 5 と 4）の割合は、すべての学部・センターにおいて 90%以上であり、組織間で大きな相違は認められなかった。シラバスを読んでいない学生の割合は全学平均で前期 5.5%、後期 3.7%であり、昨年度（前期 6.4%、後期 6.0%）と比べて改善した。

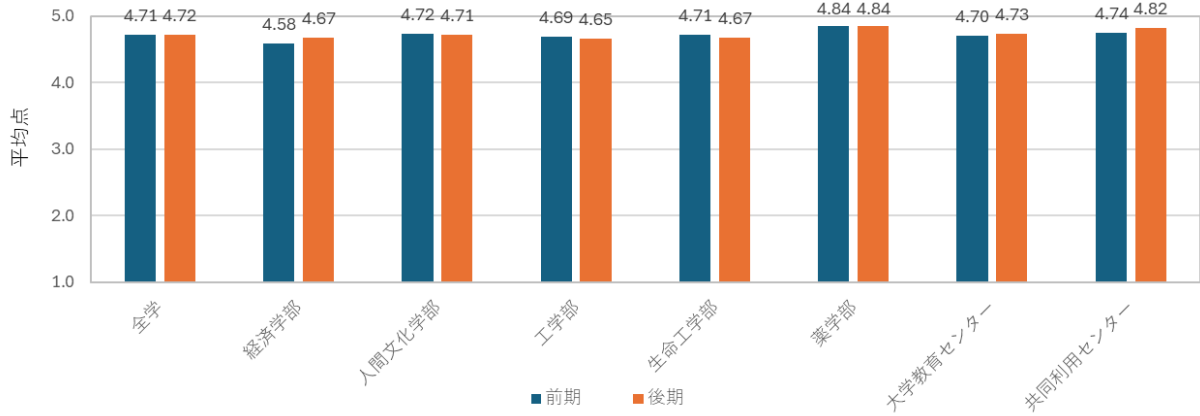


図3-(3)-③-1 令和7年度学生による授業評価アンケート【質問3】授業の計画性 平均点

表3-(3)-③-1 令和7年度学生による授業評価アンケート 前期【質問3】授業の計画性 回答割合

			全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	
【質問3】 授業の計画性	行われている	5	77.3%	70.8%	77.0%	76.4%	76.8%	85.9%	76.3%	78.2%	
	ほぼ行われている	4	17.9%	19.9%	19.8%	18.5%	18.4%	12.5%	18.9%	18.2%	
	どちらとも言えない	3	3.6%	6.5%	1.9%	3.2%	4.2%	1.5%	3.9%	3.3%	
	やや異なっている	2	0.9%	2.2%	1.0%	1.5%	0.5%	0.1%	0.5%	0.4%	
	全く異なっている	1	0.3%	0.6%	0.2%	0.4%	0.1%	0.0%	0.4%	0.0%	
	計		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	シラバスを読んでいない	-	5.5%	3.5%	6.3%	4.4%	4.5%	8.5%	5.6%	3.5%	

表3-(3)-③-2 令和7年度学生による授業評価アンケート 後期【質問3】授業の計画性 回答割合

			全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	
【質問3】 授業の計画性	行われている	5	77.5%	73.8%	76.1%	73.8%	73.5%	86.1%	78.7%	85.4%	
	ほぼ行われている	4	18.1%	20.9%	19.9%	18.9%	21.7%	12.8%	16.8%	11.4%	
	どちらとも言えない	3	3.5%	4.3%	3.2%	6.1%	3.8%	0.7%	3.5%	3.2%	
	やや異なっている	2	0.6%	0.5%	0.7%	1.0%	0.7%	0.4%	0.8%	0.0%	
	全く異なっている	1	0.2%	0.5%	0.1%	0.2%	0.3%	0.1%	0.3%	0.0%	
	計		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	シラバスを読んでいない	-	3.7%	2.9%	5.0%	2.7%	4.1%	3.9%	3.9%	3.1%	

④【質問4】授業時間について

教員の「授業時間」については、全ての学部・センターにおいて前後期とも4.6以上と高く評価されており、適切に実施されていると考えられた。2トップ（回答の5と4）の割合は、すべての学部・センターにおいて90%以上であり、組織間で大きな相違は認められなかった。

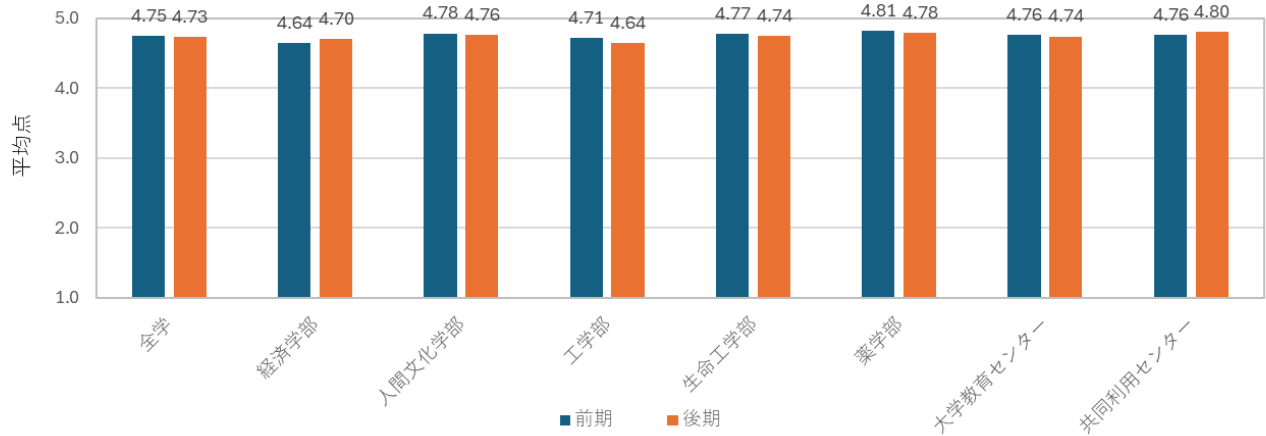


図3-(3)-④-1 令和7年度学生による授業評価アンケート【質問4】授業時間 平均点

表3-(3)-④-1 令和7年度学生による授業評価アンケート 前期【質問4】授業時間 回答割合

			全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	
【質問4】 授業時間	守っている	5	79.7%	74.5%	81.2%	75.8%	81.0%	84.6%	80.3%	78.6%	
	ほぼ守っている	4	16.6%	17.7%	16.3%	20.5%	16.4%	12.9%	16.3%	19.3%	
	どちらとも言えない	3	2.8%	5.8%	1.7%	3.0%	1.9%	1.7%	2.5%	1.4%	
	やや守っていない	2	0.8%	1.5%	0.7%	0.5%	0.5%	0.4%	0.8%	0.7%	
	守っていない	1	0.2%	0.5%	0.1%	0.2%	0.3%	0.3%	0.1%	0.0%	
	計		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	この授業は遠隔授業なのでわからない	-	0.1%	0.4%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	

表3-(3)-④-2 令和7年度学生による授業評価アンケート 後期【質問4】授業時間 回答割合

			全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	
【質問4】 授業時間	守っている	5	78.0%	76.2%	79.9%	70.9%	78.6%	81.6%	79.5%	84.0%	
	ほぼ守っている	4	18.1%	19.1%	17.4%	23.9%	17.8%	15.9%	16.1%	12.3%	
	どちらとも言えない	3	3.1%	3.6%	2.0%	4.5%	2.9%	1.9%	3.5%	3.7%	
	やや守っていない	2	0.5%	0.5%	0.7%	0.4%	0.4%	0.5%	0.6%	0.0%	
	守っていない	1	0.3%	0.5%	0.1%	0.4%	0.1%	0.1%	0.4%	0.0%	
	計		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	この授業は遠隔授業なのでわからない	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	

⑤【質問5】講義の工夫について

教員の「講義の工夫」については、すべての学部・センターにおいて前後期ともほぼ 4.4 以上と高く評価されており、適切に実施されていると考えられた。2 トップ（回答の 5 と 4）の割合は、すべての学部・センターにおいて 80%台半ば～90%台であり、組織間で大きな相違は認められなかった。

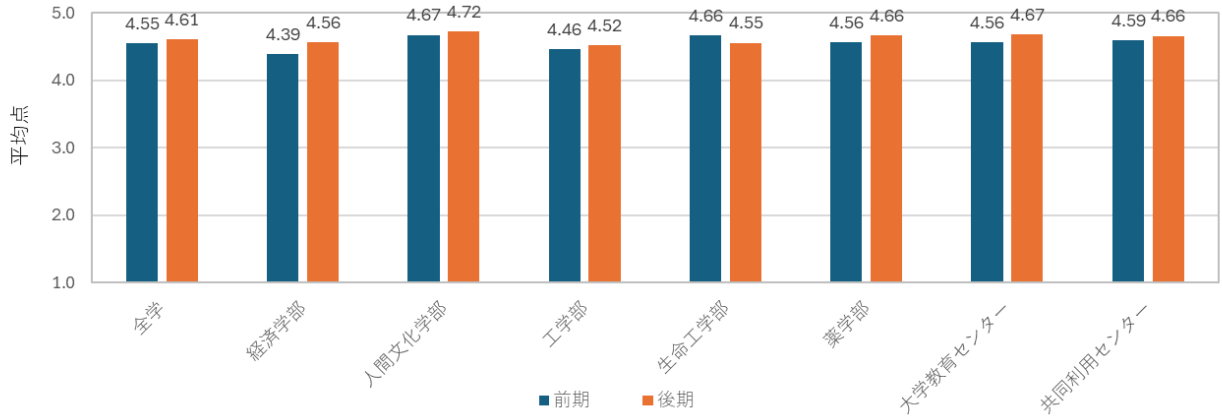


図3-(3)-⑤-1 令和7年度学生による授業評価アンケート【質問5】講義の工夫 平均点

表3-(3)-⑤-1 令和7年度学生による授業評価アンケート 前期【質問5】講義の工夫 回答割合

			全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問5】 講義の工夫 教員は、授業内容を理解しやすくするために工夫していると思いますか？	思う	5	67.6%	62.3%	74.3%	64.3%	73.6%	66.0%	67.8%	68.1%
	やや思う	4	23.2%	21.5%	20.4%	23.7%	20.7%	27.0%	23.7%	24.6%
	どちらとも言えない	3	6.2%	10.9%	3.6%	7.0%	4.5%	4.8%	5.8%	5.3%
	あまり思わない	2	2.2%	3.7%	1.2%	4.0%	0.8%	1.7%	1.8%	2.1%
	思わない	1	0.8%	1.7%	0.5%	1.0%	0.4%	0.5%	0.8%	0.0%
	計		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

表3-(3)-⑤-2 令和7年度学生による授業評価アンケート 後期【質問5】講義の工夫 回答割合

			全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問5】 講義の工夫 教員は、授業内容を理解しやすくするために工夫していると思いますか？	思う	5	71.0%	67.6%	78.3%	66.0%	69.0%	72.8%	74.8%	71.8%
	やや思う	4	21.5%	22.9%	16.7%	23.9%	22.1%	21.8%	19.6%	23.3%
	どちらとも言えない	3	5.4%	7.5%	3.7%	7.0%	5.7%	3.9%	4.2%	3.7%
	あまり思わない	2	1.5%	1.2%	1.0%	2.4%	1.9%	1.2%	0.9%	1.2%
	思わない	1	0.6%	0.7%	0.3%	0.7%	1.3%	0.3%	0.5%	0.0%
	計		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

⑥【質問6】質問への誠意について

教員の「質問への誠意」については、すべての学部・センターにおいておよそ4.5以上と高く評価されており、適切に実施されていると考えられた。2トップ（回答の5と4）の割合は、ほとんどの学部・センターにおいて80%台半ば～90%台であり、組織間で大きな相違は認められなかった。

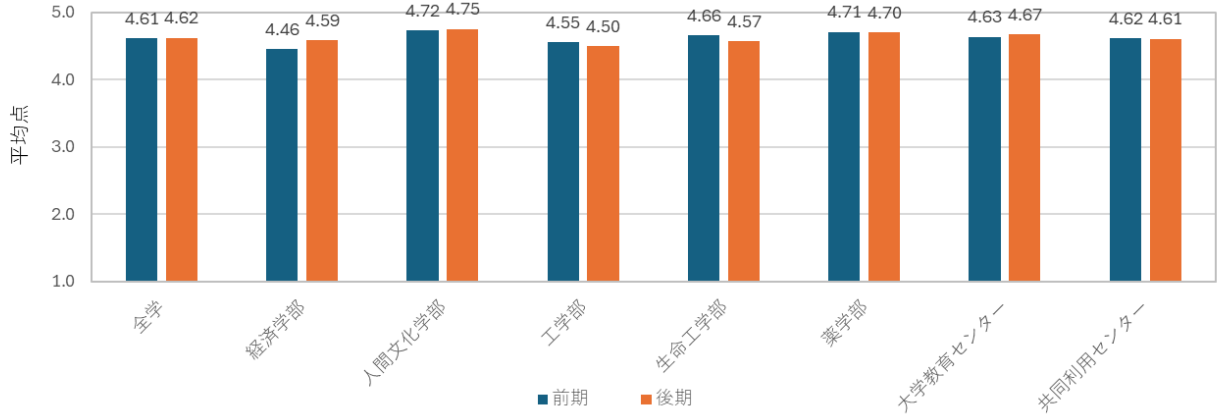


図3-(3)-⑥-1 令和7年度学生による授業評価アンケート【質問6】質問への誠意 平均点

表3-(3)-⑥-1 令和7年度学生による授業評価アンケート 前期【質問6】質問への誠意 回答割合

			全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問6】 質問への誠意 教員は、あなたの質問に誠意をもって答えていますか？	誠意をもって答える	5	73.3%	67.2%	78.9%	70.3%	73.9%	79.2%	73.0%	73.5%
	ほぼ誠意をもって答える	4	17.4%	17.1%	15.7%	18.6%	18.8%	13.6%	19.2%	16.1%
	どちらとも言えない	3	7.5%	11.7%	4.3%	8.6%	6.6%	6.1%	6.4%	9.6%
	やや誠意が感じられない	2	1.1%	2.2%	0.9%	0.9%	0.4%	0.9%	1.1%	0.4%
	誠意が感じられない	1	0.7%	1.8%	0.1%	1.5%	0.3%	0.2%	0.3%	0.4%
	計		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	質問したことがない	-	21.3%	19.0%	11.9%	13.7%	21.0%	40.5%	16.8%	19.3%

表3-(3)-⑥-2 令和7年度学生による授業評価アンケート 後期【質問6】質問への誠意 回答割合

			全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問6】 質問への誠意 教員は、あなたの質問に誠意をもって答えていますか？	誠意をもって答える	5	71.4%	69.1%	79.1%	65.6%	68.3%	74.4%	74.1%	73.1%
	ほぼ誠意をもって答える	4	20.5%	22.4%	17.1%	21.5%	21.1%	22.2%	19.4%	16.0%
	どちらとも言えない	3	7.0%	7.0%	3.3%	10.8%	9.8%	2.7%	5.5%	9.2%
	やや誠意が感じられない	2	0.8%	1.1%	0.5%	1.3%	0.5%	0.3%	0.9%	1.7%
	誠意が感じられない	1	0.3%	0.4%	0.0%	0.8%	0.3%	0.4%	0.0%	0.0%
	質問したことがない	-	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	計		24.3%	19.3%	13.7%	15.9%	25.9%	46.3%	15.3%	27.0%

⑦【質問7】講義の満足度について

教員の「講義の満足度」については、すべての学部・センターにおいて前後期とも 4.3 以上と高く評価されており、適切に実施されていると考えられた。2 トップ（回答の 5 と 4）の割合は、ほとんどの学部・センターにおいて 80%~90% 台であり、組織間で大きな相違は認められなかった。

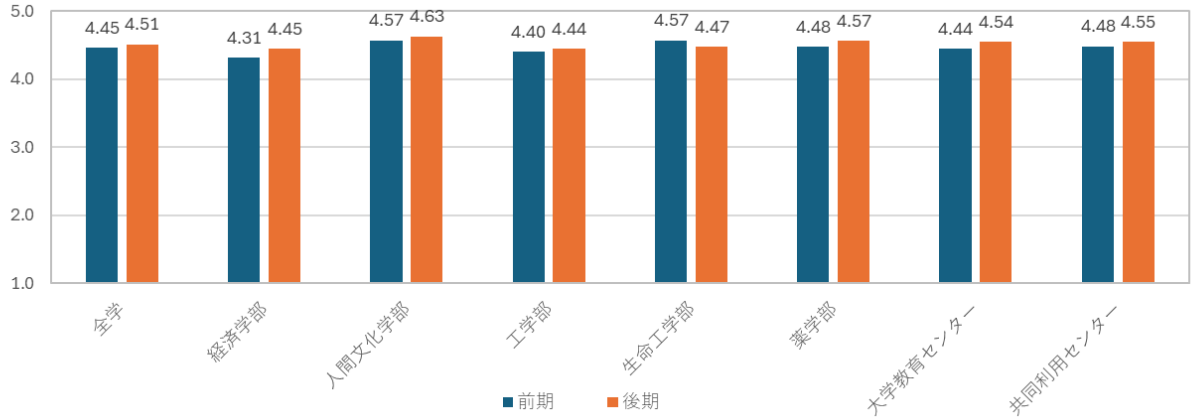


図3-(3)-⑦-1 令和7年度学生による授業評価アンケート【質問7】講義の満足度 平均点

表3-(3)-⑦-1 令和7年度学生による授業評価アンケート 前期【質問7】講義の満足度 回答割合

【質問7】 授業への満足度	満足度	回答数	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
			満足	5	60.3%	55.7%	65.2%	59.4%	65.3%	59.3%
この授業に対する総合的なあなたの満足度を5段階で示してください	ほぼ満足	4	28.7%	26.7%	28.4%	26.7%	27.6%	31.2%	29.9%	30.2%
	どちらとも言えない	3	8.1%	12.2%	5.0%	9.6%	5.9%	7.7%	7.6%	8.1%
	やや不満	2	2.0%	3.5%	0.9%	2.9%	1.0%	1.5%	2.3%	1.4%
	不満	1	0.9%	1.9%	0.6%	1.4%	0.3%	0.3%	1.0%	0.4%
	計		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

表3-(3)-⑦-2 令和7年度学生による授業評価アンケート 後期【質問7】講義の満足度 回答割合

【質問7】 授業への満足度	満足度	回答数	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
			満足	5	62.9%	59.3%	70.6%	60.2%	60.9%	64.4%
この授業に対する総合的なあなたの満足度を5段階で示してください	ほぼ満足	4	28.3%	29.6%	23.6%	28.5%	28.8%	29.5%	27.2%	29.4%
	どちらとも言えない	3	6.5%	8.3%	4.0%	7.9%	8.0%	4.6%	5.2%	6.1%
	やや不満	2	1.5%	2.0%	1.0%	2.2%	1.4%	0.9%	1.6%	1.2%
	不満	1	0.8%	0.7%	0.7%	1.2%	1.0%	0.4%	0.8%	0.0%
	計		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

(4) 調査結果の内容 (学生の自己点検について)

① 【質問8】 関連学習について

学生の「関連学習 (授業に関する予習や復習、あるいは関連の学習)」については、すべての学部・センターにおいて前後期とも 1.6~2.6 という低い値に留まった。また、「関連学習の時間が 30 分未満」の学生は、全学では前期 36.4 %、後期 38.4 %であり、令和 6 年度 (前期 35.9%、後期 36.9%) に比べて増加していた。年々この割合は増える傾向にあり、改善が望まれる事項である。

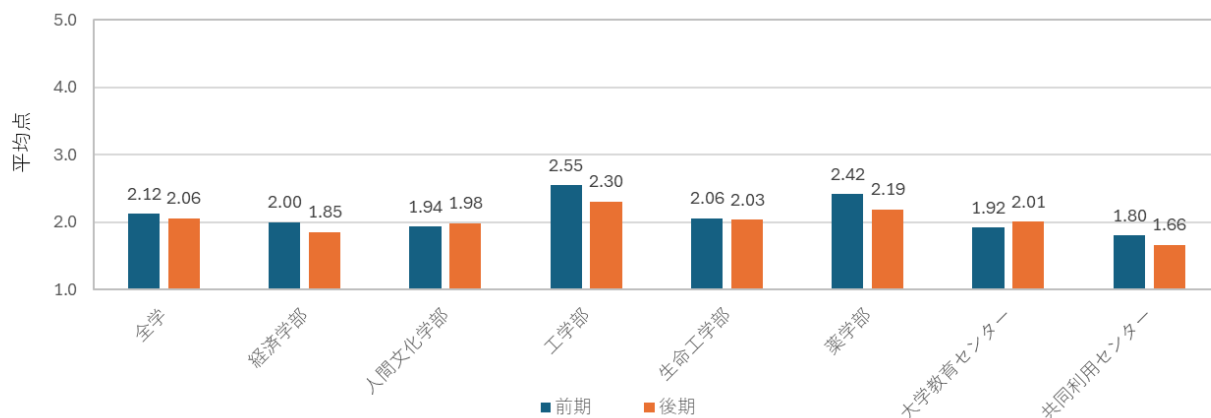


図3-(4)-①-1 令和7年度学生による授業評価アンケート【質問8】 関連学習 平均点

表3-(4)-①-1 令和7年度学生による授業評価アンケート 前期【質問8】 関連学習 回答割合

【質問8】 関連学習	回答数	割合	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
			3時間以上	5	6.1%	5.8%	3.3%	13.7%	2.0%	9.2%
2~3時間未満	4	6.1%	6.2%	5.3%	11.0%	4.3%	7.7%	3.8%	3.9%	
1~2時間未満	3	18.2%	14.6%	16.3%	20.6%	21.6%	23.0%	14.9%	11.9%	
30分~1時間未満	2	33.2%	28.8%	32.2%	25.9%	41.7%	35.9%	33.2%	35.1%	
30分未満	1	36.4%	44.5%	42.9%	28.8%	30.4%	24.2%	43.8%	46.7%	
計		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	

表3-(4)-①-2 令和7年度学生による授業評価アンケート 後期【質問8】 関連学習 回答割合

【質問8】 関連学習	回答数	割合	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
			3時間以上	5	4.9%	4.9%	3.7%	10.0%	2.9%	4.0%
2~3時間未満	4	5.6%	3.7%	5.2%	7.4%	4.4%	8.5%	4.8%	2.5%	
1~2時間未満	3	18.3%	13.2%	16.4%	21.4%	19.1%	21.2%	17.9%	15.3%	
30分~1時間未満	2	32.8%	28.3%	35.2%	25.5%	40.1%	35.1%	32.8%	20.9%	
30分未満	1	38.4%	49.9%	39.4%	35.7%	33.4%	31.2%	40.1%	59.5%	
計		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	

② 【質問9】集中力について

学生の「集中力」については、多くの学部・センターにおいて前後期ともおおよそ3点台後半から4点台前半であり、おおむね良好であった。また、薬学部では、4.25～4.31と高い数値が認められた。2トップ（回答の5と4）の割合は、ほとんどの学部・センターにおいて60%～70%台であったが、薬学部では85%近い数値が認められた。

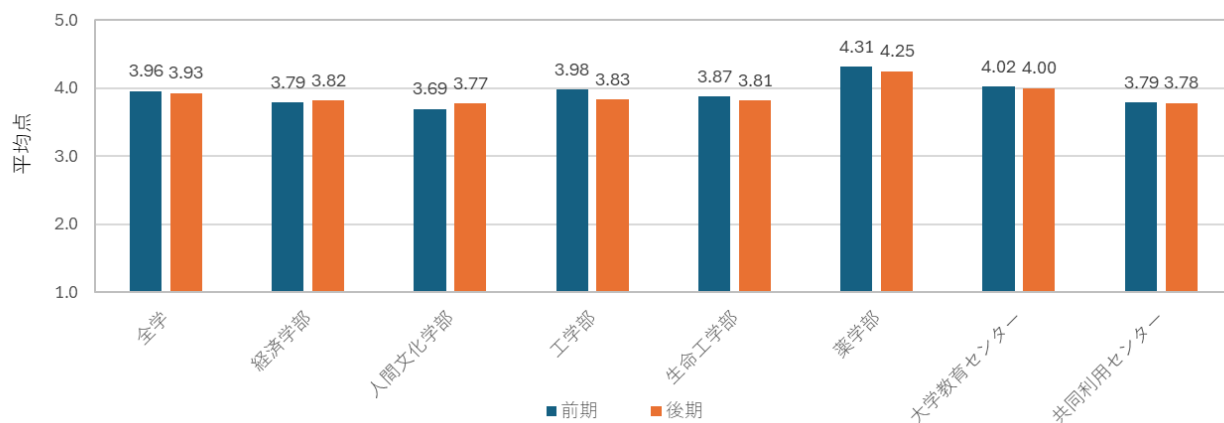


図3-(4)-②-1 令和7年度学生による授業評価アンケート【質問9】集中力 平均点

表3-(4)-②-1 令和7年度学生による授業評価アンケート 前期【質問9】集中力 回答割合

【質問9】 集中力	回答	割合	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
			授業中に私語、居眠り、携帯電話の操作、あるいは別のことを考えることなどはありますか？	全くない	5	34.2%	29.4%	24.8%	33.2%	27.6%
	ほとんどない	4	39.1%	36.1%	38.3%	42.3%	43.4%	37.6%	37.6%	38.2%
	どちらとも言えない	3	16.3%	21.0%	19.7%	15.0%	18.7%	9.1%	14.7%	21.4%
	しばしばある	2	9.1%	11.2%	15.8%	8.2%	9.2%	3.7%	8.2%	11.6%
	毎回ある	1	1.4%	2.3%	1.5%	1.2%	1.0%	0.6%	1.6%	1.4%
	計		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

表3-(4)-②-2 令和7年度学生による授業評価アンケート 後期【質問9】集中力 回答割合

【質問9】 集中力	回答	割合	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
			授業中に私語、居眠り、携帯電話の操作、あるいは別のことを考えることなどはありますか？	全くない	5	32.9%	28.8%	27.7%	28.2%	25.7%
	ほとんどない	4	39.5%	38.3%	37.9%	40.6%	42.9%	38.2%	38.0%	46.0%
	どちらとも言えない	3	16.7%	21.0%	19.6%	19.1%	20.0%	9.5%	13.3%	17.8%
	しばしばある	2	9.2%	9.5%	13.8%	10.7%	9.7%	4.7%	8.9%	11.0%
	毎回ある	1	1.7%	2.4%	1.0%	1.6%	1.7%	1.0%	2.2%	1.8%
	計		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

③ 【質問10】 出席状況について

学生の「出席状況」については、昨年に引き続きすべての学部・センターにおいて前後期とも 4.2 以上であり、高い自己評価となっている。出席確認を厳密に行って授業回数の 1/5 以上欠席した学生については担当教員が担任に連絡するというシステムが有効に機能しているものと考えられた。2 トップ（回答の 5 と 4）の割合は、経済学部では80%台前半であったが、ほとんどの学部・センターにおいて 80%台後半から90%以上であった。薬学部では 97～98%と高い数値が認められた。

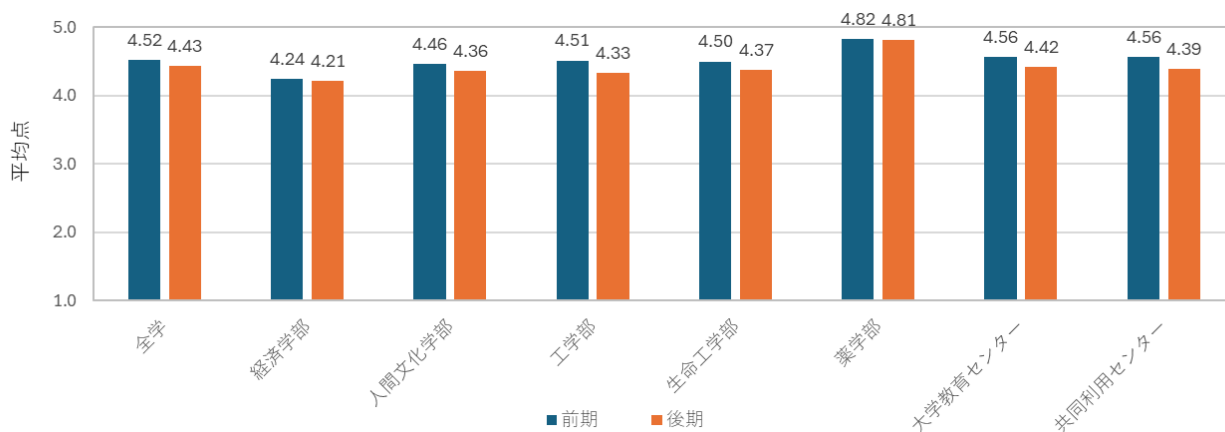


図3-(4)-③-1 令和7年度学生による授業評価アンケート【質問10】出席状況 平均点

表3-(4)-③-1 令和7年度学生による授業評価アンケート 前期【質問10】出席状況 回答割合

【質問10】出席状況			全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
			全出席	5	63.2%	45.0%	57.7%	63.7%	59.7%	83.4%
ほぼ出席	4	28.1%	38.8%	32.7%	26.9%	32.5%	15.2%	25.8%	24.6%	
授業には特別な事情（公認欠席、忌引きなど）を除き、出席していますか？	ときどき欠席する	3	6.8%	12.7%	8.0%	6.6%	6.1%	1.1%	6.7%	6.3%
	やや欠席が多い	2	1.5%	2.6%	1.5%	2.2%	1.1%	0.1%	1.5%	2.1%
	欠席が大変多い	1	0.4%	1.0%	0.2%	0.5%	0.6%	0.1%	0.2%	0.0%
	計		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

表3-(4)-③-2 令和7年度学生による授業評価アンケート 後期【質問10】出席状況 回答割合

【質問10】出席状況			全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
			全出席	5	57.4%	43.4%	52.3%	48.9%	53.8%	84.1%
ほぼ出席	4	31.9%	39.7%	36.0%	39.0%	34.1%	13.3%	35.0%	27.6%	
授業には特別な事情（公認欠席、忌引きなど）を除き、出席していますか？	ときどき欠席する	3	7.8%	12.4%	7.6%	8.8%	8.1%	2.5%	8.0%	9.2%
	やや欠席が多い	2	2.4%	3.6%	3.0%	2.4%	3.5%	0.1%	1.7%	4.3%
	欠席が大変多い	1	0.6%	0.9%	1.0%	0.9%	0.5%	0.0%	0.6%	0.6%
	計		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

④【質問11】知識や技能の深まりについて

学生の「知識や技能の深まり」については、ほとんどの学部・センターにおいて前後期ともおよそ 4.1 以上であり、高い自己評価となっている。2 トップ（回答の 5 と 4）の割合は、ほとんどの学部・センターにおいて 80%以上であり、組織間で大きな相違は認められなかった。

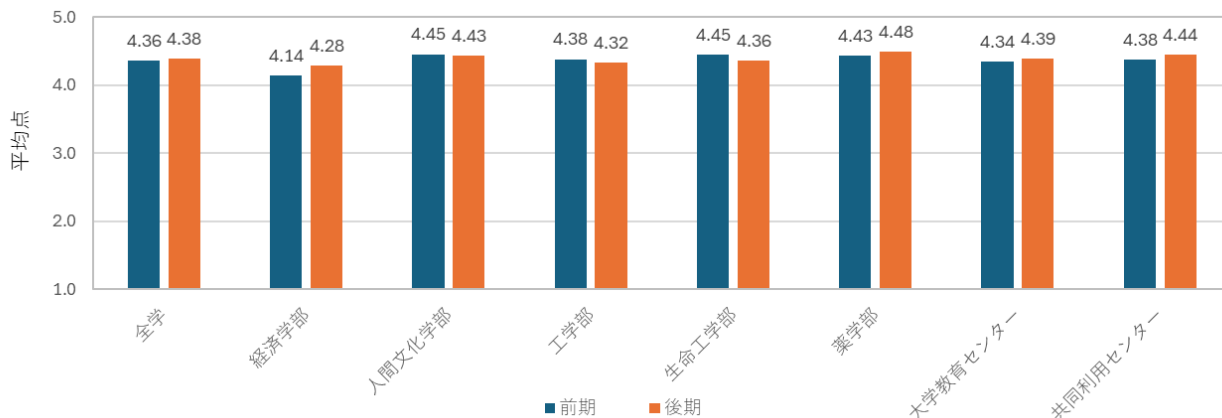


図3-(4)-④-1 令和7年度学生による授業評価アンケート【質問11】知識技能の深まり 平均点

表3-(4)-④-1 令和7年度学生による授業評価アンケート 前期【質問11】知識技能の深まり 回答割合

			全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問11】 知識や技能の 深まり この授業を受 講して、あな たの知識や技 能は深まっ ていますか？	大いに深まっている	5	49.8%	40.7%	53.8%	51.8%	53.3%	52.7%	49.7%	46.7%
	やや深まっている	4	39.4%	39.8%	38.7%	38.0%	39.8%	39.5%	38.7%	44.9%
	どちらとも言えない	3	8.1%	14.3%	6.3%	6.7%	5.7%	6.0%	8.5%	7.7%
	あまり深まっていない	2	2.0%	3.3%	1.0%	2.9%	1.1%	1.6%	2.1%	0.7%
	全く深まっていない	1	0.6%	1.8%	0.1%	0.5%	0.2%	0.1%	0.9%	0.0%
	計		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

表3-(4)-④-1 令和7年度学生による授業評価アンケート 後期【質問11】知識技能の深まり 回答割合

			全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問11】 知識や技能の 深まり この授業を受 講して、あな たの知識や技 能は深まっ ていますか？	大いに深まっている	5	50.6%	45.2%	52.7%	47.2%	48.3%	56.0%	53.0%	53.4%
	やや深まっている	4	39.6%	42.0%	40.2%	41.4%	41.6%	37.7%	35.8%	40.5%
	どちらとも言えない	3	7.6%	9.7%	5.4%	8.6%	7.8%	5.4%	8.6%	3.7%
	あまり深まっていない	2	1.6%	2.2%	1.0%	2.1%	1.8%	0.6%	1.8%	1.8%
	全く深まっていない	1	0.6%	0.9%	0.7%	0.7%	0.4%	0.4%	0.7%	0.6%
	計		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

④ 【質問12】授業内容理解への積極性について

学生の「授業内容理解への積極性」については、ほとんどの学部・センターにおいて前後期ともおおよそ3点台後半の自己評価となっており、【質問8】とともに改善の余地が認められた。2トップ（回答の5と4）の割合は、43.0%～65.8%と一定の幅のある結果となったが、工学部では、前後期とも60%を超える数値を示した。

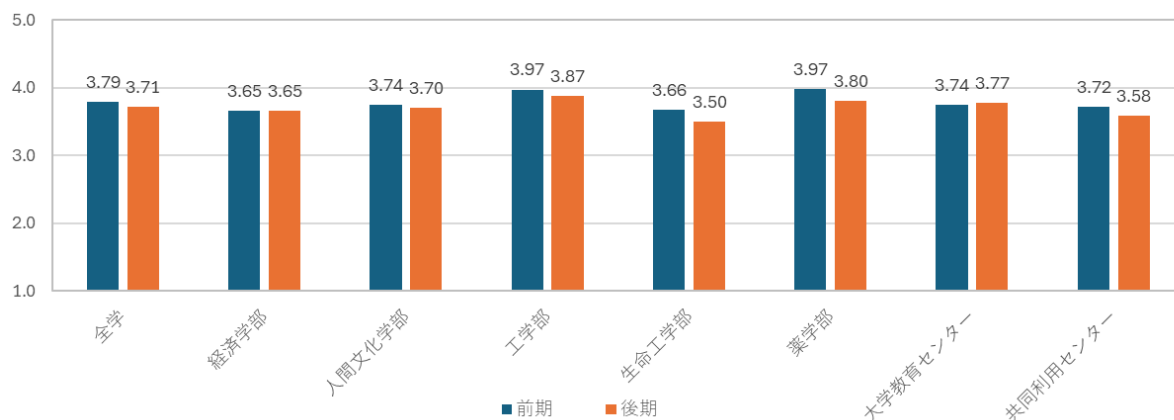


図3-(4)-⑤-1 令和7年度学生による授業評価アンケート【質問12】積極性 平均点

表3-(4)-⑤-1 令和7年度学生による授業評価アンケート 前期【質問12】積極性 回答割合

			全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問12】 授業内容理解 への積極性	ほぼ全てしている	5	34.3%	30.8%	33.0%	40.5%	28.3%	41.0%	32.8%	33.3%
	頻繁にしている	4	23.0%	23.0%	21.2%	25.4%	22.7%	23.1%	22.7%	20.7%
授業内容のわ からない点や 疑問に思う点 について、積 極的に解決し ようとしてい ますか？	ときどきしている	3	32.4%	32.0%	34.7%	26.6%	38.7%	29.7%	33.1%	33.7%
	ほとんどしていない	2	7.6%	9.2%	9.3%	5.7%	7.6%	4.5%	8.6%	9.1%
	全くしていない	1	2.7%	5.0%	1.8%	1.8%	2.6%	1.6%	2.8%	3.2%
	計		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

表3-(4)-⑤-2 令和7年度学生による授業評価アンケート 後期【質問12】積極性 回答割合

			全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問12】 授業内容理解 への積極性	ほぼ全てしている	5	31.6%	29.5%	31.3%	36.7%	23.3%	33.9%	35.5%	34.4%
	頻繁にしている	4	22.2%	23.7%	23.2%	24.6%	19.7%	22.3%	22.1%	12.9%
授業内容のわ からない点や 疑問に思う点 について、積 極的に解決し ようとしてい ますか？	ときどきしている	3	35.1%	33.1%	33.8%	30.4%	43.9%	35.8%	30.8%	38.7%
	ほとんどしていない	2	7.8%	10.3%	7.2%	6.2%	9.9%	5.7%	7.7%	4.9%
	全くしていない	1	3.3%	3.4%	4.4%	2.2%	3.2%	2.3%	4.0%	9.2%
	計		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

⑤ 【質問13】意欲の高まりについて

学生の「意欲の高まり」については、経済学部では4.0をわずかに下回ったが、ほとんどの学部とセンターで前後期とも概ね4.1以上の自己評価となっており、おおむね良好であった。2トップ（回答の5と4）の割合は、69.8%～86.9%とややバラツキが見られた。

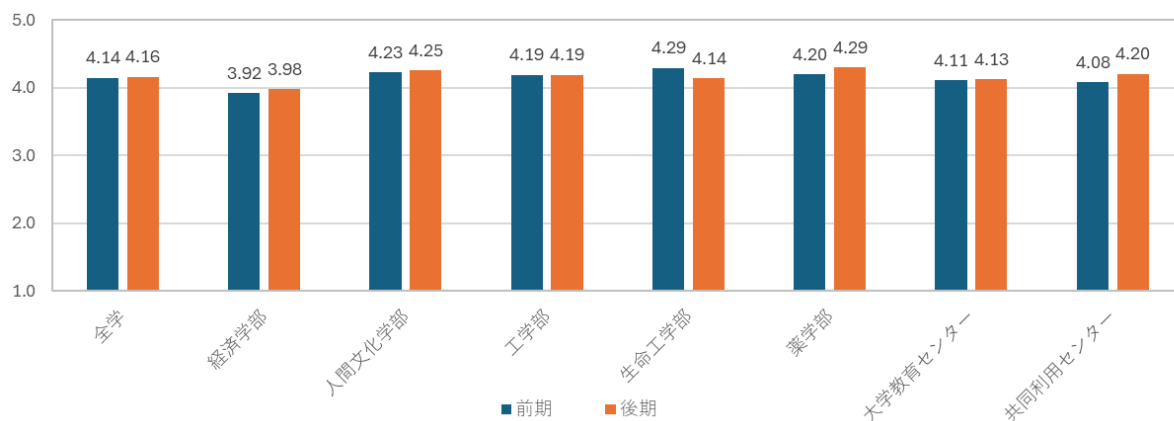


図3-(4)-⑥-1 令和7年度学生による授業評価アンケート【質問13】意欲の高まり 平均点

表3-(4)-⑥-1 令和7年度学生による授業評価アンケート 前期【質問13】意欲の高まり 回答割合

【質問13】 意欲の高まり			全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
			大いに思う	5	42.1%	33.2%	44.9%	46.2%	45.4%	42.9%
やや思う	4	37.4%	36.6%	38.5%	34.3%	41.6%	39.0%	32.7%	46.3%	
どちらとも言えない	3	14.7%	21.7%	11.5%	13.6%	9.8%	13.6%	16.3%	15.1%	
あまり思わない	2	4.4%	5.7%	4.6%	4.2%	3.1%	3.9%	5.0%	4.2%	
全く思わない	1	1.3%	2.7%	0.5%	1.7%	0.2%	0.7%	2.1%	0.7%	
	計		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

表3-(4)-⑥-2 令和7年度学生による授業評価アンケート 後期【質問13】意欲の高まり 回答割合

【質問13】 意欲の高まり			全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
			大いに思う	5	41.9%	34.9%	46.5%	42.2%	41.4%	45.6%
やや思う	4	38.7%	37.7%	37.6%	39.4%	38.0%	41.3%	36.9%	41.1%	
どちらとも言えない	3	14.3%	20.4%	11.9%	14.5%	14.6%	10.6%	13.7%	13.5%	
あまり思わない	2	3.8%	4.4%	3.0%	2.8%	4.9%	2.0%	5.4%	3.1%	
全く思わない	1	1.3%	2.6%	1.0%	1.1%	1.1%	0.5%	1.7%	0.6%	
	計		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

⑥ 【質問14】学修の成果について

学生の「学修の成果」については、すべての学部・センターにおいて前後期とも4.1以上であり、おおむね良好であった。2トップ（回答の5と4）の割合は、ほとんどの学部・センターにおいて80%台後半から90%台前半であった。

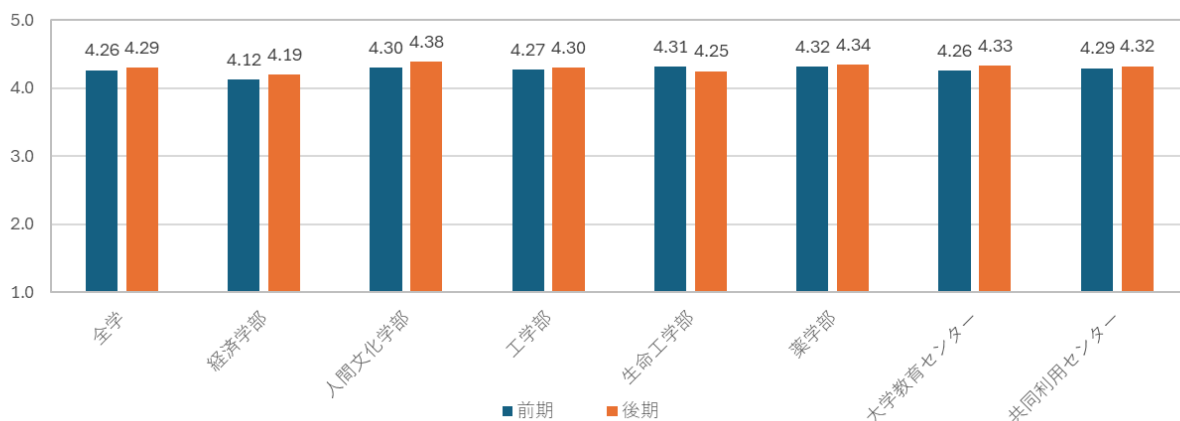


図3-(4)-⑦-1 令和7年度学生による授業評価アンケート【質問14】学修の成果 平均点

表3-(4)-⑦-1 令和7年度学生による授業評価アンケート 前期【質問14】学修の成果 回答割合

【質問14】学修の成果	この授業であなたが得た成果を5段階で自己評価してください。		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
			5	4	3	2	1	計		
十分に成果はあがっている	5	43.2%	39.2%	43.6%	44.0%	44.4%	45.4%	43.4%	40.0%	
少し成果はあがっている	4	43.5%	40.5%	44.8%	43.9%	44.0%	43.7%	42.9%	51.2%	
どちらとも言えない	3	10.3%	14.7%	9.5%	8.7%	10.2%	8.2%	10.7%	6.7%	
あまり成果はあがっていない	2	2.4%	3.8%	1.8%	2.6%	1.1%	2.4%	2.5%	2.1%	
全く成果はあがっていない	1	0.7%	1.7%	0.3%	0.9%	0.3%	0.3%	0.6%	0.0%	
計		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	

表3-(4)-⑦-2 令和7年度学生による授業評価アンケート 後期【質問14】学修の成果 回答割合

【質問14】学修の成果	この授業であなたが得た成果を5段階で自己評価してください。		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
			5	4	3	2	1	計		
十分に成果はあがっている	5	45.0%	39.8%	51.6%	47.2%	42.4%	43.6%	49.0%	42.3%	
少し成果はあがっている	4	42.7%	44.3%	37.9%	39.6%	43.7%	48.3%	38.8%	49.1%	
どちらとも言えない	3	9.6%	12.8%	8.2%	9.8%	11.0%	6.7%	9.1%	7.4%	
あまり成果はあがっていない	2	1.9%	2.0%	1.8%	2.5%	2.0%	1.2%	2.2%	0.6%	
全く成果はあがっていない	1	0.8%	1.1%	0.5%	0.9%	0.9%	0.3%	1.0%	0.6%	
計		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	

4. 全学、学部・センターの全体総括

全学、学部・センターレベルでの授業評価アンケート結果（前後期平均）を整理すると以下のような
る。

(1) 学生による授業評価結果（質問1～質問7、5点満点）

表4-(1)-1 令和7年度学生による授業評価アンケート 学部別集計結果【質問1～7】平均点

	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育 センター	共同利用 センター
【質問1】 授業準備	4.72	4.62	4.75	4.69	4.72	4.78	4.76	4.77
【質問2】 教員の話し方	4.57	4.44	4.69	4.51	4.58	4.62	4.63	4.60
【質問3】 授業の計画性	4.71	4.63	4.72	4.67	4.69	4.84	4.72	4.78
【質問4】 授業時間	4.74	4.67	4.77	4.68	4.76	4.80	4.75	4.78
【質問5】 講義の工夫	4.58	4.47	4.69	4.49	4.61	4.61	4.62	4.62
【質問6】 質問への誠意	4.62	4.52	4.74	4.52	4.61	4.70	4.65	4.61
【質問7】 授業への満足度	4.48	4.38	4.60	4.42	4.52	4.52	4.49	4.51

- すべての質問項目で4.3以上あり、学生の評価は全体的に高いと考えられる。
- 学部・センター間での大きな相違は認められない。

以上の結果は、学生の授業に対する評価が、昨年度に引き続き全体として高い状態を維持していることを示している。今後も、自己点検・評価を繰り返しながら、さらなる向上を目指して授業に取り組んでいきたい。

(2) 学生の自己点検（質問8～14、5点満点）

表4-(2)-1 令和7年度学生による授業評価アンケート 学部別集計結果【質問8～14】平均点

	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育 センター	共同利用 センター
【質問8】 関連学習	2.09	1.93	1.96	2.43	2.05	2.30	1.96	1.73
【質問9】 集中力	3.94	3.80	3.73	3.91	3.84	4.28	4.01	3.78
【質問10】 出席状況	4.48	4.23	4.41	4.42	4.43	4.82	4.49	4.48
【質問11】 知識や技能の深まり	4.37	4.21	4.44	4.35	4.40	4.46	4.36	4.41
【質問12】 授業内容理解への積極性	3.75	3.65	3.72	3.92	3.58	3.89	3.76	3.65
【質問13】 意欲の高まり	4.15	3.95	4.24	4.19	4.21	4.25	4.12	4.14
【質問14】 学修の成果	4.28	4.16	4.34	4.29	4.28	4.33	4.29	4.31

- 全学レベルにおいても学部・センターレベルにおいても、質問8の「関連学習」については平均点が2.5点未満、「授業内容理解への積極性」が3点台となっており、改善の必要がある。
- その他の質問項目については、ほとんどが4点台であり、おおむね良好と考えられる。
- 学部・センター間で多少ばらつきはあるが、大きな相違は認められない。

学生の自己点検結果は、全体的には昨年度に引き続きおおむね良好であると判断できる。しかし、質問8の「関連学習」に関しては、昨年度から連続して点数が低下しており、改善すべき事項と言える。

また、質問10と12の結果は、授業には真面目に出席するものの、授業内容理解への積極性は必ずしも十分ではないことを示している。これは、質問8「関連学習」にも関連するが、学生が授業外での学習に積極的に取り組めるような課題の提示の工夫により改善が図れる可能性がある。また、学生が教員に質

問をしやすくするための、ハード面（ICTを用いた質問方法の工夫など）やソフト面（学生と教員の距離感を近づけるコミュニケーションの工夫など）の改善も一案であろう。

各学科・センターごとの詳細な分析と総括は、「5. 学科の授業評価アンケート結果（p.26～29）」および「6. 学科、センターの個別総括（p.30～69）」を参照していただきたい。今後も、学科・センターレベルでの授業改善を通して、全学的な授業の向上を目指していきたい。

5. 学科の授業評価アンケート結果

(1) 学科の集計結果一覧

各学科の前期の集計結果を表 5-(1)-1、表 5-(1)-2 に、後期の集計結果を表 5-(1)-3、表 5-(1)-4 に示す。なお、全学の各種値は、各センターと RI 室を含めた値のため、本表の全学科の合計値とは一致していない。

表5-(1)-1 令和7年度授業評価アンケート 学科別集計結果 前期【質問1～7】

		係数	経済学科	国際経済学科	税務会計学科	人間文化学科	心理学科	メディア・映像学科	電気電子工学科	建築学科	情報工学科	機械システム工学科	生物科学科	健康栄養科学科	海洋生物科学科	薬学科
受講者数				1,909	551	485	392	854	505	161	558	523	102	224	291	1,280
回答者数			902	245	178	212	361	315	110	409	383	76	192	184	803	1,346
回答率			47.2%	44.5%	36.7%	54.1%	42.3%	62.4%	68.3%	73.3%	73.2%	74.5%	85.7%	63.2%	62.7%	41.3%
【質問1】授業準備	適切である	5	642	163	128	174	294	237	89	303	291	64	148	159	625	1,069
授業の準備は適切になされていると思いますか？	ほぼ適切である	4	184	34	39	34	51	70	18	79	72	10	37	19	157	231
	どちらとも言えない	3	57	41	7	4	15	8	3	19	17	2	6	6	19	37
	やや不適切である	2	11	6	2	0	1	0	0	5	2	0	0	0	1	8
	不適切である	1	8	1	2	0	0	0	0	3	1	0	1	0	1	1
	平均点		4.60	4.44	4.62	4.80	4.77	4.73	4.78	4.65	4.70	4.82	4.72	4.83	4.75	4.75
【質問2】教員の話方	聞き取りやすい(読みやすい)	5	572	136	119	177	268	213	78	260	256	59	124	135	571	926
教員の話は聞き取りやすいですか？／(音声のない遠隔授業の場合では)資料は読みやすいですか？	ほぼ聞き取りやすい(ほぼ読みやすい)	4	223	39	41	33	69	85	28	95	90	14	59	37	184	344
	どちらとも言えない	3	67	27	14	2	17	11	2	24	22	2	5	5	32	42
	やや聞き取りにくい(やや読みにくい)	2	26	26	1	0	5	4	1	24	13	0	3	4	13	27
	聞き取りにくい(読みにくい)	1	14	17	3	0	2	2	1	6	2	1	1	3	3	7
	平均点		4.46	4.02	4.53	4.83	4.65	4.60	4.65	4.42	4.53	4.71	4.57	4.61	4.63	4.60
【質問3】授業の計画性	行われている	5	617	160	128	170	243	228	88	302	263	61	125	137	603	1,058
授業はシラバス通りに行われていますか？	ほぼ行われている	4	184	38	33	27	73	65	18	69	78	8	47	21	139	154
	どちらとも言えない	3	52	24	7	2	7	7	1	14	14	1	13	4	30	18
	やや異なっている	2	14	12	2	1	6	1	0	9	5	0	2	0	4	1
	全く異なっている	1	5	2	1	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0
	シラバスを読んでいない	-	30	9	7	12	32	12	3	15	19	6	5	21	27	115
平均点		4.60	4.45	4.67	4.83	4.68	4.70	4.81	4.69	4.62	4.86	4.58	4.80	4.73	4.84	
【質問4】授業時間	守っている	5	658	191	134	174	305	242	89	295	286	71	145	157	653	1,139
授業を遅く始めたり、早く終わったりしないで、授業時間を守っていますか？	ほぼ守っている	4	169	31	34	35	45	65	19	100	76	5	41	25	127	174
	どちらとも言えない	3	52	18	6	2	7	6	2	10	17	0	3	1	18	23
	やや守っていない	2	16	3	1	1	3	2	0	3	2	0	1	1	4	6
	守っていない	1	4	1	2	0	1	0	0	1	1	0	2	0	1	4
	この授業は遠隔授業なのでわからない	-	3	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
平均点		4.63	4.67	4.68	4.80	4.80	4.74	4.79	4.67	4.69	4.93	4.70	4.84	4.78	4.81	
【質問5】講義の工夫	思う	5	562	144	119	168	279	213	78	244	252	55	134	138	596	889
教員は、授業内容を理解しやすくするように工夫していると思いますか？	やや思う	4	212	35	38	42	56	83	27	101	89	15	47	35	162	363
	どちらとも言えない	3	92	38	14	2	18	12	3	34	27	4	10	8	35	64
	あまり思わない	2	25	19	5	0	5	6	2	23	13	1	0	2	7	23
	思わない	1	11	9	2	0	3	1	0	7	2	1	1	1	3	7
	平均点		4.43	4.17	4.50	4.78	4.67	4.59	4.65	4.35	4.50	4.61	4.63	4.67	4.67	4.56
【質問6】質問への誠意	誠意をもって答える	5	493	125	103	160	255	202	72	232	239	50	111	113	464	634
教員は、あなたの質問に誠意をもって答えていますか？	ほぼ誠意をもって答える	4	131	29	23	35	38	50	18	65	67	7	34	22	119	109
	どちらとも言えない	3	83	30	13	5	17	12	3	44	23	3	14	6	41	49
	やや誠意が感じられない	2	14	6	4	1	2	4	0	3	4	1	1	0	3	7
	誠意が感じられない	1	10	8	1	0	1	0	0	10	3	0	2	0	1	2
	質問したことがない	-	171	47	34	11	48	47	17	55	47	15	30	43	175	545
平均点		4.48	4.30	4.55	4.76	4.74	4.68	4.74	4.43	4.59	4.74	4.55	4.76	4.66	4.71	
【質問7】授業への満足度	満足	5	504	123	111	150	233	196	69	220	244	48	128	115	527	798
この授業に対する総合的なあなたの満足度を5段階で示してください	ほぼ満足	4	261	51	42	52	99	101	33	109	97	22	50	56	219	420
	どちらとも言えない	3	96	46	19	8	22	14	6	59	26	3	11	10	48	104
	やや不満	2	28	15	4	2	3	3	2	14	9	3	2	3	7	20
	不満	1	13	10	2	0	4	1	0	7	7	0	1	0	2	4
	平均点		4.35	4.07	4.44	4.65	4.53	4.55	4.54	4.27	4.47	4.51	4.57	4.54	4.57	4.48
【質問1】～【質問7】の平均			4.50	4.30	4.57	4.78	4.69	4.65	4.71	4.50	4.59	4.74	4.62	4.72	4.68	4.68

表5-(1)-2 令和7年度授業評価アンケート 学科別集計結果 前期【質問8~14】

		係数	経済学科	国際経済学科	税務会計学科	人間文化学科	心理学科	メディア・映像学科	電気電子工学科	建築学科	情報工学科	機械システム工学科	生物科学科	健康栄養科学科	海洋生物科学科	薬学科
受講者数			1,909	551	485	392	854	505	161	558	523	102	224	291	1,280	3,263
回答者数			902	245	178	212	361	315	110	409	383	76	192	184	803	1,346
回答率			47.2%	44.5%	36.7%	54.1%	42.3%	62.4%	68.3%	73.3%	73.2%	74.5%	85.7%	63.2%	62.7%	41.3%
【質問8】 関連学習 この授業に関して、1回の授業あたり平均してどのくらいの予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか？	3時間以上	5	48	12	17	4	13	12	9	75	44	6	2	0	21	124
	2~3時間未満	4	54	14	14	4	30	13	14	53	36	5	3	10	38	104
	1~2時間未満	3	116	41	37	27	65	53	26	83	76	16	40	30	185	309
	30分~1時間未満	2	264	71	47	67	115	104	35	94	102	22	79	72	341	483
	30分未満	1	420	107	63	110	138	133	26	104	125	27	68	72	218	326
	平均点		1.94	1.99	2.30	1.70	2.07	1.94	2.50	2.76	2.40	2.22	1.92	1.88	2.13	2.42
【質問9】 集中力 授業中に私語、居眠り、携帯電話の操作、あるいは別のことを考えることなどはありますか？	全くない	5	258	66	66	31	103	86	36	143	131	15	49	59	217	660
	ほとんどない	4	316	89	73	89	137	114	49	159	167	39	88	73	351	506
	どちらとも言えない	3	193	62	23	47	59	69	14	64	56	13	29	38	154	122
	しばしばある	2	114	23	12	40	58	42	8	37	28	7	25	12	72	50
	毎回ある	1	21	5	4	5	4	4	3	6	1	2	1	2	9	8
	平均点		3.75	3.77	4.04	3.48	3.77	3.75	3.97	3.97	4.04	3.76	3.83	3.95	3.87	4.31
【質問10】 出席状況 授業には特別な事情（公認欠席、忌引きなど）を除き、出席していますか？	全出席	5	389	97	110	118	202	192	57	258	266	42	118	121	465	1,123
	ほぼ出席	4	359	109	46	75	119	96	35	112	91	25	60	51	272	205
	ときどき欠席する	3	123	32	13	17	30	24	9	29	20	7	12	12	48	15
	やや欠席が多い	2	21	5	8	1	9	3	9	6	6	1	0	0	13	2
	欠席が大変多い	1	10	2	1	1	1	0	0	4	0	1	2	0	5	1
	平均点		4.22	4.20	4.44	4.45	4.42	4.51	4.27	4.50	4.61	4.39	4.52	4.59	4.47	4.82
【質問11】 知識や技能の深まり この授業を受講して、あなたの知識や技能は深まっていますか？	大いに深まっている	5	351	96	92	111	195	172	53	220	203	31	93	92	443	710
	やや深まっている	4	376	88	64	85	138	121	48	143	143	38	84	79	306	532
	どちらとも言えない	3	137	43	10	12	24	20	5	30	27	4	12	10	45	81
	あまり深まっていない	2	24	12	8	4	4	1	3	13	9	3	2	3	8	21
	全く深まっていない	1	14	6	4	0	0	1	1	3	1	0	1	0	1	2
	平均点		4.14	4.04	4.30	4.43	4.45	4.47	4.35	4.38	4.40	4.28	4.39	4.41	4.47	4.43
【質問12】 授業内容理解への積極性 授業内容のわからない点や疑問に思う点について、教員や友人への質問、インターネットや書籍を利用した自己学習等によって積極的に解決しようとしていますか？	ほぼ全てしている	5	252	81	75	71	115	107	44	186	157	9	51	41	242	552
	頻繁にしている	4	219	44	42	40	64	84	22	96	117	13	42	51	175	311
	ときどきしている	3	302	78	44	72	138	98	31	90	97	42	78	65	313	400
	ほとんどしていない	2	85	26	11	24	37	22	10	25	12	9	14	19	57	61
	全くしていない	1	44	16	6	5	7	4	3	12	0	3	7	8	16	22
	平均点		3.61	3.60	3.95	3.70	3.67	3.85	3.85	4.02	4.09	3.21	3.60	3.53	3.71	3.97
【質問13】 意欲の高まり この授業を受講して、授業内容を更に詳しく学びたいと思いますか？	大いに思う	5	279	81	80	95	154	150	42	193	194	23	84	71	380	577
	やや思う	4	353	73	59	85	132	125	49	121	127	38	79	81	330	525
	どちらとも言えない	3	210	55	23	25	47	30	14	65	42	12	24	26	66	183
	あまり思わない	2	43	21	12	7	25	9	5	22	11	3	5	6	25	52
	全く思わない	1	17	15	4	0	3	1	0	8	9	0	0	0	2	9
	平均点		3.92	3.75	4.12	4.26	4.13	4.31	4.16	4.15	4.27	4.07	4.26	4.18	4.32	4.20
【質問14】 学修の成果 この授業であなたが得た成果を5段階で自己評価してください。	十分に成果はあがっている	5	342	92	86	84	148	155	42	185	181	22	79	70	374	611
	少し成果はあがっている	4	388	79	70	104	168	126	59	168	155	47	80	90	349	588
	どちらとも言えない	3	133	47	15	19	36	29	7	40	32	6	30	20	70	111
	あまり成果はあがっていない	2	30	15	5	4	8	4	0	12	12	1	2	4	7	32
	全く成果はあがっていない	1	9	12	2	1	1	1	2	4	3	0	1	0	3	4
	平均点		4.14	3.91	4.31	4.25	4.26	4.37	4.26	4.27	4.30	4.18	4.22	4.23	4.35	4.32
【質問8】~【質問14】の平均			3.67	3.61	3.92	3.75	3.82	3.89	3.91	4.01	4.02	3.73	3.82	3.83	3.90	4.07

表5-(1)-3 令和7年度授業評価アンケート 学科別集計結果 後期【質問1～7】

	係数	経済学科	国際経済学科	税務会計学科	人間文化学科	心理学科	メディア・映像学科	電気電子工学科	建築学科	情報工学科	機械システム工学科	生物科学科	健康栄養科学科	海洋生物科学科	薬学科	
		1,742	745	481	510	772	544	586	658	404	114	232	283	1,534	3,148	
受講者数		745	481	510	772	544	586	658	404	114	232	283	1,534	3,148		
回答者数		213	189	243	268	255	289	421	225	88	178	199	1,018	1,381		
回答率		28.6%	39.3%	47.6%	34.7%	46.9%	49.3%	64.0%	55.7%	77.2%	76.7%	70.3%	66.4%	43.9%		
【質問1】授業準備 授業の準備は適切になされていると思いますか？	適切である	5	532	163	134	187	215	205	218	307	185	65	128	168	736	1,147
	ほぼ適切である	4	164	41	41	50	42	44	54	85	33	14	47	29	229	216
	どちらとも言えない	3	30	6	8	6	5	4	17	23	4	8	3	1	41	15
	やや不適切である	2	4	3	3	0	2	2	0	4	1	0	0	1	8	2
	不適切である	1	2	0	3	0	4	0	2	2	1	0	0	0	4	1
平均点		4.67	4.71	4.59	4.74	4.72	4.77	4.70	4.64	4.77	4.61	4.70	4.83	4.66	4.81	
【質問2】教員の話し方 教員の話は聞き取りやすいですか？／ (音声のない遠隔授業の場合では)資料は読みやすいですか？	聞き取りやすい(読みやすい)	5	459	158	129	194	205	182	178	288	176	55	114	146	648	1,000
	ほぼ聞き取りやすい(ほぼ読みやすい)	4	193	40	44	43	48	63	78	105	37	20	56	35	288	312
	どちらとも言えない	3	43	11	7	1	10	6	21	28	11	6	7	11	54	40
	やや聞き取りにくい(やや読みにくい)	2	24	3	5	4	4	4	10	16	1	5	1	5	20	23
	聞き取りにくい(読みにくい)	1	13	1	4	1	1	0	2	4	0	2	0	2	8	6
平均点		4.45	4.65	4.53	4.75	4.69	4.66	4.45	4.47	4.72	4.38	4.59	4.60	4.52	4.65	
【質問3】授業の計画性 授業はシラバス通りに行われていますか？	行われている	5	527	163	123	172	193	189	208	299	168	59	116	160	708	1,142
	ほぼ行われている	4	151	35	44	57	42	46	63	71	39	15	47	20	223	170
	どちらとも言えない	3	31	7	9	4	9	10	13	33	10	5	6	2	43	9
	やや異なっている	2	2	1	3	1	3	1	4	2	1	3	0	0	9	5
	全く異なっている	1	1	3	1	0	0	1	0	2	0	0	0	0	4	1
シラバスを読んでいない	-	20	4	9	9	21	8	1	14	7	6	9	17	31	54	
平均点		4.69	4.69	4.58	4.71	4.72	4.70	4.65	4.63	4.72	4.59	4.65	4.87	4.64	4.84	
【質問4】授業時間 授業を遅く始めたり、早く終わったりしないで、授業時間を守っていますか？	守っている	5	574	160	130	194	227	191	199	289	162	75	125	176	796	1,127
	ほぼ守っている	4	134	38	45	42	32	59	73	106	54	11	45	20	184	219
	どちらとも言えない	3	19	11	11	5	6	4	13	23	8	2	7	2	32	26
	やや守っていない	2	3	3	0	2	2	1	1	2	1	0	1	1	4	7
	守っていない	1	2	1	3	0	1	0	3	1	0	0	0	0	2	2
この授業は遠隔授業なのでわからない	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
平均点		4.74	4.66	4.58	4.76	4.80	4.73	4.61	4.62	4.68	4.83	4.65	4.86	4.74	4.78	
【質問5】講義の工夫 教員は、授業内容を理解しやすくするように工夫していると思いますか？	思う	5	484	162	121	188	213	199	188	267	164	56	127	162	673	1,006
	やや思う	4	179	33	48	45	39	44	79	105	42	18	46	25	237	301
	どちらとも言えない	3	53	17	15	7	11	10	18	35	13	6	4	6	70	54
	あまり思わない	2	12	0	2	2	4	2	4	10	5	6	1	4	22	16
	思わない	1	4	1	3	1	1	0	0	4	1	2	0	2	16	4
平均点		4.54	4.67	4.49	4.72	4.71	4.73	4.56	4.48	4.61	4.36	4.68	4.71	4.50	4.66	
【質問6】質問への誠意 教員は、あなたの質問に誠意をもって答えていますか？	誠意をもって答える	5	402	133	97	161	194	168	151	234	138	41	103	131	472	552
	ほぼ誠意をもって答える	4	132	36	37	36	40	37	56	86	29	14	36	25	157	165
	どちらとも言えない	3	49	8	7	6	7	9	34	43	14	2	15	5	81	20
	やや誠意が感じられない	2	6	1	3	0	1	2	2	6	2	1	1	0	4	2
	誠意が感じられない	1	1	1	2	0	0	0	2	4	1	0	0	0	3	3
質問したことがない	-	142	34	43	40	26	39	44	48	41	30	23	38	301	639	
平均点		4.57	4.67	4.53	4.76	4.76	4.72	4.44	4.45	4.64	4.64	4.55	4.78	4.52	4.70	
【質問7】授業への満足度 この授業に対する総合的なあなたの満足度を5段階で示してください	満足	5	423	137	113	170	195	176	160	270	140	46	117	135	597	890
	ほぼ満足	4	233	56	47	59	56	66	104	102	60	26	49	49	304	408
	どちらとも言えない	3	59	14	21	9	12	10	19	33	20	9	12	11	88	64
	やや不満	2	12	6	5	4	1	3	6	10	3	3	0	1	18	13
	不満	1	5	0	3	1	4	0	0	6	2	4	0	3	11	6
平均点		4.44	4.52	4.39	4.62	4.63	4.63	4.45	4.47	4.48	4.22	4.59	4.57	4.43	4.57	
【質問1】～【質問7】の平均		4.59	4.65	4.53	4.72	4.72	4.70	4.55	4.54	4.66	4.52	4.63	4.75	4.57	4.72	

表5-(1)-4 令和7年度授業評価アンケート 学科別集計結果 後期【質問8~14】

		係数	経済学科	国際経済学科	税務会計学科	人間文化学科	心理学科	メディア・映像学科	電気電子工学科	建築学科	情報工学科	機械システム工学科	生物科学科	健康栄養科学科	海洋生物科学科	薬学科
受講者数			1,742	745	481	510	772	544	586	658	404	114	232	283	1,534	3,148
回答者数			732	213	189	243	268	255	289	421	225	88	178	199	1,018	1,381
回答率			42.0%	28.6%	39.3%	47.6%	34.7%	46.9%	49.3%	64.0%	55.7%	77.2%	76.7%	70.3%	66.4%	43.9%
【質問8】 関連学習 この授業に関して、1回の授業あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか？	3時間以上	5	38	11	6	6	8	14	24	57	17	4	3	1	37	55
	2~3時間未満	4	21	12	9	13	16	11	14	47	14	1	4	6	52	117
	1~2時間未満	3	86	40	24	41	43	42	47	106	48	18	18	33	216	293
	30分~1時間未満	2	193	62	66	79	113	78	55	93	84	29	96	85	378	485
	30分未満	1	394	88	84	104	88	110	149	118	62	36	57	74	335	431
	平均点		1.79	2.04	1.87	1.92	2.04	1.98	1.99	2.60	2.29	1.95	1.88	1.87	2.09	2.19
【質問9】 集中力 授業中に私語、居眠り、携帯電話の操作、あるいは別のことを考えることなどはありますか？	全くない	5	204	63	60	57	75	80	70	126	76	16	56	80	223	643
	ほとんどない	4	277	88	69	104	93	93	113	167	90	45	80	79	439	528
	どちらとも言えない	3	153	41	44	46	54	50	66	78	36	15	28	30	221	131
	しばしばある	2	81	15	12	34	44	28	34	43	23	9	12	10	113	65
	毎回ある	1	17	6	4	2	2	4	6	7	0	3	2	0	22	14
	平均点		3.78	3.88	3.89	3.74	3.73	3.85	3.72	3.86	3.97	3.70	3.99	4.15	3.72	4.25
【質問10】 出席状況 授業には特別な事情(公認欠席、忌引きなど)を除き、出席していますか？	全出席	5	304	92	96	115	145	141	130	194	132	44	99	146	505	1,161
	ほぼ出席	4	300	88	62	102	84	90	117	174	76	32	52	44	380	184
	ときどき欠席する	3	94	24	23	20	25	13	33	34	13	10	10	8	95	34
	やや欠席が多い	2	26	8	7	4	10	9	8	13	3	1	14	1	34	2
	欠席が大変多い	1	8	1	1	2	4	2	1	6	1	1	3	0	4	0
	平均点		4.18	4.23	4.30	4.33	4.41	4.27	4.28	4.49	4.33	4.29	4.68	4.32	4.81	
【質問11】 知識や技能の深まり この授業を受講して、あなたの知識や技能は深まっていますか？	大いに深まっている	5	326	101	86	126	133	145	127	226	101	29	85	117	472	773
	やや深まっている	4	310	86	80	102	112	94	125	151	101	47	83	69	429	521
	どちらとも言えない	3	73	20	17	13	15	13	28	31	22	7	7	10	92	74
	あまり深まっていない	2	16	6	3	1	5	2	7	11	1	2	3	2	20	8
	全く深まっていない	1	7	0	3	1	3	1	2	2	0	3	0	1	5	5
	平均点		4.27	4.32	4.29	4.44	4.37	4.49	4.27	4.40	4.34	4.10	4.40	4.50	4.32	4.48
【質問12】 授業内容理解への積極性 授業内容のわからない点や疑問に思う点について、教員や友人への質問、インターネットや書籍を利用した自己学習等によって積極的に解決しようとしていますか？	ほぼ全てしている	5	216	70	48	63	82	95	106	174	79	16	41	54	230	468
	頻繁にしている	4	175	54	40	55	55	68	54	109	71	18	29	41	205	308
	ときどきしている	3	237	69	69	94	95	70	92	113	62	44	82	89	441	494
	ほとんどしていない	2	78	16	23	23	22	10	21	21	13	8	20	13	105	79
	全くしていない	1	26	4	9	8	14	12	16	4	0	2	6	2	37	32
	平均点		3.65	3.80	3.50	3.58	3.63	3.88	3.74	4.02	3.96	3.43	3.44	3.66	3.48	3.80
【質問13】 意欲の高まり この授業を受講して、授業内容を更に詳しく学びたいと思いますか？	大いに思う	5	243	87	66	106	129	121	117	190	99	26	72	105	401	630
	やや思う	4	276	82	69	96	96	108	160	92	43	76	69	385	570	
	どちらとも言えない	3	158	36	37	30	29	32	54	28	12	22	20	161	146	
	あまり思わない	2	35	4	11	10	8	5	8	13	3	5	4	4	60	28
	全く思わない	1	20	4	6	1	6	1	2	4	3	2	4	1	11	7
	平均点		3.94	4.15	3.94	4.22	4.25	4.30	4.14	4.23	4.25	3.98	4.17	4.37	4.09	4.29
【質問14】 学修の成果 この授業であなたが得た成果を5段階で自己評価してください。	十分に成果はあがっている	5	285	94	72	130	128	137	126	221	110	26	79	96	416	602
	少し成果はあがっている	4	326	91	85	83	106	101	124	142	92	47	88	86	436	667
	どちらとも言えない	3	98	22	25	23	27	13	27	46	20	7	10	13	131	92
	あまり成果はあがっていない	2	16	4	3	6	4	4	12	8	2	4	1	3	24	16
	全く成果はあがっていない	1	7	2	4	1	3	0	0	4	1	4	0	1	11	4
	平均点		4.18	4.27	4.15	4.38	4.31	4.45	4.26	4.35	4.37	3.99	4.38	4.37	4.20	4.34
【質問8】~【質問14】の平均			3.69	3.81	3.71	3.80	3.81	3.91	3.77	3.96	3.95	3.64	3.79	3.94	3.75	4.02

6. 学科、センターの個別総括

令和4年度の授業評価アンケートについて、学科長・センター長が総括し、報告書を作成した。今後、この自己点検・評価を基に、さらなる授業改善が期待される。

① 経済学部経済学科

令和8年2月27日

大学教育センター

鶴田 泰人 センター長 殿

経済学部経済学科

学科長 吉田 卓史

令和7年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】 実施期間 前期：令和7年6月23日（月）～7月13日（日）
後期：令和7年12月8日（月）～令和8年1月16日（金）

【2】 対象科目の選定

全ての授業科目（受講者6名未満の授業を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、経済学部では前期23科目、後期22科目について調査を行った。

【3】 アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

【4】 調査結果の集計

アンケート調査および集計は学習支援システムCerezoを利用して行った。

【5】 調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：

教員の授業に関する7項目の平均値は、前期4.5、後期4.56であり、後期に一定の改善はみられたものの、全学平均（前期4.62、後期4.64）を前後期とも下回る結果となった。ただし非常勤講師担当科目および分析対象を共通教育科目としたものを除き、学科専門科目のみで集計した場合、後期の平均値は4.65となり全学平均を上回る結果となった。後期にかけて評価が向上し、授業改善の取り組みが一定の成果を上げているものと評価できる。項目別では教員の話し方、講義の工夫の項目において、学科としてさらなる向上の余地が認められる。

分析結果を踏まえた改善方策：

学科として授業の質的保証を一層推進する必要があるため、評価の高い授業の事例共有を行い、授業計画の明確化、話し方の改善や講義の工夫を重点的に取り組む。また、到達目標に対する達成度を教員一人一人が見直し、より充実した講義となるよう改善していきたい。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：

学生の学習状況に関する項目（質問8～14）の平均値は前期3.67、後期3.69であった。授業評価項目と比較すると改善の余地は残るものの、学習環境は概ね維持されており、授業改善に伴う学修行動の変化が今後期待される。本学科においては、学修の成果の向上が課題であると考えている。

分析結果を踏まえた改善方策：

学生の主体的学習を促進するため、予習復習課題の提示、小テストやリアクションペーパーの活用、アクティブ・ラーニングの導入を推進し、授業理解とともに主体的な学修行動へつなげる授業設計を検討していく。

【6】 教員へのフィードバックについて

アンケートの集計結果は、学科教員・非常勤講師合わせ全員にフィードバックしている。各教員には、授業評価アンケート報告書の提出を求めた。

【7】 学生へのフィードバックについて

学生に対するフィードバックは、講義ごとに、最終講義日、Cerezoのいずれかにおいて実施した。詳細は報告書へ記載している。

【8】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

<意見・提案>

(1) 知識の深まりの評価は高いものの、学修成果の評価が低い。学修成果として行動へつなげる工夫が必要である。

(2) 学生の基礎学力を念頭においた講義内容の工夫が必要であると考えます。

(3) 自宅学習へつなげる演習問題・講義資料の改善を行いたい。

(4) 匿名フォーム＋ペア対話を活用し、質問を促進するとともに、集中力の維持と理解の深まりを支援する。

(5) 学生の知識不足が学習成果に関する項目の低評価につながっている可能性がある。講義の理解に必要な基礎知識についての復習的な講義回を設けるなどの工夫が必要と考える。

【9】 総 括

本学科の授業評価は改善傾向にあるものの、全学平均を下回る項目が一部に見られ、授業運営および学修促進両面において改善が求められる。一方で、学科専門科目に限れば全学平均を上回る評価が得られており、本学科教員による専門教育科目においては教育の質が十分に発揮されているといえる。今後は各教員が本報告を踏まえて授業改善に努めるとともに、学科でのFD研修を通じて評価の高い教授方法を共有するとともに、学生の学修成果につなげるための主体性を育む参加型授業の導入を推進するなど、教育の質保証の強化に取り組んでいきたい。

以上

大学教育センター
鶴田 泰人 センター長 殿

経済学部国際経済学科
学科長 Bisset Ian James

令和7年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

- 【1】 実施期間 前期：令和7年6月25日（月）～7月13日（日）
後期：令和7年12月8日（月）～令和8年1月16日（金）

【2】 対象科目の選定

全ての授業科目についてアンケートを実施する方針に従い、国際経済学科では前期10科目、後期10科目について調査を行った。

【3】 アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

【4】 調査結果の集計

アンケート調査および集計はCerezoを利用して行った。

【5】 調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：教員の授業評価に関する7項目は、教員の授業技術的設問と講義内容の妥当性を問う設問で構成されている。国際経済学科の教員の板書、話し方、計画性等の授業技術は十分に高いレベルを有していると判断できる。前期に低い評価を受けた教員は、それを受けて後期には改善が見られた。

分析結果を踏まえた改善方策：

国際経済学科の教員の指導力につきましては、学生の皆様から高い評価をいただいておりますが、今後も改善努力を継続してまいります。全体的な評価が高い場合でも、常に改善の余地がございます。また、回答率の向上とご意見の積極的なご提出も目指してまいります。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：

多くの科目において、「関連学習の準備」に関する自己評価は低い水準にあります。学生の自己評価の分野には、まだ改善の余地があると言えるでしょう。教室外での学習や研究への意欲を高めることは、本学科の重要な目標の一つです。

分析結果を踏まえた改善方策：

全学的に取り組んでいる準備学習の充実への努力を継続する必要がある。また、学生に対してアルバイトの時間が過多にならないように指導して、準備学習のための時間とエネルギーを確保することが肝要である。

【6】 教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果は、学科教員全員に対して全ての集計結果をフィードバックしている。対象科目担当教員には、それを基に授業アンケート実施報告書の提出を求めた。

【7】 学生へのフィードバックについて

学生に対するフィードバックは講義最終回、定期試験実施時、またはCerezoを通じて当該授業科目担当教員が行った。その詳細を提出された報告書に記載している。

【8】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

<意見・提案>

- （1） 毎回、講義内で課題を設けているが、学生によって取り組みの差が大きいように感じた。生成AIにすぐ頼る学生もおり、どのように学生が課題を解くか課題である。課題の締め切りの設定の工夫や、紙での課題提出も計画していきたい。
- （2） 学生の興味関心を向上させるために、現実の事象と経済理論のつながりを授業内にもっと取り入れていく。
- （3） 関連学習、集中力が学部平均以下であった。インタラクティブな授業を実施するには、学生数が多すぎる。
- （4） 学生の学習意欲が高まるよう、講義レジュメの分量や見易さ、学修のしやすさなどについて、工夫して改善したい。

【9】

本調査により、当学科における授業実施の実態と学生の学習成果を反映した結果が得られました。前述の通り、各科目において授業改善に向けた課題も明らかになりました。

以上

大学教育センター
鶴田 泰人 センター長 殿

経済学部税務会計学科
学科長 張 楓

令和7年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

- 【1】 実施期間 前期：令和7年6月23日（月）～7月13日（日）
後期：令和7年12月8日（月）～令和8年1月16日（金）

【2】 対象科目の選定

全ての授業科目（受講者6名未満の授業を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、経済学部では前期8科目、後期8科目について調査を行った。

【3】 アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

【4】 調査結果の集計

アンケート調査および集計は学習支援システムCerezoを利用して行った。

【5】 調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：

教員の授業に関する7項目の平均値は、前期4.57、後期4.53であり、経済学部平均では前期が高い水準であったものの、後期が学科の平均値低下にともない下回るようになった。また、全学平均（前期4.62、後期4.64）では前期・後期がともに下回る結果となった。経済学部と税務会計学科の各項目の平均点を詳細にみていくと、前期では、学科の平均点がすべての項目において学部平均を上回る水準であったが、後期では、学部平均を上回るのは【質問2】のみとなっていた。

分析結果を踏まえた改善方策：

学科として授業の持続的な質的保証を一層推進する必要があるため、評価の高い授業の事例共有を行い、授業計画の明確化や講義の工夫、質問への誠意を重点的に取り組む。また、到達目標に対する達成度を教員一人一人が見直し、より充実した講義となるよう改善していきたい。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：

学生の学習状況に関する項目（質問8～14）の平均値は前期3.92、後期3.71であった。授業評価項目と比較すると、学習環境は概ね維持されているものの、後期の平均値が大きく下がっていることから、授業の評価が学生の学習状況と強くリンクしていると認められよう。継続的な授業の改善に伴う学修行動の変化がより一層期待される。本学科においては、関連学習および授業内容理解への積極性の向上が課題であると考えられる。

分析結果を踏まえた改善方策：

学生の主体的学習を促進するため、予習復習課題の提示、小テストやリアクションペーパーの活用、アクティブ・ラーニングの導入を推進し、授業理解とともに主体的な学修行動へつなげる授業設計を検

討していく。

【6】 教員へのフィードバックについて

アンケートの集計結果は、学科教員・非常勤講師合わせ全員にフィードバックしている。各教員には、授業評価アンケート報告書の提出を求めた。

【7】 学生へのフィードバックについて

学生に対するフィードバックは、講義ごとに、最終講義日、Cerezoのいずれかにおいて実施した。詳細は報告書へ記載している。

【8】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

＜意見・提案＞

(1) 学生の立場に立ったコミュニケーションを心掛ける。具体的には、授業の目的や到達ポイントを明確に伝え、それがなぜ必要なのかを、学生の目線で伝えていく。主体性を引き出す授業であれば、欠かせないプロセスであるため、毎授業ごとに実施する。

(2) わかりやすさの改善を進めていきたいと思えます。また学生の質問に極力限られた時間内において答えていくようにします。

(3) 受講者の約3分の1が経済学科の学生であり、本講義の理解に必要な基礎知識が不足している。また、税務会計学科における1・2年次の専門科目の教育内容についても、さらなる強化が求められる。したがって、1・2年次に配当される専門科目との連携を意識し、その復習も兼ねた講義設計を行うことが望ましい。

(4) 事前学習の方法について丁寧に指導をしていきたい。

(5) 管理会計は専門科目であり、また経営における意思決定に重要な役割を果たす学問である。したがって、学生人もある程度会計の知識が備わっているため意思決定のプロセスを学生自身にグループディスカッション等で考えさせ、発表してもらおうような取り組みも必要である。

【9】 総括

本学科の授業と学習状況の評価はともに前期が高く、後期が低くなるという傾向にある。年間を通してみられる特徴として、授業の評価低下が学習状況の評価の低下をもたらしていると強く見受けられるといえる。後期では、前期と同様の経済学部平均を上回る高い水準の授業評価を維持しさらに高めていくのは大きな課題であると考えられる。その対策として取り組むべきは、事前学習の方法を指導すること、学生の立場に立ったコミュニケーションを心掛けながら授業の目的と到達目標を明確に伝えていくこと、学生の質問に丁寧に答えていくこと、さらなる基礎知識不足の学生に対する懇切な指導を設計していくこと、などである。

以上

大学教育センター
鶴田 泰人 センター長 殿

人間文化学部人間文化学科
学科長 柳川真由美

令和5年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】 実施期間 前期：令和7年6月25日（月）～7月13日（日）
後期：令和7年12月8日（月）～令和8年1月16日（金）

【2】 対象科目の選定

全ての授業科目についてアンケートを実施する方針に従い、人間文化学科では前期13科目、後期15科目について調査を行った。

【3】 アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

【4】 調査結果の集計

アンケート調査および集計はCerezoを利用して行った。

【5】 調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：

授業内容については肯定的な意見が多い。【質問3】の計画性の回答をみると、「シラバスを読んでいる」という学生が一定数いる。わずかだが【質問7】の満足度に「やや不満」という回答がみられた。自由記載欄には「配布資料に書き込むことを増やしてほしい」「長い解説が続くと眠くなる」「間が長く感じることもあるので、改善してほしい」といったコメントがみられた。

分析結果を踏まえた改善方策：

【質問3】については、オリエンテーションを通じてシラバスを確認するように改めて伝える。【質問7】については、各人の授業のスタイルもあると思うが、教員が一方的に話をする時間が続くと、学生の気が緩みがちになることなどを学科で再度共有し、質問をして考えた上で記入させるといった作業を挟みながら話す事など、授業方法について改善できるようなFDの実施などを検討したい。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：

【質問8】の関連学習は低い数値である。【質問10】の出席状況はおおむね良好だが、【質問9】の集中力が低い傾向にある。【質問11】の知識や技能の深まりは、肯定的な評価が多いものの、科目によっては「あまり深まっていない」とする学生もいる。【質問13】意欲の高まりもおおむね肯定的だが、「思わない」「全く思わない」という学生が少数みられる。【質問14】の学修の成果についても同様に、「あまり上がっていない」「全くあがっていない」という学生が数名いる。しかし、その授業に対して学生が個別に寄せたコメントをみると、肯定的なものであり、否定的な意見は見られない。否定的な評価をした学生と肯定的な評価をした学生の興味や関心、自己評価の違いにもとづくものと考えられる。

分析結果を踏まえた改善方策：

消極的な理由（卒業単位取得のみを目的とする、友人と同じ科目であるなど）で受講している学生もいるため、あらゆる科目で主体的な関連学習や予習・復習を期待することは難しいが、興味を持った学生のために関連図書を紹介することなどは可能と思う。

知識や技能が「深まっていない」「上がっていない」と回答した学生の具体的な考え（なぜ知識や技能が深まっていない、成果が上がっていないと考えるのか）がアンケート内容からは不明であるため検討しづらい点はあるが、成果や知識・技能については、自己評価が低い学生もいるため、授業期間内に学生が自身の成長を実感できるようにすることは改善に結びつくのではないかと。

【6】 教員へのフィードバックについて

3月の学科会議、あるいはメーリングリスト等でフィードバックの予定。その際、授業評価アンケートの結果をもとに、各教員の抱える「困難」や「問題」、改善プランなどを共有する学科FDの実施についても次年度の学科長に提案しておきたい。

【7】 学生へのフィードバックについて

授業評価アンケートのフィードバックについては、セレッソであるいは授業時間に各教員が行った。

【8】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

<意見・提案>

(1)

集中力の低さの具体的な内容（居眠りや携帯を触っているなど）が共通している。スマホやタブレット、PCを持ち込むことが当然となっており、それらを使ってメモをしたり、調べたりすることもあるので、授業中として適切な利用がなされることが問題になっている。

(2)

セレッソを利用したリアルタイムの意見集約で早く提出した学生の待ち時間が長くなったというコメントがあった。これに限らず、多様な学生がいるなかで、全体のペースや難易度をどこに設定するか、という点はどの科目にも共通する問題であると思う。

(3)

「そもそもアンケートの回答率が低い。」という声があった。回答率の低さはアンケートの有効性に関係するのではないかと。

(4)

関連学習を増やすことについては、授業内容に関連する図書の紹介などがあがっている。

(5)

学生になじみのない学問分野や地域を扱う場合、興味や関心を喚起・維持することが若干難しいように見える。画像など、学生の興味を引くような資料を提示しながら授業を進める、あるいは入門的なテキストの導入といった改善策があげられていた。専門性と学生の習熟度のバランスをどう取っていくかは、どの科目にも共通する問題ではないかと思う。

【9】 総 括

学科長として授業評価アンケートを取りまとめたのは今年度が初めてだが、全教員のアンケート結果や報告書を確認することで、学科教員＝学科学生が授業に際して感じる問題点や不満がある程度共通していることが分った。これまで、アンケート結果の共有やそれを元にした学科FDなどは行われていないが、共通する問題点等があることから、今後の共有と学科FDの実施などに向けて提案していきたい。

以上

大学教育センター

鶴田 泰人 センター長 殿

人間文化学部心理学科

学科長 中 島 学

令和7年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

- 【1】 実施期間 前期：令和7年6月23日（月）～7月13日（日）
後期：令和7年12月8日（月）～令和8年1月16日（金）

【2】 対象科目の選定

全ての授業科目（受講者6名未満の授業を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、心理学科では前期13科目、後期13科目について調査を行った。

【3】 アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

【4】 調査結果の集計

アンケート調査および集計は学習支援システムCerezoを利用して行った。

【5】 調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：

前期における「授業評価アンケート」質問項目7項目の全学平均が4.62で、心理学科の平均は4.69であった。また、後期の全学平均は4.64で、心理学科の平均は4.72であった。質問項目別にみると、質問項目別にみると、前期は「授業計画」において0.03、後期は「授業準備」において0.01、全学平均より低くはなっているが、それ以外の6つの項目においては前期・後期とも全学平均点を上回っている。以上の結果より、心理学科の「授業評価アンケート」結果は、ほぼすべての項目において4.5点以上であり、全学平均より高い値を示していることから、総じて高評価が得られたと言える。

分析結果を踏まえた改善方策：

上述したように、次年度以降も本年度と同様の高い水準を保つことが今後の課題と言える。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：

前期における「学生の自己点検」質問項目7項目の全学平均が3.88で、心理学科の平均は3.82であった。また、後期の全学平均は3.85で、心理学科の平均は3.81であった。いずれも全学平均よりやや低く、4.0未満の値を示していることから、学生の「自己点検」の結果は高いとは言えない。各項目別にみると、全学平均を下回っている項目は、前期・後期ともに「関連学習（前期：2.07；後期2.04）」「集中力（前期3.77；後期3.73）」「出席状況（前期：4.42；後期4.33）」であったが、昨年度よりは得点は高くなってきている。また、「学修の成果」については前期・後期ともに全学平均より高かった。以上の結果より、学生の自己点検評価については、経年で見れば全学平均点との差も縮まるなど改善傾向が認められる。

分析結果を踏まえた改善方策：

学生の自己点検における平均値を下げている要因は、特に「関連学習」の低さであるが、全学平均として

の差は前期が 0.05（全学 2.12/本学科 2.07）、後期が 0.02（全学 2.06/本学科 2.04）であり、予習・復習を課題として課すことや事前課題や事後課題として Cerezo に関連学習としての課題を具体的に提示し、学生が積極的に自主学習できるようにしてきたこと等による、反転学習等を取り入れ関連学習としての効果を高めていくなどの工夫が少しずつではあるが認められてきているといえる。今後は、学科 FD 等においてその内容等を具体的に検討するなどの手立てを講じていきたい。

【6】 教員へのフィードバックについて

各教員に授業評価アンケート結果を送る際に、大学全体の授業評価アンケート結果と一緒に送付し、心理学科の全体における位置づけについて周知している。

【7】 学生へのフィードバックについて

学生へのフィードバックは、個々の教員が対面やCerezoを通して、それぞれの方法で行っている。

【8】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

<意見・提案>

- (1) 身近な問題から考えさせたり、アクティブ・ラーニングを取り入れ、さらに知識を深めることで学修成果が上がる授業としていく。
- (2) 講義時間内に自己調査学習の時間を設けるなどの取組を加えたが、問題の提示、調査、報告、考察といった構成による講義内容の工夫や、小テスト等による理解度の確認などの導入も検討したい。
- (3) レスポンでの出席確認時には質問を設定して、受講者の記入内容をリアルタイムで画面上に提示し受講者で共有している。受講者は積極的に文章を入力する様子が見てとれるので、引き続き授業中の発言や学生同士の交流の活性化につなげたい。
- (4) 学生の授業外学習時間が十分とはいえない点を踏まえ、各回の講義後に振り返り課題や確認問題を課すことで復習の習慣化を図る。また、事例検討を取り入れたグループワークと個人レポートを連動させ、理論を具体的事例に適用する機会を増やす。これにより、受動的理解にとどまらず、主体的に考察し応用できる力の育成を目指す。
- (5) 習熟度を頻繁に測る小テストなどを実施することや、リアクションペーパーでの質疑応答を増やすことなど。
- (6) 具体的事例を取り入れた分かりやすい資料構成に加え、授業内での問いかけ（レスポンへの書き込みを含む）や振り返りを工夫することで、学生の主体的な学修行動を促し、授業外学修の充実と学修成果の深化を図る。
- (7) この授業では、受講生 1 人ずつに 5 分程度のプレゼンテーションを課しており、それぞれの発表者へレスポンの自由記述で感想や質問を受付、授業終わりに全員でシェアすることを行っていた。ただし、感想を記載する学生は多いものの、質問は少なかった。そのため、質疑応答の時間を設けるなどの工夫が必要である。

【9】 総括

令和 7 年度「学生による授業評価アンケート」における心理学科教員の集計結果を分析した結果、「授業評価」については、本年度もほとんどの教員が高い評価を得ていることが明らかとなった。今後もこの結果を維持することが課題とされる。

一方、「学生の自己点検」については以前と同様に、学生の関連学習時間が少ないことが挙げられるが、受講生個々のニーズをできるだけ把握しつつ、それぞれの知識や意欲・関心の程度等も踏まえ、講義内容をより工夫していくことにより、多少の改善が認められる。今後は、教員個々が問題意識をさらに強く持ち、授業改善に臨んでいくことが必要であり、次年度以降もその効果の浸透を期待したい。

以上

大学教育センター

鶴田 泰人 センター長 殿

人間文化学部メディア・映像学科

学科長 筒本 和広

令和5年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

- 【1】 実施期間 前期：令和7年6月25日（月）～7月13日（日）
後期：令和7年12月8日（月）～令和8年1月16日（金）

【2】 対象科目の選定

全ての授業科目についてアンケートを実施する方針に従い、メディア・映像学科では前期9科目、後期10科目について調査を行った。

【3】 アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

【4】 調査結果の集計

アンケート調査および集計はCerezoを利用して行った。

【5】 調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：

評価結果は、前期・後期とも全学平均より少し高い結果となった。前期の1～7の平均は、全学：4.62、学科：4.65である。全学平均より高かった項目は、授業準備：4.73、教員の話し方：4.60、講義の工夫：4.59、質問への誠意：4.68、授業への満足：4.55であった。後期の1～7の平均は、全学：4.64、学科：4.70である。全学平均より高かった項目は、授業準備：4.77、教員の話し方：4.66、講義の工夫：4.73、質問への誠意：4.72、授業への満足度：4.63であった。これらの項目は、すべて前年度の評価結果を上回っていた。その他の授業計画や授業時間は、全学平均と同等か少し低い値であった。これらの結果は、各教員の授業改善の取り組みの効果が表れていると考える。

分析結果を踏まえた改善方策：

各教員が講義の改善に取り組み授業を行ってきた結果、上記のように、前期・後期とも多くの項目で全学平均より高い授業評価結果を得た。また、これらの項目は、すべて前年度の評価結果を上回っていた。今回の調査では、高い評価結果を得ることができたが、近年の所属学生の増加によりいろいろな問題（学生間の問題。実習科目での能力格差など）がでてきている。これらの現状を学科で共有してより良い授業内容に改善していきたいと考えている。メディア・映像学科では、実習や演習系の授業が多く、一部の授業において評価がばらつくことがあり、学生によって授業への対応力の差が発生していることが想像される。課題の提出状況などもこれを裏付けている。苦手な学生に対するフォローと、得意な学生に対する、よりアドバンスな内容の提供の両立は学科全体の問題として認識し、学科会議等でも科目を超えて議論している。これを今後も継続する。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：

評価結果は、前期・後期とも全学平均より少し高い結果となった。前期の8～14の平均は、全学：3.88、学科：3.89である。全学平均より高かった項目は、知識や技能の深まり：4.47、授業内容理解への積極性：3.85、意欲の高まり：4.31、学習の成果：4.37であった。後期の8～14の平均は、全学：3.85、学科：3.91である。全学平均より高かった項目は、知識や技能の深まり：4.49、授業内容理解への積極性：3.88、意欲の高まり：4.30、学習の成果：4.45であった。

全学平均より低い項目は、前期・後期とも同じ項目となった。前期は、関連学修：1.94、集中力：3.75、出席状況4.51、後期は、関連学修：1.98、集中力：3.85、出席状況4.41であった。特に「関連学修」は2点未満という低い値であった。これに関しては、講義系の科目において特に低い傾向があるようだ。実習、演習系の科目では課題制作にかかる時間がある分、やや高くなっている傾向がある。分析結果を踏まえた改善方策：

関連学修の低さは、授業時間外の実習課題の制作などが予習・復習時間に影響を与えている可能性も考えられる。メディア・映像学科は、実習科目の多い学科であり、学生は複数の科目の課題制作を同時に行っている現状がある。授業時間外の課題制作が増加することは、現在の学生たちの学修にとって必ずしもプラスにならない状況があるというのも現実である。各授業で出題する課題を調整して、授業時間内に課題の制作が完成するように指導することも重要だと考える。また、授業では、日頃のメディア関連、情報関連の事象との関わりを意識的にし、授業に繋げていくような学生の姿勢を促すような取り組みが有効だと考えている。

【6】 教員へのフィードバックについて

授業評価アンケートの結果は学科のSharePointで共有しつつ公開している。また、各教員の報告も同一フォルダにて共有し、全教員が閲覧できるものとした。

【7】 学生へのフィードバックについて

各教員がそれぞれの授業において口頭、もしくはcerezoを利用し学生にフィードバックを行なった。

【8】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

<意見・提案>

- (1) 授業内の課題を課すだけでなく、学生の興味を広げるような授業内容の工夫が必要だと感じている。
- (2) 学生においては、スマートフォンなどの機材によって撮影行為が一般化している。今後は、撮影・ライティングなどの専門的な機材の基礎知識も含めて、授業バランスを再検討する必要がある。
- (3) 情報セキュリティに関して学んだ知識ごとに、過去を振り返り、今後の行動変容を考えさせるなど、適宜、自分のこととして学修を深める工夫をする。
- (4) 専門英語では、英文を訳すだけでなく内容理解や背景知識を深める課題を取り入れ、主体的な学修につながる工夫を行い、学修成果の向上を図りたいと考える。
- (5) 学生自身に「考える」ことを習慣づけるために、講師から毎回テーマを与え、考え方のヒントを提示する。
- (6) 実社会での実践能力や他の講義との関連性などを、具体例を挙げて学修者に示し、将来の目標を持たせて学ばせる必要があると考える。
- (7) メディア表現入門では、内容的に座学中心になることはやむを得ないが、その中で実習系の授業や内容との接続をイメージさせるなどの内容を増やすなどが考えられる。
- (8) 身近な写真というメディアと、歴史や、「遠い」ジャンルの写真、歴史といったことへのつながりをより実感できる内容を目指すことで、それぞれが興味に応じて授業を超えた学びへと動けるようなきっかけになるとも考える。

- (9) 授業で教える知識や理論、技術などが実際は学生の生活にとっても重要だと示すことで、学びへの主体的な意識も育めていければと考えている。
- (10) 大学授業で行ってきたレポート執筆などのこれまでの課題内容は、AI の発展でますます学修効果が薄れてきているように感じている。古典的だが、教場テストの実施など、AI を用いない環境での学修機会を増やすことが必要なのではないか。
- (11) 学生個々の将来イメージに沿ったアドバイスを常に用意する必要があると考える。そのために個々の将来イメージ（断片的であれ）を得るための日常的な学生とのコミュニケーションが重要だと捉えている。

【9】総括

先述のように学科の評価結果は、前期・後期とも全学平均より少し高い結果となった。前期の1～7の平均は、全学：4.62、学科：4.65であり、後期の1～7の平均は、全学：4.64、学科：4.70であった。各教員が講義の改善に取り組み授業を行ってきた結果、前期・後期とも多くの項目で全学平均より高い授業評価結果を得た。また、これらの項目は、すべて前年度の評価結果を上回っていた。今回の調査では、高い評価結果を得ることができたが、近年の所属学生の増加によりいろいろな問題（学生間の問題。実習科目での能力格差など）がでてきている。これらの現状を学科で共有してより良い授業内容に改善していきたいと考えている。

学生の自己点検の評価結果は、前期・後期とも全学平均より少し高い結果となった。前期の8～14の平均は、全学：3.88、学科：3.89であり、後期の8～14の平均は、全学：3.85、学科：3.91であった。特に問題点となるのは「関連学修」で、2点未満という低い値であった。これに関しては、講義系の科目において特に低い傾向があるようだ。メディア・映像学科では実習や演習系の授業が多く、科目の性質、学生の特性のばらつきなどにより授業評価に影響がでていると考える。この問題については学科の教育に関わる教員それぞれが認識し、取り組んでいる。学科としても共有し、改善と対応を継続したい。

アンケートの回答率のばらつきについては、授業評価アンケートを真剣に考えていない学生も相当数存在するというのが現状である。このアンケートは＜授業評価＞と＜学生の自己点検＞に分かれているが、説明には「学生諸君の授業についての意識や要望などを早く把握して、この調査結果を授業の改善に役立てます」とあるが、授業をほぼ履修し終えた学生に対して実施するアンケートは、自身に対しての授業改善とはならず他人事でもある。教員が言うから回答する学生も多く存在していると考えられる。授業評価アンケートを意義あるものにするには、学生たちの自己点検意識を醸成し、学生が主体的に関われるような組み立ても必要ではないだろうか。

以上

大学教育センター

鶴田 泰人 センター長 殿

工学部電気電子工学科

学科長 香川 直己

令和5年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】 実施期間 前期：令和7年6月25日（月）～7月13日（日）
後期：令和7年12月8日（月）～令和8年1月16日（金）

【2】 対象科目の選定

全ての授業科目についてアンケートを実施する方針に従い、電気電子工学科では前期8科目、後期7科目について調査を行った。

【3】 アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

【4】 調査結果の集計

アンケート調査および集計はCerezoを利用して行った。

【5】 調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：多くの科目で「授業準備」や「授業の計画性」が全学平均を上回る高い評価（4.6～5.0）を得ている。特に、LMS（Cerezo）を活用して教材提供やレポート課題を明確化している点が高評価につながっている。一方で、大規模教室での講義では「教員の話し方」や「質問への誠意」が相対的に低くなる傾向があり、マイクの届きにくさや質問しにくい雰囲気、あるいは話し方が早いといった課題が指摘されている。また、質問した経験がないために「質問への誠意」の評価が低くなるケースも見られる。

分析結果を踏まえた改善方策：学生が疑問点に気づきやすくするため、講義中に類題を解く回数を増やすことや、授業終盤に「今日の疑問」を提出させるなど、質問機会の構造化が提案されている。話し方については、よりゆっくりと明確に話すよう意識を改善することや、マイクの使用状況を再確認することとしている。また、時間内に課題が終わらない状況を改善するため、計算式の導出過程などの説明時間を調整し、有用な訓練を残しつつ効率化を図る計画もある。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：多くの科目において「関連学習（予習・復習）」の項目が1.68～3.20程度と、他の項目に比べて顕著に低い値となっている。その理由として、専門的なソフトウェアの使用経験がないことによる予習の難しさや、品質工学などの馴染みのない内容、オムニバス形式による紹介中心の講義内容などが挙げられている。一方で、「学修の成果」については、昨年度より向上している例や、全学平均を上回る肯定的な自己評価も見られる。

分析結果を踏まえた改善方策：学習意欲を高めるため、学んでいる内容が実社会や就職後の業務でどのように役立つかを具体的に紹介し、講義の意義を明確にする方針が示されている。また、VS CodeやGitといった標準的な開発ツールの導入による自習の心理的障壁の緩和、小テストの随時実施、レポー

トを小分けにして課す頻度を高めるといった、自習を促す仕組みづくりが検討されている。

【5】 教員へのフィードバックについて

アンケート結果は担当教員に展開されており、特に評価が低かった「話し方の工夫」や「質問への答え方」について振り返りを行うよう促されている。教員側も、学生からの自由記述（例：黒板を消す前の確認の徹底など）を真摯に受け止め、丁寧な対応を心がけるとしている。

【6】 学生へのフィードバックについて

学生へのフィードバックは、主に以下の方法で実施されている。

(1) 講義時間内での実施： プロジェクターやスライドを用いて集計結果を投影し、結果の開示とともに教員からの考察を述べている。

(2) LMS (Cerezo) の活用： Cerezoのコースニュースや掲示機能を利用して、アンケート結果と次年度以降の改善策をフィードバックしている。

【7】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

(1) 評価方法の変更： 近年の学生の状況（試験時間内に問題を解ききれない傾向など）を考慮し、定期試験から、十分な時間をかけられディスカッション要素も含むレポート評価へ切り替える提案がある。

(2) アクティブ・ラーニングの強化： 板書と提出課題を組み合わせた手法の効果を認めつつ、グループワークの導入や「できるようになったこと」を毎回明示する成長の可視化が提案されている。

(3) 教育環境の整備： ソフトウェア実習において、空き時間に自由に使用できる環境を維持・整備し、自発的な学習を支援すべきとの意見がある。

【8】 総 括

全体として、教員の授業準備や計画性は学生から高く評価されており、教育の質向上に対する教員の熱意が伺える。最大の共通課題は、学生の学外学習時間（関連学習）の不足と、双方向的なコミュニケーション（質問の喚起）にある。今後は、実社会との関連性を強調して学習動機を刺激するとともに、ITツールの導入や評価方法の柔軟な見直しを通じて、学生が自発的に学び、「できるようになった実感」を持てるような授業モデルへの発展が目指されている。

以上

大学教育センター
鶴田 泰人 センター長 殿

工学部建築学科
学科長 佐藤 圭一

令和7年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】 実施期間 前期：令和7年6月23日（月）～7月13日（日）
後期：令和7年12月8日（月）～令和8年1月16日（金）

【2】 対象科目の選定

全ての授業科目（受講者6名未満の授業を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、建築学科では前期15科目、後期14科目について調査を行った。

【3】 アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

【4】 調査結果の集計

アンケート調査および集計は学習支援システムCerezoを利用して行った。

【5】 調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：

前期後期とも、教員の授業評価に関する7項目の平均は、前期が学科4.50学部4.57全学4.62、後期が学科4.54学部4.56全学4.64であり、前期、後期ともに学部とは大差ないが、全学と比較すると前期0.12、後期0.1下回っている。昨年度の学科平均と比較すると、前期では0.1、後期では0.04下回った。

前期の回答率73.3%に対して、後期の回答率が64.0に低下したことは残念である。全学平均も前期53.3%から後期49.9%に低下している。回答率75%前後を上回る場合を高い回答率と設定して7項目平均値を比較すると、高回答率の場合、前期4.57後期4.71であり、それ以外の場合、前期4.56後期4.33であった。回答率が高い方が受講者人数に係わらず若干ではあるが高い評価値が得られている。回答率を上げることが平均値アップに繋がる可能性がある。

項目別では、前期・後期ともに「教員の話し方」・「講義の工夫」・「質問への誠意」・「授業への満足度」が7項目平均値を下回る。この傾向は、全学・学部でも同じ傾向が見られた。座学と演習による差を見ると、前期では座学4.47演習4.1、後期では座学4.58演習4.52であり、昨年度は差がなかったが、本年度は前後期ともに0.6座学が上回った。また、例年、理論の理解や計算を伴うエンジニアリング系の授業に関しては、7項目平均値を下回る傾向が見られたが、昨年度同様にデザイン系でも平均値を下回る科目が現れた。

分析結果を踏まえた改善方策：

高い評価が得られている授業科目については、高回答率への改善あるいは維持、「授業への満足度」の更なる改善を図っていくことを期待する。「教員の話し方」が前期・後期ともに学科平均を下回る場合には、授業における説明の仕方や質問への対応などに注意していくことが大切である。授業評価アンケートの回答率について学科平均75%を目標に学科全体で取り組んでいく。

理数系授業の評価改善策として、オフィスアワーを利用した学科独自の学修支援を検討していく。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：

教員の授業評価が平均値を上回り、かつ、学生の自己点検も平均値を上回ることが理想だと考えられる。授業評価・学生の自己点検がともに学科平均値を下回る授業科目は、前期15科目中7科目、後期14科目中5科目あった。また、授業評価が高くても学生の自己点検評価が低い授業科目が、前期4科目、後期3科目存在した。これらの科目は、理論的計算を伴うエンジニアリング系科目とは限らず、座学・演習系科目にも見られる。建築学科の学生評価で全学あるいは学部平均よりも低い項目は、前期と後期で異なるが、前期・後期で共通している項目は、「集中力」と「出席状況」である。その他、「関連学習」・「授業内容理解への積極性」に関しては、高めていかなければならない全学共通の課題であると考えられる。

座学と演習による平均値の差違を見ると、前期では座学3.86演習4.31、後期では座学3.86演習4.03であり、演習系授業の方が前期・後期ともに上回る傾向があった。ただし、前述のように演習系でも平均値を下回る科目があることに留意しなければならない。

分析結果を踏まえた改善方策：

教員の授業評価を注目しがちであるが学生の自己点検にも積極的に目を向け、学科平均値を下回る項目については、科目ごとに改善を検討していくべきである。

学生の自己点検平均値は演習系授業の方が高くなる傾向があるので、座学の授業においても学生が授業内容に興味を持てるような工夫を考えていくことが「授業内容理解への積極性」を高めるために必要であろう。自己点検平均値が比較的高い評価となっているのはデザイン系の授業である。これらについては、学生が高い学修成果を感じられる授業方法を継続していくことが大切である。

【6】 教員へのフィードバックについて

対象科目のアンケート集計結果を担当教員にフィードバックし、担当教員はそれを基に授業アンケート実施報告書を作成した。実施報告書の提出率は、前期・後期ともに100%である。

建築学科の授業評価アンケート結果を分析した本報告書を学科教員に開示し、今後の授業改善を要請した。

【7】 学生へのフィードバックについて

前期15科目に関しては、フィードバック実施15科目、未実施1科目、後期14科目についても、フィードバック未実施が1科目あった。未実施はいずれも同じ専任教員であり、フィードバック方法について口頭で説明した。

フィードバック方法は、Cerezo利用と授業での説明に分かれる。フィードバックを実施した前期15科目では、Cerezoが9科目、授業説明が6科目であった。同様に後期14科目では、Cerezoが8科目、授業説明が6科目であった。次年度は、フィードバック100%を目指し教員の協力を推進する。

【8】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

<意見・提案>

(1) “関連学習” 評価を改善する取り組み方策

① 学習方法の具体的指示

② 授業時間内から演習課題に取り組む時間を作り、復習に繋げる

(2) “教員の話し方” 評価を改善する取り組み方策

① 大切などころ（授業のポイント）を繰り返し強調する

(3) “質問への誠意”、“授業内容理解の積極性” 評価を改善する取り組み方策

① 授業時間内に積極的に質問できるような環境を整備する

(4) “講義の工夫”、“知識や技能の深まり” 評価を改善する取り組み方策

- ① 作品について感想や意見を聞く機会を設ける
- ② グループディスカッションを取り入れる
- ③ 身近な(物理)現象、具体的な建築設計・施工事例、を取り上げる
- ④ 授業内容と一級建築士試験問題との関連を増やしていく
- ⑤ 動画解説コンテンツを取り入れる

(5) 学生の自己点検項目“学修の成果” 評価を改善する取り組み方策

- ① 学修成果を把握できるルーブリックを活用する
- ② 学修の成果がどのように役に立つかを示す

その他、演習で作品製作等を取り組む授業では、学生のスケジュール管理能力を高めることが大切という意見があった。また、設計製図系の演習では、初学者と経験者共に興味をもたせる工夫をする必要性を痛感する意見があった。

【9】 総 括

建築学科の入試方式には理系入試と文系入試があり、数学や物理が苦手な学生も数多く在籍している。1年次の躓きがその後に影響することから文系方式で入学した学生のために、必要となる数学知識に関する入学前学習課題、入学後1年次に数理に関する専門科目を用意している。入学前後の学修成果をより一層高める工夫が必要に思われる。

教員評価で高い評価が得られている授業科目については、高評価を維持するとともに、回答率の改善、「授業への満足度」の更なる改善を図っていくことを期待したい。さらに、高評価の授業に限らず、全ての授業科目においてアンケート回答率75%以上を目標に取り組んでいきたい。

学生の自己点検に関しては、前期・後期ともに「集中力」・「出席状況」が全学平均を下回っている。また、前期では「関連学習」・「授業内容理解への積極性」が、後期では「知識や技能の深まり」・「意欲の高まり」・「学修の成果」が全学平均よりも低い。学生が積極的に授業内容を理解できるよう授業改善に務めることが建築学科全体に必要なことである。

以上

⑨ 工学部情報工学科

令和8年3月6日

大学教育センター
鶴田 泰人 センター長 殿

工学部情報工学科
学科長 金子 邦彦

令和7年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】 実施期間 前期：令和7年6月23日（月）～7月13日（日）
後期：令和7年12月8日（月）～令和8年1月16日（金）

【2】 対象科目の選定

全ての授業科目（受講者6名未満の授業を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、情報工学科では前期10科目、後期10科目について調査を行った。

【3】 アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

【4】 調査結果の集計

アンケート調査および集計は学習支援システムCerezoを利用して行った。

【5】 調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：

授業評価アンケートは、学生が匿名で講義に対する意見や評価を提出し、その後教員が学生にフィードバックするものである。このアンケートは、教員が授業の改善点を把握することや、学生が学習法の改善点や問題点を考察するために、重要なデータとして毎年利用している。令和7年度の評価結果は、従来と同様に良好であり、問題は見られない。

分析結果を踏まえた改善方策：

令和7年度の評価結果から、本学科の授業で、学科として改善を迫られている事例はない。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：

令和7年度の評価結果は、従来と同様に良好であり、問題は見られない。

分析結果を踏まえた改善方策：

令和7年度の評価結果から、改善を迫られている事例はない。授業評価アンケートは、今後、情報工学科の学生が学んでいく上で、どのようなアドバイスを与えていくかについて考察する機会としている。

【6】 教員へのフィードバックについて

教員へのフィードバックは、電子メールによるオンラインで実施した。

【7】 学生へのフィードバックについて

学生へのフィードバックは、個々の授業担当教員から、Cerezoによるオンラインや対面での説明で実

施した。

【8】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

<意見・提案>

- (1) 「知識や技能の深まり」が高い科目では、教科書の技術を実例と結びつけた説明が効果を上げていると分析されている。
- (2) グループワークを取り入れた科目では集中力の評価が良好である。
- (3) 「質問したことがない」という回答を受け、レスポンスやセレッソを活用して質問しやすい環境を整備する
- (4) 演習テーマ間の負荷のばらつきを均一化し、90分をフルに活用できる内容に再設計する
- (5) 復習用小テストの導入や、実践演習の継続により授業外学習の定着を図る教材を取り入れる
- (6) 反転学習教材や復習教材を充実

【9】 総括

令和7年度の授業評価アンケートおよび学生の自己点検の結果は、いずれも従来と同様に良好であり、学科として改善を迫られる事例は確認されなかった。多くの科目で「授業準備」「計画性」「講義の工夫」「満足度」をはじめ、多数の項目が高い数値を示している。教員へのフィードバックは電子メールによるオンラインで、学生へのフィードバックは各授業担当教員からCerezoによるオンラインまたは対面での説明で実施した。

学科教員からの意見・提案では、教科書の技術を実例と結びつけた説明やグループワークの導入が学習効果の向上に寄与していることが報告された。一方、質問しやすい環境の整備、演習テーマ間の負荷の均一化、復習用小テストや反転学習教材の充実といった改善提案が挙げられており、今後これらを授業改善に反映していくことが求められる。各自の優れた工夫や課題を学科全体で共有できた。

以上

大学教育センター
鶴田 泰人 センター長 殿

工学部機械システム工学科
学科長 木村 純壯

令和7年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

- 【1】 実施期間 前期：令和7年6月25日（月）～7月13日（日）
後期：令和7年12月8日（月）～令和8年1月16日（金）

【2】 対象科目の選定

各教員前期1科目、後期1科目（実習・演習を含む）のアンケートを実施する方針に従い、機械システム工学科では前期8科目、後期7科目について調査を行った。ただし、教員1名は未実施（学科長催促に応じず）。

【3】 アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

【4】 調査結果の集計

アンケート調査および集計はCerezoを利用して行った。

【5】 調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について
評価結果の分析：

項目1から7のそれぞれとそれらの平均について、学科平均を全学平均と比較してみた。前期についてはどれも大きな差はない。わずかな差ではあるが、すべての項目で学科平均は全学平均をやや上回っている。後期については、教員の話し方、講義の工夫、授業への満足度において学科平均は全学平均を下回っているが、その他は大きな差はない。

分析結果を踏まえた改善方策：

後期の結果について、ある授業での結果がやや低い傾向にあり、このような授業を平均並みに改善することにより、前期程度の状況に向上させることができると考えられる。どの授業においても、一定の基準を満たすように安定的にそろえることが重要である。

◇「学生の自己点検」について
点検結果の分析：

項目8から14のそれぞれとそれらの平均について、学科平均を全学平均と比較してみた。前期については、集中力、授業内容理解への積極性が下回っている。後期については、集中力、知識や技能の深まり、授業内容理解への積極性、学修の成果、平均で下回っている。前期、後期ともにその他の項目は大きな差はないものの、大半の項目において学科平均は全学平均をわずかながら下回っている。前期の項目1から7の状況と比べると全く逆の状況であり、学科平均が全学平均をわずかにでも上回ったのは、前期の関連学習のみである。

分析結果を踏まえた改善方策：

上記分析結果から思わしくない傾向が表れており、学科学生の授業取組み状況等が低調で、学修効

果があまり上がっていないと考えられる。授業内容の定着・習熟に注力する必要があると思われる。後述の学科教員からの提案、意見に記述した改善方策等を実施することが重要である。

【6】 教員へのフィードバックについて

前期は7月22日（火）、後期は1月23日（金）、学科長からメールにより全ての集計結果を学科教員へ配布伝達。対象科目担当教員には、それを基に授業アンケート実施報告書の提出を求め、提出率は100%であった。

【7】 学生へのフィードバックについて

前期は7月22日（火）～8月8日（金）の3週間、後期は1月26（月）～2月13日（金）の3週間、当該授業科目担当教員から、講義・試験の時間に直接フィードバックあるいはCerezo等を用いてフィードバックした。各教員は、それぞれの結果を真摯に受けとめ評価しており、それぞれの場合に応じて、これからの対応を検討したりしている。

【8】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

<意見・提案>

- (1) 学生にわかりづらいと思われる箇所、定期試験で間違えることが多い箇所等の教え方を改善する。
- (2) 教科書に説明のない事項や応用的な事項については、理解を促すような教材の充実を図る。
- (3) 数学がきらいな学生が増えたように思われるが、数式なしでは成り立たないため、ゆっくり時間をかけて解説を試みる。
- (4) BYODを利用した演習等の工夫を盛り込む。
- (5) アクティブ・ラーニングを取り入れた具体的な授業方法を模索する。
- (6) ICT活用，アクティブ・ラーニング導入により教育効果を高める。
- (7) 3次元CAD設計演習等の導入を検討する。

【9】 総括

学科教員は、授業評価アンケートの結果を冷静に分析し、各自の授業の問題点と原因究明、問題解決方針の検討等に関して記述し、積極的に取り組む姿勢を示している。これまで、アクティブ・ラーニング・PBLの導入、ICT活用、メディア教材活用等も進んできている。これらに伴い、学科全体の授業評価アンケート結果は一定の基準を保つことができていると思われる。今後は、AI活用等の改善が期待される。しかしながら、いくつかの少数授業においては低評価に止まる結果であり、それらの中には自由記述において問題点も見受けられる状況で、すべての授業で安定的に基準を満たすように改善することが重要であるとする。また、科目選択されていない授業への配慮も必要である。学科全体の授業改善取組みとして、授業評価アンケートと連動するように、不定期ではあるが学科FD・SDとして授業研究（授業参観）を開催したり、シラバス点検時に授業内容の適切性を検証したりしている。今後も、授業評価アンケート結果を利用し、学科授業の改善に取り組んで行く方針である。

以上

大学教育センター
鶴田 泰人 センター長 殿

生命工学部生物科学科
学科長 岩本 博行

令和7年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】 実施期間 前期：令和7年6月23日（月）～7月13日（日）
後期：令和7年12月8日（月）～令和8年1月16日（金）

【2】 対象科目の選定

全ての授業科目（受講者6名未満の授業を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、生物科学科では前期10科目、後期10科目について調査を行った。

【3】 アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

【4】 調査結果の集計

アンケート調査および集計は学習支援システムCerezoを利用して行った。

【5】 調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：

- ・ 回答率は全学平均に比べて著しく高く、学部内でも顕著に高かった（特に前期）。
- ・ 全般的には、全学平均と比べて評価が著しく異なる項目は無かった。
- ・ 前期については、全学平均と比べて授業の計画性がやや低く、授業への満足度がやや高かった。
- ・ 後期については、全学平均と比べて評価が著しく異なる項目はなかった。

分析結果を踏まえた改善方策：

- ・ 前後期とも、質問への誠意の項目が最も評価点が低かった。これはあまり学生が質問をしないためであると考えられる。より学生に質問を促すよう工夫する。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：

- ・ 全般的に、全学平均と比べて著しく評価が異なる項目は無かった。
- ・ 前期については、全学平均と比べて関連学習、集中力、授業内容理解への積極性がやや低く、意欲の高まりがやや高かった。
- ・ 後期については、全学平均と比べて関連学習、出席状況、授業内容理解への積極性の項目がやや低かった。

分析結果を踏まえた改善方策：

- ・ 学科全体として、関連学習の項目が2点台と低かった。宿題を出す、課題を課すなどして関連学習を増やす必要がある一方、課題が重なる、多すぎるとの意見もある。
- ・ 前後期にわたり授業内容理解への積極性がやや低いため、積極的な学修姿勢をつけさせ、学修の意欲を高め、それにより学修成果を向上させて学生自身の成長につなげるような教育が必要で

ある。

- ・そのためには、昨年度も述べたが、一方的な授業ではなく、双方向授業や学生に考えさせる課題の設定、グループディスカッション、課題解決型授業の設定、プレゼンテーションなどのアクティブ・ラーニングを積極的に授業に取り入れる事が必要だと考えられる。

【6】 教員へのフィードバックについて

- ・教員へのフィードバックは、全学の資料を各教員に提示し、自身のアンケート結果と比較してもらうことにより、授業の反省と学生へのフィードバックを行った。

【7】 学生へのフィードバックについて

- ・学生へのフィードバックは、それぞれの授業について教員が個別に行った。
- ・フィードバックは授業中や定期試験前に行ったり、セレッソを通じてオンラインでフィードバックしたりした。

【8】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

<意見・提案>

[授業内容]

- ・より学生のニーズに合った授業内容にする。
- ・生活に密着した視点で授業を行う。
- ・最近の話題など学生がさらに興味を増す内容も加えるなど工夫する。
- ・授業の難易度を少し低くするように、簡潔な説明をするように心がける。
- ・高校と大学での違い、自主的に学修する事柄、自分で学修を発展させる方法、興味を広げる方法、将来に役立てる方法、論理的展開などを説明する。
- ・授業内容を分かり易くする。
- ・技術の開発の経緯など深く掘り下げて受講生が納得するように授業を進める。
- ・早口にならないようにゆっくりとはっきりと話す。
- ・ゆっくり大きな声で話すよう心がける。

[授業の工夫]

- ・授業の双方向性を高める。
- ・毎時間一言アンケートを行う。
- ・授業外学習を促す。
- ・その都度講義関連項目に関して適切な課題を提供し、自主学習を徹底することで知識と思考力を習得させる。
- ・授業で、前回の授業内容の確認テストなどをする。
- ・自己学修や復習に活用しやすいように、また興味を持って取り組めるよう、課題や配布プリントを工夫する。
- ・受講生がさらに興味を持つように、配布プリントやスライドに写真や図を入れる。
- ・アクティブ・ラーニングやPBLの手法をできるだけ授業に取り入れる。
- ・基本的に毎週課題を課す。
- ・セレッソを通じて演習課題を充実させ、それについての解説もセレッソを通じて補講的に行う。
- ・毎回予習を必須にする。
- ・学生の理解度に合わせて丁寧な回答を心がける。
- ・予習復習についての説明の時間を増やす。
- ・もっと課題が必要なのかもしれない。
- ・実際に興味を持ったことについて、本を読んだりインターネットで調べたりするなどして、さら

に学修を促す。

[施設設備]

- ・マイクの調子が悪く、教室の音響機器の更新を随時お願いしたい。

[その他]

- ・地道（学生に嫌がられても）に継続する。
- ・説明にのめり込んで授業終了時刻を超過したことがあった。
- ・たゆまず努力する。

【9】 総 括

昨年度は、前後期ともに全学平均に比べてやや評価が高い項目が見られたが、本年度はやや高い項目が減少し、やや低い項目が散見された。これはアンケート結果のゆらぎや学年ごとのキャラクターの違いによるものかもしれないが、今後も引き続きその動向を注視したい。

授業評価結果に対する分析や改善点は上述した通りであるが、教員も学生も多様性があり、時代とともにますますその幅が広がっている。昨年も述べた通り、各自、色々な意見やアイデアがあり、どれか1つが正解とすることは難しい。

本授業評価アンケートは半期に一度行い、その都度報告や総括をしているが、教員・学生ともにマンネリ化しており、新たな提案やアイデアは出難い。

毎年同じ授業をアンケート対象にする先生もいれば、これまでにアンケートを取ってこなかった科目を積極的に採用する先生もいる。ただ、このアンケート結果が個人評価に繋がっているため、評価が低く出そうな科目は避けがちになる。科目によっては、オムニバス授業や複数の教員で担当する学生実習のようなものもあるので、一元的に個人評価とリンクさせるのは良くない、との意見もある。

全体的に授業評価以外にも多種多様なアンケートがあり、学生はアンケート慣れ、アンケート疲れしているのではないかと懸念されている。

以上

大学教育センター
鶴田 泰人 センター長 殿

生命工学部健康栄養科学科
学科長 菊田 安至

令和7年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】 実施期間 前期：令和7年6月23日（月）～7月13日（日）
後期：令和7年12月8日（月）～令和8年1月16日（金）

【2】 対象科目の選定
全ての授業科目についてアンケートを実施する方針に従い、健康栄養科学科では前期11科目、後期11科目について調査を行った。

【3】 アンケート調査内容
アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

【4】 調査結果の集計
アンケート調査および集計はCerezoを利用して行った。

【5】 調査結果に対する点検
◇「授業評価アンケート」について
評価結果の分析：

教員の授業評価に関する7項目の中のすべてで、前期・後期ともに学科の平均値が全学の平均値を上回った。授業については、まだ改善の余地があるものの、概ね良好である判断した。

分析結果を踏まえた改善方策：

「講義の満足度」に関する評価は、全学平均を上回っているものの、さらなる改善を進める。各科目の学修目標を達成し、資格取得に向けて学力を向上させるために、学生の学力に合わせたきめ細かな授業を行っていく。

個々の教員の評価に対する分析と改善策は報告書に記載されている通りである。

◇「学生の自己点検」について
点検結果の分析：

前期の集計では、学生自身の学修点検に関する7項目は、全体に低値であるが、「出席状況」「知識や技能の深まり」「意欲の高まり」は、全学平均を上回っていた。後期は、「集中力」「出席状況」「知識や技能の深まり」「意欲の高まり」「学修の成果」で全学平均を上回っていた。課題は「関連学習」の低値で、毎回の調査で課題となっている項目であり、今回も前期・後期ともに学部平均を約0.2～0.3ポイント下回った。授業の振り返りレポート等で復習を促すなどの対策を取っているものの、十分な効果は見られていない。学生の授業に対する姿勢・モチベーションの改善を図りたい。

分析結果を踏まえた改善方策：

昨年と同様に、授業に臨む学生の態度に積極性が不足し、学修の成果に結びつきにくい傾向が示された。本学科は、栄養士・管理栄養士の養成施設であり、目標は明確であるにもかかわらず、学修の動機づけが不足している。学生個々の目標を明確にするための取り組みを行っているが、十分な効果が表れ

ていない。引き続き、初年次教育ならびにキャリア指導を強化する。

個々の教員の評価に対する分析と改善策は報告書に記載されている通りである。

【6】 教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果は、学科の各教員に対して集計結果をフィードバックしている。対象科目担当教員には、それを基に授業アンケート実施報告書の提出を求め、提出率は100%であった。

【7】 学生へのフィードバックについて

各教員の授業アンケート実施報告書に記載している通り、すべての対象科目で講義最終回、定期試験実施時またはCerezo等を介して、担当教員が学生に対するフィードバックを行った。

【8】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

<意見・提案>

- ・学生の学修意欲を引き出すための工夫を継続して行っているものの、学修意欲が不十分な学生が少なくない。自主学修に励む学生が少ない状況は改善されていない。
- ・アンケート調査実施に関する意見はなかった。

【9】 総 括

授業アンケートの結果は、多少のばらつきは見られるものの、全学平均を上回る高い水準にあった。今後もさらなる授業改善に向けた取り組みを継続する。本学科では管理栄養士国家試験の合格を目指した指導を行っているが、学生の理解度と試験レベルの間には依然として乖離がある。また、学習意欲の個人差も大きい。そのため講義レベルの設定には困難を伴うが、学科の目標達成に向け、全学生の満足度向上を意識した教育活動を推進する。

以上

大学教育センター

鶴田 泰人 センター長 殿

生命工学部海洋生物科学科

学科長 北口 博隆

令和7年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

- 【1】 実施期間 前期：令和7年6月23日（月）～7月13日（日）
後期：令和7年12月8日（月）～令和8年1月16日（金）

【2】 対象科目の選定

全ての授業科目（受講者6名未満の授業を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、海洋生物科学科では前期16科目、後期16科目について調査を行った。

【3】 アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

【4】 調査結果の集計

アンケート調査および集計は学習支援システムCerezoを利用して行った。

【5】 調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

点検結果の分析：

質問1から質問7までが授業への評価に当たる項目であるが、これらの項目の平均は、海洋生物科学科は全学を前期では0.06ポイント上回り、後期では0.07ポイント下回った。【質問7】（授業への満足度）は、当学科の平均は全学平均を前期0.12ポイント上回り、後期は0.08ポイント下回った。後期は一部の科目で平均を大きく下回る科目があったことが影響したものと思われる。全体としては当学科のカリキュラムは概ね学生にとって満足できるものと評価されるが、化学系の科目に対する関心が低いことが授業への評価に影響していると推察された。

分析結果を踏まえた改善方策：

教育の質向上を継続的に推進するため、今年度実施した授業研究活動を継続する。また、学生の興味の偏りを踏まえ、カリキュラムの変更を令和7年度から実施している。その効果の検証を行っていくことで授業評価の改善に努めたい。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：

前期は【質問11】（知識や技能の深まり）、【質問13】（意欲の高まり）、【質問14】（学修の成果）、は全学平均を上回っていたが、後期はそれぞれ全学平均を下回った、こちらも化学系の講義での値が低い傾向であった。

また、【質問9】（集中力）、【質問12】（授業内容理解への積極性）が全学平均を下回る傾向は今年度も継続していた。これは受講者が数十名から100名を超える授業が多く、双方向型の導入が限定的となっていることが一つの要因と考えられる。

分析結果を踏まえた改善方策：

化学の理解が生物や生態系の理解につながることを繰り返し示し、学修のモチベーションを高めるように促す。対面授業の中でのLMS活用など、大人数の受講生を対象とした授業で学生の授業参加を促す方策の導入機会を増やす。

【6】 教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果は、全ての集計結果を学科専任教員全員に対してフィードバックしている。対象科目担当教員には、すべての集計結果に目を通したうえで自己評価を行い、それに基づいた授業評価アンケート実施報告書の作成を促している。

【7】 学生へのフィードバックについて

講義の際、定期試験実施時、あるいはCerezoを通じて当該授業科目担当教員が行った。

【8】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

<意見・提案>

(1) 能動的に学修する学生の割合が減っているように感じられるため、適切な課題の提示によって関連学習につなげるような工夫が必要である。

(2) 動画や画像は直感的に内容を把握するには有用なため導入の必要はあるが、深い理解のためには言語による論理的アプローチが欠かせない。これを学生に認識させることが課題である。

【9】 総 括

各教員の授業評価アンケート報告書では、学生の資質や学修への取り組み姿勢の多様化への対応に苦慮していることに関する記述が多くあった。学生の興味関心を高める工夫としての動画等の導入が必要な一方、言語を介した深い理解も学修には不可欠である。視覚情報に慣れた現在の学生に、直感的な『わかったつもり』を言語による論理的な説明へと変換する経験をいかに積ませるかが課題となっていると考えられる。各教員が実践する取り組みに関する情報を学科として共有し、学科全体の教育改善に努めたい。

以上

大学教育センター
鶴田 泰人 センター長 殿

薬学部薬学科
学科長 佐藤雄己 小嶋英二郎

令和7年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】 実施期間 前期：令和7年6月25日（月）～7月13日（日）
後期：令和7年12月8日（月）～令和8年1月16日（金）

【2】 対象科目の選定
全ての授業科目についてアンケートを実施する方針に従い、薬学科では前期37科目、後期33科目について調査を行った。

【3】 アンケート調査内容
アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

【4】 調査結果の集計
アンケート調査および集計はCerezoを利用して行った。

【5】 調査結果に対する点検
◇「授業評価アンケート」について
評価結果の分析：

前期授業評価では、教員の授業評価に関する7項目に関して、全学平均と同程度かわずかに上回っていた。（授業準備：全学4.71、薬学4.75、話し方：全学4.55、薬学4.60、計画性：全学4.71、薬学4.84、授業時間：全学4.75、薬学4.81、講義の工夫：全学4.55、薬学4.56、質問への誠意：全学4.61、薬学4.71、授業への満足度：全学4.45、薬学4.48）。また、後期授業評価でも同様である（授業準備：全学4.73、薬学4.81、話し方：全学4.59、薬学4.65、計画性：全学4.72、薬学4.804、授業時間：全学4.73、薬学4.78、講義の工夫：全学4.61、薬学4.66、質問への誠意：全学4.62、薬学4.70、授業への満足度：全学4.51、薬学4.57）。これらの値は例年と同様であり、年度間での相違は認められなかった。

分析結果を踏まえた改善方策：

前後期とも、すべての評価項目が4.4点以上の高得点であり、学科全体としては問題ないと考えられる。

◇「学生の自己点検」について
点検結果の分析：

前期授業評価では、学生の自己点検に関する7項目に関して、すべての項目で全学平均を上回っていた（関連学習：全学2.12、薬学2.42、集中力：全学3.96、薬学4.31、出席状況：全学4.52、薬学4.82、知識や技能の深まり：全学4.36、薬学4.43、授業内容理解への積極性：全学3.79、薬学3.97、意欲の高まり：全学4.14、薬学4.20、学修の成果：全学4.26、薬学4.32）。また、後期授業評価でも、7項目すべてが全学平均上回っていた（関連学習：全学2.06、薬学2.19、集中力：全学3.93、薬学4.25、出席状況：全学4.43、薬学4.81、知識や技能の深まり：全学4.38、薬学4.48、授業内容理解への積極性：全学3.71、薬学3.80、意欲の高まり：全学4.16、薬学4.29、学修の成果：全学4.29、薬学4.34）。これらの

値は例年と同様であり、年度間での相違は認められなかった。

分析結果を踏まえた改善方策：

関連学習の値が低い傾向にある。授業科目数が多すぎる可能性があるため、令和6年度からカリキュラムを変更し、科目数を減少させた。今後、関連学習の時間がどのように変化していくのか注視していく。

【6】 教員へのフィードバックについて

アンケートの集計結果は、フリーコメントを含めて学科教員全員にフィードバックしている。対象科目担当教員には、それをもとに授業アンケートの実施報告書の提出を求めた。

【7】 学生へのフィードバックについて

学生に対するフィードバックは、講義最終回、定期試験実施時、Cerezoのいずれかにおいて実施した。詳細は各教員が提出した報告書に記載している。

【8】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

<意見・提案>

- (1) これまでの授業の準備の項目が低評価であったため、改善を目指して講義で使用する資料の事前配布を行ったが、効果はなかった。予習復習内容の小テストをこことみるとよいかもしい。
- (2) 学習成果について学生自身自覚させるため、確認テストを毎回授業の最後に実施する。意欲の高まりを向上させるため、冒頭で講義内容の必要性について述べ、講義を行う。
- (3) 授業内容に関連した問題を課題学習として取り組んでもらっている。関連学習の時間が増えるように、出題する課題学習によって、考える力が高まるように工夫を行う。
- (4) 不得意な学生さんは個別に声かけを増やしていこうと考えている。事実、毎年個別に声かけをすることにより、質問に来室・メールでの問い合わせにて成績向上でき、単位取得出来ている学生さんが居る。また得意な学生さんのためにも難問や応用科目での例を増やし、飽きさせない工夫を行う。
- (5) 身近な現象を取り入れながら、さらに授業を工夫し、学生さんに興味を持ってもらい学習効果が上がるようにしたいと思います。
- (6) レポート作成のための時間で最低限の復習をしてもらう意図なので、大切なところは外さずに、内容を変えるなどして頭を使わせる工夫をしていく。
- (7) 講義内で演習問題の解答と解説の時間を設け、適宜テストを行うなど学生の理解度を確認することで、学生の学習意欲を高めていく。
- (8) 授業における集中力を高めるために、学生の身近な話題をさらに取り入れ、授業時間内に学生とのコミュニケーションを増やす。

【9】 総括

薬学部のアンケート結果は、全学平均よりも同等か高い傾向にあるため、大きな問題はないと考えられる。しかしながら、回答率は、前期（全学 49.9%、薬学 43.9%）、後期（全学 53.3%、41.3%）ともに 50% を割っていた。回答率アップにつながるようなアンケート調査方法を、回答率が高かった教員の方法を紹介するなどして、各教員に依頼しようと思う。令和6年度から授業科目数を減らした新カリキュラムを開始しており、学生の関連学習に係る時間増を期待していたが、今までのところ期待に沿った結果となっていない。カリキュラムが過密だったからとの推測は当たっておらず、学生に学習習慣を持たせるにはある程度の強制力が必要なのかもしれない。また、新カリキュラムの施行を機会に科目の担当教員数も減らしているため、アンケートの各項目について、より一貫性を持った教育ができるよ

うになり、その結果として学生の学修成果が望ましい方向に進展することを期待している。

以上

⑮ 大学教育センター

令和8年2月27日

大学教育センター

鶴田 泰人 センター長 殿

大学教育センター

センター長 鶴田 泰人

令和7年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

- 【1】 実施期間 前期：令和7年6月23日（月）～7月13日（日）
後期：令和7年12月8日（月）～令和8年1月16日（金）

【2】 対象科目の選定

各教員前期1科目、後期1科目（実習・演習を含む）のアンケートを実施する方針に従い、大学教育センターでは前期47科目、後期44科目について調査を行った。

【3】 アンケート調査内容

各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。

各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとしたが、【質問3】授業の計画性では「シラバスを読んでいない」、【質問4】授業時間では「この授業は遠隔授業なのでわからない」、【質問6】質問への誠意では「質問したことがない」が設けられており、6つの選択肢としている。

調査結果の集計アンケート調査および集計はCerezoを利用して行った。

【4】 調査結果の集計

アンケート調査および集計は学習支援システムCerezoを利用して行った。

【5】 調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：

(R7前期)

本センター平均4.63（昨年4.69） 全学平均4.62より0.01ポイント高い

全学平均より低い設問

「授業の計画性」（本センター4.70<全学4.71） 0.01ポイント低い

「授業への満足度」（本センター4.44<全学4.45） 0.01ポイント低い

(R7後期)

本センター平均4.69（昨年4.63） 全学平均4.64より0.05ポイント高い

全学平均より低い設問はなかった。

分析結果を踏まえた改善方策：

昨年度の前期と同様、「授業の計画性」と「授業への満足度」で全学平均よりも低いことが判った。ただし、両項目は昨年度の全学平均よりそれぞれ0.03ポイントと0.02ポイントであったのに対し、今年度は両項目とも0.01と上がっている。

「授業の計画性」について、全体で見た場合の結果を所属教員へ伝えることで、これへの意識を高めてもらい、今後も皆で計画を踏まえた授業を実施していけるようにしていきたい。

昨年度に比べて、令和7年度の前期は0.06ポイントが下がった。令和7年度の後期における本センターの平均値が0.06ポイント上がっており、引き続き全学平均より高いことは評価されてよい。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：

(R7前期)

本センター平均3.85 (昨年3.80) 全学平均3.88より0.03ポイント低い

全学平均より低い設問

「関連学習」(本センター1.92<全学2.12) 昨年と同様0.20ポイント低い

「知識や技能の深まり」(本センター4.34<全学4.36) 0.02ポイント低い

「授業内容理解への積極性」(本センター3.74<全学3.79) 0.05ポイント低い

「意欲の高まり」(本センター4.11<全学4.14) 0.03ポイント低い

(R7後期)

本センター平均3.86 (昨年3.82) 全学平均3.84より0.04ポイント高い

全学平均より低い設問

「関連学習」(本センター2.01<全学2.06) 0.05ポイント低い

「出席状況」(本センター4.42<4.43) 0.01ポイント低い

「意欲の高まり」(本センター4.13<全学4.16) 0.03ポイント低い

分析結果を踏まえた改善方策：

昨年度と比べ、全学より低かった項目数が減少に見える。【前期】今年度4項目<昨年度5項目、【後期】今年度と昨年度同様3項目。また、昨年度の場合、全体的には、前期に比べて後期のほうが全学平均との差が縮小したように見えるが、今年度の後期は全学より0.04ポイント高くなっている。

ここでは、個別に見た場合に、全学平均との差が比較的大きい「関連学習」に注目してみたい。この点も、昨年度と同様であった。昨年度は、その前期と後期で比べてみると、後期では、その平均値は上昇していた。

とくに「関連学習」で全学平均との差が大きいのは、本センターが担う全学共通教育への学生の興味・関心や意欲が各学部・学科における専門教育へのそれらとは異なると考えられる点に、その理由があると思われる。ならば、全学共通教育に属する各科目が専門教育とどう繋がるのかが問われなければならない。

この問題点に目を向けて、専門教育との関係で、とりわけ初年次教育や共通基礎や教養教育の各科目群の意義を問い、関係の教員間で議論していきたい。

[6] 教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果は、非常勤講師を含む大学教育センター関係の教員全員に対して全ての集計結果をフィードバックした。

非常勤講師の場合、大学のメールシステムへのアクセスが常勤者のように容易ではないことや、そもそもインターネットを使用しない非常勤講師も含まれることから、集計結果を適時、適切に各人の手許に届けること自体に大変な労力を要する。最終的には全ての教員に各自の授業評価の結果を知らせることができた。

[7] 学生へのフィードバックについて

学生に対するフィードバックは講義最終回までに、あるいは定期試験実施時に当該授業科目担当者が行うこととした。

問題点：

・ 所定の期間内に学生へのフィードバックがされていないケース (Cerezo等でのフィードバック方法を教えるなどの対応が必要と思われる)

・ 「前期と後期の受講者が同じ場合、後期の最初の授業にて行っている」

【8】学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

<意見・提案>

(1) 意見

検討を必要とする問題を指摘していると思われる意見を、以下に挙げる。

1) 授業アンケートの時期について

- ・「全15回の授業を待たずに途中でアンケートを実施するのは、映画の感想を最後まで見ずに途中7,8割の段階で聞くことと同じであるので、アンケートは授業回数の最後近辺でとるべきである。」
- ・「今年度は前期後期共に金曜日に教養講座が入ってきたため、同授業に関してどうしても授業時間の20分の縮減が求められる結果となった。無論授業内容を削り20分程の時間を圧縮すれば良いという考え方もあるが、それは授業としては本末転倒となるので他の方法を考えたい。」
- ・「講義外での事前学修として機体に触れる機会を作ること、国家試験へ目標を見出させる、この2点が具体的な方策として考えられます。しかし、機体やバッテリーなど大学保有のリソースに限りがあるため、機体や時間の調整が必要と考えます。」
- ・「受講人数に対する体育施設や道具が十分な状況ではない。このような状況下では、一つの種目を教師主導で教えるスタイルでは展開が難しく、受講生の関心・意欲などにも留意しつつ、いくつかの種目を同時展開するなど、授業展開上の工夫がさらに求められる。また、学習規律や学びに向かう力などの育成がまずは重要であると実感している。体育という授業を通じて、これらの能力育成にも少しでも貢献できればと思う。また、体育館内に空調設備がないことから、夏場の授業は、常にWBGT測定器の数値を気にしながらの授業であった。学生にとっても空調のない夏場の体育館の環境は厳しかったと思われる。このあたり、授業の内容や学生の体調管理などにも一層留意しながら取り組んでいきたいと思う。」

(2) 提案

本センター関係教員にとって有用であると思われる提案を抜粋し、以下に列挙する。

- ・学修成果を高めるためには、授業内外での主体的な学びを促す工夫。具体的には、授業中に小テストや問いかけを組み込み復習の機会を増やすこと、さらに授業後の学びに繋がる参考資料や課題を提示することで、自主学習を促進できます。また、グループワークを取り入れ、互いの考えを共有・深め合う学びの場を構築する。
- ・作文文章を添削してフィードバックし、教員からの個別のフィードバックを行ってはいけるものの、学生同士の相互評価活動などを取り入れることで、優秀作品からそれぞれの学生が学ぶ活動などを取り入れることで、より文章を書くためのスキルを醸成することができる。
- ・授業開始後20分以内の遅刻者や授業途中でトイレなどの理由で席を長く外し、また私語に対して、賞罰制度を確実にすることで勉強したいと思う学生の権利を守る。

【9】総括

本センター関係教員らは、今年度の授業評価アンケートの結果を振り返り、それぞれに問題点を見出し、見つけた問題点を真摯に受けとめて、よりよい授業実践へと繋げようとしている。引きつづき、ある教員が持っている課題を、自身の課題とも受けとめ、ともに授業力の向上に努めて参りたい。また、そのために、各々の結果の開示のあり方を検討したり、すでに本センター内で実施が続けられている「授業研究」の充実を図ったりしていく。

最後に、非常勤講師2名の報告書では、報告書の書き方について指示に従わずに報告書を作成して提出されており、報告書の作成の仕方を再度指導する必要があるかと思われる。

このフィードバック結果に基づき、対象科目担当者には授業評価アンケート実施報告書の提出を求め

た。今年度は、前期は全員提出したが、後期では、非常勤講師2名が締め切り期日を過ぎての提出となり、早めに提出の確認をする必要があると思われる。

以上

大学教育センター
鶴田 泰人 センター長 殿

共同利用センター
センター長 鶴崎 健一

令和5年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】 実施期間 前期：令和7年6月25日（月）～7月13日（日）
後期：令和7年12月8日（月）～令和8年1月16日（金）

【2】 対象科目の選定
全ての授業科目についてアンケートを実施する方針に従い、前期2科目（10時間分）、後期2科目（3時間分）について調査を行った。

【3】 アンケート調査内容
アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

【4】 調査結果の集計
アンケート調査および集計はCerezoを利用して行った。

【5】 調査結果に対する点検
◇「授業評価アンケート」について
評価結果の分析：

今回、アンケートを実施した科目（前期2科目、後期2科目）のすべての科目について、全学平均と同程度か上回る評価であった。一方、共通教育科目A群科目について、回答率が5割程度と低いことが問題点としてある。

分析結果を踏まえた改善方策：

上述のように、全体的に比較的高い評価を得ることができたので、継続して高い評価が得られるよう、慢心せず、分かりやすい資料の作成などを心がけた授業を実施する。

◇「学生の自己点検」について
点検結果の分析：

今回、アンケートを実施した科目（前期2科目、後期2科目）すべての科目について、「関連学習時間」が全学平均よりも短いという結果であった。また、共通教育科目A群科目、情報処理に関する科目が「集中力」について全学平均よりも低めという結果であった。「知識の深まり」や「学修の成果」については、全学平均と同じかやや高い評価であったので、授業への関心が低いわけではなく、相応の効果があつたものと思う。

分析結果を踏まえた改善方策：

「関連学習時間」の短さについては、4科目とも共通教育科目であることから専門科目と比較して学習時間が短めになることは仕方のない部分もあると思われるが、受講生への負担とならないように注意を払いながら、Cerezoの小テスト機能などを利用した適切な課題の提示による「関連学習」の更なる工夫を行う。「集中力」や「授業内容理解への積極性」については、共通教育科目、特に教養科目においては興味関心や知識の差によって難しい面もあるが、学生が興味を持ちやすいように現代社会における

諸問題とも絡めた授業内容を充実させる。

【5】 教員へのフィードバックについて
アンケート集計結果を各教員個別にフィードバックした。

【6】 学生へのフィードバックについて
各教員が、Cerezoを活用して期間内にフィードバックを行った。

【7】 学科教員からの提案、意見
各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

<意見・提案>

- (1) 特に改善を求められた項目はないが、出欠確認について「自宅からレスポンスを送っている学生が多い、対策してほしい」とあったので、座席指定なども視野に入れたいと思う。また、「全先生の中で1番眠たくない声です！そして興味を大事にした授業で、素晴らしいと思います！」との回答もあり、このように感じてもらえる学生を増やせるようにしたい。
- (2) 例年よりも全体的に評価点が低くなっているため、話し方はピンマイクをやめスタンドマイクに変更、学生を見て回る時間を増やすなど改善を行って評価の向上を目指す。話し方については、マイクのボリュームを上げて声が届きやすくなるように改善する。

【8】 総 括

共同利用センターは、センター独自の授業科目を開講しておらず共通教育科目や学科の専門科目の一部を担当している、また、授業内容が教員間で大きく異なるため、本センター全体としての評価は難しい。その中で、今回の「授業評価アンケート」においては、全学平均と同等かやや高い評価となっていた。例年、おおよそ同じ傾向となっており、適切な授業が実施できていると思われる。今後も、継続して高い評価が得られるよう、分かりやすい資料の作成などを心がけた授業を実践していくようにしていきたい。

以上

7. 令和7年度（前期）授業評価アンケート実施科目一覧

学部	学科	実施教員	科目名	講義番号	曜日	時限	受講者数
経済学部	経済学科	石丸 敬二	プログラミング基礎	E06CMS2150	木	3時限	47
経済学部	経済学科	高羅 ひとみ	租税論	EE6GME2250	水	2時限	39
経済学部	経済学科	佐藤 彰三	地方財政論基礎	EE6GME2650	木	3時限	123
経済学部	経済学科	助田 暁	ファイナンス理論	EE6GME3880	月	2時限	23
経済学部	経済学科	善野 吉博	金融システム	EE6GME2350	月	4時限	176
経済学部	経済学科	崔 帽汀	スポーツ生理学	EE6SPM1300	火	1時限	39
経済学部	経済学科	戸村 貴史	体育実技Ⅰ（体づくり運動）	EE6SPM1550	火	1時限	17
経済学部	経済学科	中村 和裕	現代スポーツ論Ⅰ	EE6SPM1100	火	4時限	102
経済学部	経済学科	野田 光太郎	スポーツ経済学Ⅰ	EE6SPM2100	水	2時限	64
経済学部	経済学科	野村 宗訓	日本経済論（昭和期）	EE6GME3200	木	2時限	172
経済学部	経済学科	林田 元就	経済統計学Ⅰ	EE6GME2100	月	3時限	150
経済学部	経済学科	田中 征史	経済数学入門	E05MBS1131	火	1時限	175
経済学部	経済学科	三川 敦	経済数学	EE6GME2131	水	1時限	71
経済学部	経済学科	村松 悠次	マクロ経済学入門	E05MBS1121	木	2時限	185
経済学部	経済学科	山下 陽平	スポーツ社会学	EE6SPM3350	水	1時限	57
経済学部	経済学科	吉田 卓史	スポーツ理論Ⅰ	EE6SPM1200	木	4時限	90
経済学部	経済学科	李 森	社会保障論	EE6GME3400	水	2時限	118
経済学部	経済学科	岡本 昌規	体育実技Ⅲ（陸上競技）	EE6SPM2600	金	1時限	11
経済学部	経済学科	田邊 一洋	スポーツとメディア	EE6SPM3400	金	1時限	53
経済学部	経済学科	新谷 士朗	スポーツ心理学	EE6SPM3450	金	1時限	16
経済学部	経済学科	畑本 佳恵	情報処理基礎	G02INL110j	水	4時限	36
経済学部	経済学科	王 佳子	民法Ⅰ	E06CMS2250	月	2時限	22
経済学部	経済学科	大和証券	証券市場論	EE6GME3840	水	4時限	123
経済学部	国際経済学科	足立 浩一	国際学	EI6IEC2630	木	2時限	66
経済学部	国際経済学科	有賀 敏之	地域経済論	EE6IEC2150	火	4時限	141
経済学部	国際経済学科	呉 青姫	中国経済論Ⅰ	EE6GME2870	火	4時限	25
経済学部	国際経済学科	佐野 穂先	国際貿易論	EI6IEC3250	木	1時限	53
経済学部	国際経済学科	鈴木 伸	EU経済論Ⅰ	EE6IEC3250	月	3時限	87
経済学部	国際経済学科	高山 和夫	専門英語	G02ENG350s	木	4時限	15
経済学部	国際経済学科	鍋島 正次郎	初級スペイン語Ⅰ	EI6IEC1460	水	3時限	28
経済学部	国際経済学科	早川 達二	マクロ経済学	EE6GME2121	月	3時限	43
経済学部	国際経済学科	Bisset Ian James	英語で学ぶ国際経営	EI6IEC2780	火	2時限	33
経済学部	国際経済学科	平山 亮	アジア直接投資論Ⅰ	EI6IEC3600	木	3時限	60
経済学部	税務会計学科	飯田 哲也	税務会計Ⅰ	EA6ABA3700	火	4時限	46
経済学部	税務会計学科	大城 朝子	経営学Ⅰ	EE6ACM2100	火	2時限	207

経済学部	税務会計学科	許 霽	国際会計論 I	EA6ABA3600	火	1時限	53
経済学部	税務会計学科	勝田 篤	管理会計 I	EA6ABA3500	月	1時限	41
経済学部	税務会計学科	白木 康晴	所得税法	EA6ABA3900	月	2時限	34
経済学部	税務会計学科	張 楓	地域調査Ⅱ	EA6ABA2970	月	4時限	31
経済学部	税務会計学科	原岡 和生	アントレプレナーシップ	EA6ABA2470	木	1時限	32
経済学部	税務会計学科	堀田 彩	経営組織論 I	EE6ACM3200	金	2時限	41
人間文化学部	人間文化学科	市原 晋平	世界史概論	HA5BDS1900	金	2時限	37
人間文化学部	人間文化学科	岩崎 真梨子	日本語学概論 1	HA6ETH2100	月	2時限	44
人間文化学部	人間文化学科	奥村 尚大	日本語表現法 1	G02JNE1152	火	2時限	38
人間文化学部	人間文化学科	重迫 隆司	現代芸術とサブカルチャー論	HA6HIC2340	金	2時限	34
人間文化学部	人間文化学科	清水 洋子	中国語 (I)	G02CHI110e	火	4時限	37
人間文化学部	人間文化学科	原 千史	ヨーロッパの芸術と思想 1	HA6ETH3370	火	3時限	13
人間文化学部	人間文化学科	古内 絵里子	東アジアの歴史と文化 1	HA6HIC2160	木	3時限	26
人間文化学部	人間文化学科	両角 遼平	地誌概論	HA5BDS1750	月	4時限	73
人間文化学部	人間文化学科	柳川 真由美	日本の歴史と文化 1	HA6HIC2100	火	5時限	31
人間文化学部	人間文化学科	市瀬 信子	中国近世文化研究 1	HA6LIT3260	金	1時限	7
人間文化学部	人間文化学科	鈴木 一生	ヨーロッパ美術史 1	HA6HIC2280	水	3時限	19
人間文化学部	人間文化学科	嶋村 佳奈	日本古代の社会と文化 1	HA6HIC3160	月	4時限	8
人間文化学部	人間文化学科	田野 慎二	日本の中世文学 1	HA6LIT3180	木	2時限	25
人間文化学部	心理学科	平 伸二	犯罪心理学課題実習	HP6SNS3180	木	3時限	7
人間文化学部	心理学科	赤澤 淳子	発達心理学	HP6CRS2350	木	2時限	73
人間文化学部	心理学科	安藤 孟梓	神経・生理心理学	HP6CRS2250	火	3時限	74
人間文化学部	心理学科	大杉 朱美	捜査心理学 (司法犯罪コース)	HP6FCC3102	金	2時限	57
人間文化学部	心理学科	金平 希	障害者・障害児心理学 (心理臨床コース)	HP6CPC3101	月	3時限	64
人間文化学部	心理学科	日下部 典子	心理学概論	H05BFS1100	木	1時限	97
人間文化学部	心理学科	反田 智之	知覚・認知心理学	HP6CRS2200	月	1時限	72
人間文化学部	心理学科	寺田 和永	教育臨床心理学	HP6ADS3600	金	1時限	58
人間文化学部	心理学科	中島 学	少年と犯罪	HP6ADS3100	火	4時限	36
人間文化学部	心理学科	中野 美奈	心理演習	HP6PRS3250	金	5時限	15
人間文化学部	心理学科	松本 明生	心と健康	G03THC1200	火	1時限	143
人間文化学部	心理学科	向井 智哉	心理学統計法 1	HP5BDS1150	月	4時限	85
人間文化学部	心理学科	山崎 理央	臨床心理学概論	HP6CRS2150	水	1時限	73
人間文化学部	メディア・映像学科	内垣戸 貴之	メディア表現入門	HM5BDS1150	木	1時限	56
人間文化学部	メディア・映像学科	岡田 翔	メディア表現入門	HM5BDS1150	木	1時限	56
人間文化学部	メディア・映像学科	田中 始男	情報セキュリティ	HM6RAS3150	月	3時限	46
人間文化学部	メディア・映像学科	筒本 和広	情報処理基礎	G02INL110t	金	3時限	54

人間文化学部	メディア・映像学科	洞ヶ瀬 真人	基礎演習 1	HM6IPS1200	月	3時限	56
人間文化学部	メディア・映像学科	林 緑子	メディア文化論	G03HIC1650	火	1時限	98
人間文化学部	メディア・映像学科	安田 暁	グラフィックデザイン応用	HM6EPS2550	木	1時限	56
人間文化学部	メディア・映像学科	渡辺 浩司	専門英語	G02ENG350b	月	4時限	54
人間文化学部	メディア・映像学科	渡辺 敏恵	アナウンス	HM6EPS1100	水	1時限	29
工学部	電気電子工学科	歌谷 昌弘	電気電子数学 I	T06MAT1150	火	2時限	19
工学部	電気電子工学科	沖 俊任	ものづくり加工法	TA6COM2100	金	2時限	14
工学部	電気電子工学科	香川 直己	電気電子基礎	T06MAT1100	火	1時限	23
工学部	電気電子工学科	伍賀 正典	教養ゼミ (教養講座を含む)	G01FYE110d	月	3時限	12
工学部	電気電子工学科	菅原 聡	技術者倫理	TA6COM2500	水	4時限	16
工学部	電気電子工学科	関根 康史	耐震構造	T06SSE3250	金	1時限	43
工学部	電気電子工学科	田中 聡	スマートシステム基礎実験 I	TA6EXE2200	月	3時限	17
工学部	電気電子工学科	仲嶋 一	計測工学	TA6COM2260	水	2時限	17
工学部	建築学科	伊澤 康一	建築設備	TK6COM3450	月	3時限	53
工学部	建築学科	梅國 章	建築構法	TK6FUA2500	木	4時限	60
工学部	建築学科	大畑 友紀	都市計画	T06SSE3200	水	1時限	88
工学部	建築学科	酒井 要	情報処理基礎	G02INL1101	火	1時限	59
工学部	建築学科	佐藤 圭一	スタジオ演習	TK6COM4200	火	2時限	13
工学部	建築学科	長岡 正芳	スタジオ演習	TK6COM4200	火	2時限	13
工学部	建築学科	後藤 亜貴	スタジオ演習	TK6COM4200	火	2時限	13
工学部	建築学科	島田 美和子	福祉住環境計画	TK6LED3300	水	2時限	26
工学部	建築学科	都祭 弘幸	静定力学Ⅱ	TK6FUA2450	金	1時限	49
工学部	建築学科	藤原 美樹	デザイン論	TK5FUS1250	月	2時限	39
工学部	建築学科	藤谷 秀雄	構造設計演習 I	TK6ARC3200	金	3時限	10
工学部	建築学科	山下 敬広	建築製図演習 I	TK6FUA1160	月	3時限	58
工学部	建築学科	岡本 康生	建築設計演習 I	TK6FUA2110	水	1時限	36
工学部	建築学科	秋岡 昌彦	造形デザイン I	TK6FUA2200	木	1時限	24
工学部	建築学科	藤井 稔己	建築材料実験	TK6COM3600	木	3時限	17
工学部	情報工学科	池岡 宏	ゲームプログラミング	TI6APP3550	水	3時限	87
工学部	情報工学科	今井 勝喜	離散数学	TI5FUS2100	金	2時限	13
工学部	情報工学科	上野 貴弘	コンピュータネットワーク	TI6NET2100	水	2時限	44
工学部	情報工学科	尾関 孝史	情報工学入門 (情報化社会と倫理)	TI6BFS1100	水	3時限	64
工学部	情報工学科	金子 邦彦	コンピューターサイエンス	TI6BFS1150	金	2時限	67
工学部	情報工学科	谷口 億宇	専門英語	G02ENG350p	火	2時限	51
工学部	情報工学科	天満 誠也	Pythonプログラミング I	T06DTS1150	水	1時限	68
工学部	情報工学科	中道 上	デザインリサーチ演習	T06DTS1100	火	2時限	38

工学部	情報工学科	宮崎 光二	ビジュアルプログラミング	TI6S0F2700	火	3時限	41
工学部	情報工学科	森田 翔太	コンピュータアーキテクチャ演習	TI6HAR3200	月	2時限	50
工学部	機械システム工学科	加藤 昌彦	材料強度学	TG6MAT3150	火	2時限	12
工学部	機械システム工学科	金谷 健太郎	流体工学 I	TG6HAF2100	金	1時限	10
工学部	機械システム工学科	木村 純壮	制御システム設計	TG6MAC3150	木	3時限	10
工学部	機械システム工学科	小林 正明	機械設計製図基礎	TG6MED1100	水	3時限	18
工学部	機械システム工学科	坂口 勝次	熱力学 I	TG6HAF2150	火	3時限	11
工学部	機械システム工学科	田中 寿夫	機械システム工学入門	TG6COM1100	金	5時限	20
工学部	機械システム工学科	中東 潤	機能材料学	TG6MAT2100	火	4時限	11
工学部	機械システム工学科	真鍋 圭司	材料力学 I	TG6MAT2150	水	1時限	10
生命工学部	生物科学科	岩本 博行	生命倫理	LB6BI14900	水	1時限	23
生命工学部	生物科学科	石塚 真太郎	生物学 I	LB5BI01400	月	2時限	21
生命工学部	生物科学科	太田 雅也	構造生化学	LB5BCH2700	月	1時限	23
生命工学部	生物科学科	佐藤 淳	環境ゲノム学	LB6ABI3800	月	1時限	18
生命工学部	生物科学科	原口 博行	植物栄養生理学	LB6BI12500	水	2時限	25
生命工学部	生物科学科	久富 泰資	分子生物学	LB6BI12100	金	2時限	23
生命工学部	生物科学科	広岡 和丈	微生物培養工学	LB6ABI3200	火	2時限	16
生命工学部	生物科学科	松崎 浩明	生物学 II	LB5BI01100	水	1時限	21
生命工学部	生物科学科	山本 覚	解剖生理学 I	LN5BMD1400	木	3時限	31
生命工学部	生物科学科	吉崎 隆之	食品化学	LB6BI12300	水	1時限	23
生命工学部	健康栄養科学科	石井 香代子	健康管理概論	LN5SHE1100	木	1時限	31
生命工学部	健康栄養科学科	内海 好規	食品学 I	LN5FOH1400	水	2時限	33
生命工学部	健康栄養科学科	菊田 安至	公衆衛生学	LN5SHE2250	火	2時限	24
生命工学部	健康栄養科学科	津吉 哲士	栄養教育論 I	LN6NUE2400	火	1時限	24
生命工学部	健康栄養科学科	松井 佳津子	調理学	LN5FOH1300	火	1時限	31
生命工学部	健康栄養科学科	村上 泰子	臨床栄養学 II	LN6CLN3250	木	2時限	26
生命工学部	健康栄養科学科	宮田 明	疾患学総論	LN5BMD2200	木	1時限	24
生命工学部	健康栄養科学科	森川 晶子	公衆栄養学 II	LN6PHN3200	月	2時限	26
生命工学部	健康栄養科学科	福田 伸治	食品衛生学	LN5FOH2150	金	2時限	24
生命工学部	健康栄養科学科	鴻池 優佳	給食経営管理実習 II	LN6FSM3250	他	その他	24
生命工学部	健康栄養科学科	吉田 純子	応用栄養学実習	LN6APN2250	他	その他	24
生命工学部	海洋生物科学科	伊丹 利明	国際化と地域創生	G03RST1500	水	3時限	84
生命工学部	海洋生物科学科	太田 健吾	魚類解剖学	LM6MCS2250	火	1時限	120
生命工学部	海洋生物科学科	片山 貴士	水産学概論	LM6MCS2450	金	1時限	109
生命工学部	海洋生物科学科	金子 健司	沿岸域の水産業	LM6FIE3200	金	1時限	79
生命工学部	海洋生物科学科	我如古 菜月	フードプロセス	LM6MFS3100	水	2時限	37
生命工学部	海洋生物科学科	北口 博隆	暮らしと微生物	LM5BI02150	火	2時限	105

生命工学部	海洋生物科学科	倉掛 昌裕	食品衛生学	LM6MFS3200	金	2時限	95
生命工学部	海洋生物科学科	阪本 憲司	魚学概論	LM6MCS1100	火	1時限	133
生命工学部	海洋生物科学科	高村 克美	生物学 I	LM5BI01100	金	2時限	135
生命工学部	海洋生物科学科	水上 雅晴	観賞魚の飼育と繁殖	LM6AQS3100	月	1時限	65
生命工学部	海洋生物科学科	満谷 淳	化学 I	LM5CHE1101	月	2時限	64
生命工学部	海洋生物科学科	三輪 泰彦	バイオテクノロジー入門	LM5BIS3100	金	1時限	27
生命工学部	海洋生物科学科	山岸 幸正	化学 I	LM5CHE1102	月	2時限	72
生命工学部	海洋生物科学科	山本 知里	フィールド調査法	LM6FIE3150	火	2時限	89
生命工学部	海洋生物科学科	泉 貴人	水生観賞生物の分類と飼育	LM6AQS3150	火	1時限	43
生命工学部	海洋生物科学科	真田 誠至	博物館展示論	QC7CUC3400	月	3時限	23
薬学部	薬学科	赤崎 健司	社会・集団と健康	PP6HLS4150	木	1時限	56
薬学部	薬学科	山下 純	社会・集団と健康	PP6HLS4150	木	1時限	56
薬学部	薬学科	稗田 雄三	実感する化学	G03NAS1550	木	3時限	66
薬学部	薬学科	小川 祥二郎	薬局方収載の試験法	PP6PHY3150	水	1時限	96
薬学部	薬学科	大西 正俊	循環器系・腎疾患の薬・病態・治療	PP6CLP3100	火	2時限	103
薬学部	薬学科	番匠谷 研吾	循環器系・腎疾患の薬・病態・治療	PP6CLP3100	火	2時限	103
薬学部	薬学科	井上 敦子	消化器系疾患の薬・病態・治療	PP6CLP3140	木	1時限	102
薬学部	薬学科	木平 孝高	統計解析と臨床研究	PP6CLP4220	火	1時限	93
薬学部	薬学科	重永 章	有機化学Ⅲ	PP6CHE2120	月	2時限	97
薬学部	薬学科	五郎丸 剛	医薬品の安定供給と社会保障制度	PP6LAS4150	月	1時限	89
薬学部	薬学科	今 重之	免疫のしくみ	PP6BI03200	金	2時限	100
薬学部	薬学科	広瀬 雅一	臨床推論演習	PP6CLP4260	月	3時限	90
薬学部	薬学科	佐藤 雄己	悪性腫瘍の薬・病態・治療	PP6CLP4180	火	2時限	88
薬学部	薬学科	杉原 成美	疾病の予防	PP6HLS4100	木	3時限	87
薬学部	薬学科	高根 浩	病原微生物と感染症	PP6BI03150	水	2時限	99
薬学部	薬学科	半田 由佳	病原微生物と感染症	PP6BI03150	水	2時限	99
薬学部	薬学科	町支 臣成	有機化学 I	PP6CHE1120	火	1時限	97
薬学部	薬学科	中村 徹也	薬系数学	PP5MBS1200	月	1時限	96
薬学部	薬学科	西山 卓志	ターゲット分子の合成	PP6CHE3100	木	4時限	109
薬学部	薬学科	秦 季之	物理化学Ⅲ	PP6PHY2170	金	1時限	105
薬学部	薬学科	道原 明宏	分子遺伝学Ⅱ	PP6BI02170	月	1時限	97
薬学部	薬学科	松岡 浩史	分子遺伝学Ⅱ	PP6BI02170	月	1時限	97
薬学部	薬学科	志摩 亜季保	生体調節分子	PP6BI03100	月	2時限	94
薬学部	薬学科	上敷領 淳	生体エネルギー代謝(R5まで)	PP6BI02100	木	2時限	7
薬学部	薬学科	上敷領 淳	生化学 I	PP6BI02120	金	3時限	97
薬学部	薬学科	渡邊 正知	中枢神経系疾患の薬・病	PP6CLP4140	水	1時限	99

			態・治療Ⅱ				
薬学部	薬学科	片山 博和	統計解析と臨床研究	PP6CLP4220	火	1時限	93
薬学部	薬学科	本屋敷 敏雄	生体エネルギー代謝(R5まで)	PP6BI02100	木	2時限	7
薬学部	薬学科	本屋敷 敏雄	生化学Ⅰ	PP6BI02120	金	3時限	97
薬学部	薬学科	井上 裕文	分析化学Ⅰ	PP5MBS1280	月	2時限	95
薬学部	薬学科	田中 哲郎	薬物の臓器への到達と消失	PP6CLP3180	火	1時限	100
薬学部	薬学科	小嶋 英二郎	分析化学Ⅱ	PP6PHY2220	木	1時限	99
薬学部	薬学科	坂根 洋	社会・集団と健康	PP6HLS4150	木	1時限	56
薬学部	薬学科	竹田 修三	医薬品管理	PP6LAS4100	金	1時限	91
薬学部	薬学科	三谷 亨矢	ファーマシューティカルケ ア総合演習Ⅰ	PP6PET6150	他	その他	101
薬学部	薬学科	尾上 洋	ファーマシューティカルケ ア総合演習Ⅰ	PP6PET6150	他	その他	101
薬学部	薬学科	岡田 昌浩	ファーマシューティカルケ ア総合演習Ⅰ	PP6PET6150	他	その他	101
大学教育センター	大学教育センター	今井 航	教育原理	QC7TTC1100	火	5時限	93
大学教育センター	大学教育センター	井上 泰	日本語表現法	G02JNE1101	木	4時限	30
大学教育センター	大学教育センター	小野 太幹	数理科学	G03NAS1101	水	3時限	22
大学教育センター	大学教育センター	記谷 康之	インターネット・リテラシ 入門	G03NAS1852	金	4時限	125
大学教育センター	大学教育センター	佐藤 嘉晃	英語Ⅲ	G02ENG210q	火	3時限	34
大学教育センター	大学教育センター	地主 弘幸	物理の世界	G03NAS1253	火	3時限	72
大学教育センター	大学教育センター	SUZUKI HEATHER ANNE	英語Ⅰ	G02ENG1102	木	2時限	42
大学教育センター	大学教育センター	Tang Warren	英語Ⅰ	G02ENG110u	金	4時限	34
大学教育センター	大学教育センター	津田 将行	キャリアデザインⅡ	G04CAE2102	金	5時限	9
大学教育センター	大学教育センター	前田 吉広	インターネット・リテラシ 入門	G03NAS1851	水	2時限	66
大学教育センター	大学教育センター	松本 陵磨	アカデミック・スキル (Writing/Speaking)Ⅰ	G02ENG1250	月	5時限	7
大学教育センター	大学教育センター	向井 勝也	キャリアデザインⅠ	G04CAE1103	木	5時限	153
大学教育センター	大学教育センター	劉 国彬	中国語(Ⅰ)	G02CHI110a	火	3時限	36
大学教育センター	大学教育センター	Lowes Jason	英語Ⅲ	G02ENG210t	金	2時限	32
大学教育センター	大学教育センター	宮岡 弥生	日本語表現法	G02JNE110m	金	3時限	44
大学教育センター	大学教育センター	高垣 裕子	英語Ⅲ	G02ENG210j	月	3時限	36
大学教育センター	大学教育センター	神野 靖子	音楽	G03AHS1241	火	2時限	22
大学教育センター	大学教育センター	山本 賢太郎	囲碁から学ぶ人間学(Ⅰ)	G03AHS1800	火	4時限	80
大学教育センター	大学教育センター	田中 宏和	憲法	G03SSL1151	金	1時限	66
大学教育センター	大学教育センター	上村 崇	倫理学(Ⅰ)	G03THC1250	火	4時限	125
大学教育センター	大学教育センター	谷川 充美	日本語表現法Ⅰ	G02JNE1151	月	4時限	53
大学教育センター	大学教育センター	藤井 晶子	日本語表現法	G02JNE110c	月	2時限	36
大学教育センター	大学教育センター	外林 省二	書道	G03AHS1121	火	3時限	30

大学教育センター	大学教育センター	平山 直樹	英語Ⅲ	G02ENG2101	金	3時限	27
大学教育センター	大学教育センター	前村 晃子	ドイツ語（Ⅰ）	G02GER1104	木	3時限	34
大学教育センター	大学教育センター	崔 眞英	韓国語（Ⅰ）	G02KOR1103	火	4時限	37
大学教育センター	大学教育センター	梅木 璃子	英語Ⅲ	G02ENG210b	月	3時限	36
大学教育センター	大学教育センター	遠藤 耕二	哲学（Ⅰ）	G03THC1100	火	2時限	70
大学教育センター	大学教育センター	齊藤 一彦	体育（Ⅰ）	G03AHS1442	火	2時限	40
大学教育センター	大学教育センター	岡田 秀一	ドローンで撮る地域の魅力	G03RST1401	木	4時限	30
大学教育センター	大学教育センター	高橋 和久	剣道（Ⅰ）	G03AHS1360	金	4時限	12
大学教育センター	大学教育センター	藤本 路加	陶芸	G03AHS1201	月	3時限	20
大学教育センター	大学教育センター	渋谷 清	絵画	G03AHS1161	火	4時限	16
大学教育センター	大学教育センター	Soar Benjamin	英語Ⅰ	G02ENG110n	木	2時限	40
大学教育センター	大学教育センター	バーデン 京子	英語Ⅰ	G02ENG110m	火	4時限	40
大学教育センター	大学教育センター	赤松 頌也	フランス語（Ⅰ）	G02FRE1102	火	4時限	37
大学教育センター	大学教育センター	Nassr Qolamreza	英語Ⅰ	G02ENG110i	木	2時限	40
大学教育センター	大学教育センター	Kobayashi Dawn	英語Ⅰ	G02ENG110e	火	4時限	39
大学教育センター	大学教育センター	Nassr Elahe	英語Ⅰ	G02ENG1101	木	2時限	37
大学教育センター	大学教育センター	岩崎 克己	ドイツ語（Ⅰ）	G02GER1101	火	3時限	36
大学教育センター	大学教育センター	金子 直樹	日本語表現法	G02JNE110f	月	3時限	39
大学教育センター	大学教育センター	久納 早智	世界史（Ⅰ）	G03HIC1200	水	3時限	227
大学教育センター	大学教育センター	米倉 広晃	日本史（Ⅰ）	G03HIC1101	水	4時限	64
大学教育センター	大学教育センター	河 智弘	韓国語（Ⅰ）	G02KOR1104	火	4時限	36
大学教育センター	大学教育センター	山田 和大	日本語表現法	G02JNE110a	月	1時限	40
大学教育センター	大学教育センター	西村 尚久	日本語表現法	G02JNE110g	月	4時限	48
大学教育センター	大学教育センター	田村 耕一	市民生活と法	G03SSL1101	金	1時限	191
国際センター	国際センター	趙 建紅	ビジネス日本語Ⅰ（留学生用）	QI8JTS2100	木	3時限	9
共同利用センター	共同利用センター	瀬島 紀夫	情報処理基礎	G02INL110d	月	3時限	17
共同利用センター	共同利用センター	瀬島 紀夫	情報処理基礎	G02INL110n	木	3時限	48
共同利用センター	共同利用センター	瀬島 紀夫	情報処理基礎	G02INL110f	火	3時限	20
共同利用センター	共同利用センター	瀬島 紀夫	情報処理基礎	G02INL110a	月	2時限	32
共同利用センター	共同利用センター	瀬島 紀夫	情報処理基礎	G02INL110r	金	3時限	45
共同利用センター	共同利用センター	瀬島 紀夫	情報処理基礎	G02INL110e	月	4時限	14
共同利用センター	共同利用センター	瀬島 紀夫	情報処理基礎	G02INL110o	金	4時限	48
共同利用センター	共同利用センター	鶴崎 健一	自然と人間	G03NAS1451	火	1時限	30
共同利用センター	共同利用センター	鶴崎 健一	自然と人間	G03NAS1452	火	2時限	139
共同利用センター	共同利用センター	鶴崎 健一	自然と人間	G03NAS1453	木	2時限	55
IR室	IR室	片桐 重和	情報処理基礎	G02INL110c	木	4時限	62

8. 令和7年度（後期）授業評価アンケート実施科目一覧

学部	学科	実施教員	科目名	講義番号	曜日	時限	受講者数
経済学部	経済学科	石丸 敬二	情報処理技法	E05MBS1302	水	2時限	34
経済学部	経済学科	高羅 ひとみ	財政学	EE6GME2200	水	3時限	51
経済学部	経済学科	佐藤 彰三	地方財政論	EE6GME2700	木	3時限	140
経済学部	経済学科	助田 暁	金融論特講	EE6GME3800	月	4時限	37
経済学部	経済学科	助田 暁	金融論	EE6GME2400	月	2時限	85
経済学部	経済学科	善野 吉博	環境経済学	EE6GME3360	火	2時限	90
経済学部	経済学科	田中 征史	マクロ経済学入門	E05MBS1122	木	2時限	95
経済学部	経済学科	崔 帽汀	韓国語（Ⅱ）	G02KOR1156	木	2時限	28
経済学部	経済学科	戸村 貴史	スポーツ統計学	EE6SPM3150	月	4時限	26
経済学部	経済学科	中村 和裕	生涯スポーツ論	EE6SPM2250	木	1時限	42
経済学部	経済学科	野田 光太郎	体育実技Ⅱ（器械運動）	EE6SPM1600	月	3時限	17
経済学部	経済学科	野村 宗訓	現代社会と経済	G03SSL1300	水	1時限	290
経済学部	経済学科	林田 元就	経済統計学Ⅱ	EE6GME2150	月	3時限	49
経済学部	経済学科	三川 敦	経済数学	EE6GME2132	水	1時限	22
経済学部	経済学科	村松 悠次	ミクロ経済学入門	E05MBS1112	水	1時限	92
経済学部	経済学科	山下 陽平	スポーツ経済学Ⅱ	EE6SPM2150	金	3時限	43
経済学部	経済学科	吉田 卓史	体育理論	G03AHS1520	火	1時限	186
経済学部	経済学科	李 森	労働経済論Ⅱ	EE6GME2600	月	2時限	157
経済学部	経済学科	岡本 昌規	体育実技Ⅴ（球技）	EE6SPM2620	金	1時限	13
経済学部	経済学科	野村證券	資本市場論	EE6GME2450	水	4時限	119
経済学部	経済学科	畑本 佳恵	情報処理技法	E05MBS1307	木	4時限	36
経済学部	経済学科	王 佳子	法学概論（2）	G03SSL1250	月	1時限	75
経済学部	経済学科	林 聡太郎	学校保健論	EE6SPM1350	月	2時限	15
経済学部	国際経済学科	足立 浩一	マーケティング論Ⅱ	EA6ABA2250	水	2時限	115
経済学部	国際経済学科	有賀 敏之	開発経済学	EE6IEC2100	木	4時限	87
経済学部	国際経済学科	呉 青姫	中国経済論Ⅱ	EE6GME2880	火	4時限	24
経済学部	国際経済学科	佐野 穂先	貿易概論	EE6GME2800	木	1時限	146
経済学部	国際経済学科	鈴木 伸	EU経済論Ⅱ	EE6IEC3300	月	3時限	57
経済学部	国際経済学科	高山 和夫	マクロ経済学	EI6IEC2123	月	3時限	109
経済学部	国際経済学科	鍋島 正次郎	中南米経済論	EI6IEC3550	火	3時限	79
経済学部	国際経済学科	早川 達二	経済学演習Ⅰ	E06CMS310p	火	3時限	14
経済学部	国際経済学科	Bisset Ian James	英語で学ぶ国際貿易	EI6IEC2800	火	1時限	32
経済学部	国際経済学科	平山 亮	アジア直接投資論Ⅱ	EI6IEC3650	木	3時限	82
経済学部	税務会計学科	飯田 哲也	税務会計Ⅱ	EA6ABA3750	火	4時限	55
経済学部	税務会計学科	大城 朝子	経営戦略論Ⅱ	EE6ACM3150	水	3時限	106

経済学部	税務会計学科	許 霽	国際会計論Ⅱ	EA6ABA3650	火	1時限	52
経済学部	税務会計学科	勝田 篤	管理会計Ⅱ	EA6ABA3550	月	1時限	40
経済学部	税務会計学科	白木 康晴	法人税法	EA6ABA3930	月	2時限	26
経済学部	税務会計学科	張 楓	備後経済論Ⅲ	E06CMS2700	木	5時限	133
経済学部	税務会計学科	原岡 和生	基礎ゼミ	E05MBS210c	木	4時限	36
経済学部	税務会計学科	堀田 彩	経営組織論Ⅱ	EA6ABA3300	金	2時限	33
人間文化学部	人間文化学科	市原 晋平	生活文化史	H05BFS1250	金	2時限	127
人間文化学部	人間文化学科	岩崎 真梨子	文化リテラシー入門	HA6RPE1103	水	2時限	13
人間文化学部	人間文化学科	奥村 尚大	日本近現代文学研究 2	HA6LIT2190	金	4時限	26
人間文化学部	人間文化学科	重迫 隆司	日英比較文化 2	HA6ETH2430	木	3時限	22
人間文化学部	人間文化学科	清水 洋子	中国語(Ⅱ)	G02CHI115e	火	4時限	36
人間文化学部	人間文化学科	原 千史	ドイツ語表現法 2	HA6ETH2250	水	2時限	7
人間文化学部	人間文化学科	古内 絵里子	東アジアの歴史と文化 2	HA6HIC2190	木	3時限	23
人間文化学部	人間文化学科	両角 遼平	地誌探求	HA5BDS1800	月	4時限	51
人間文化学部	人間文化学科	柳川 真由美	日本の歴史と文化 2	HA6HIC2130	火	5時限	22
人間文化学部	人間文化学科	市瀬 信子	中国近世文化研究 2	HA6LIT3280	金	1時限	8
人間文化学部	人間文化学科	末葭 敏久	中国文化入門	HA5BDS1250	金	3時限	20
人間文化学部	人間文化学科	新本 万里子	日本民俗論	G03HIC1700	木	5時限	97
人間文化学部	人間文化学科	鈴木 一生	ヨーロッパ美術史 2	HA6HIC2310	水	3時限	10
人間文化学部	人間文化学科	田野 慎二	日本の中世文学 2	HA6LIT3200	木	2時限	23
人間文化学部	人間文化学科	加藤 伸江	日本文学史 2	HA6LIT3120	水	2時限	25
人間文化学部	心理学科	平 伸二	犯罪心理学課題実習	HP6SNS3180	水	5時限	6
人間文化学部	心理学科	赤澤 淳子	家族の人間関係	HP6ADS3350	月	2時限	52
人間文化学部	心理学科	安藤 孟梓	健康・医療心理学(心理臨床コース)	HP6CPC3151	金	1時限	66
人間文化学部	心理学科	大杉 朱美	司法・犯罪心理学(司法犯罪コース)	HP6FCC2152	火	4時限	69
人間文化学部	心理学科	金平 希	地域とボランティア	H05BFS1300	月	2時限	75
人間文化学部	心理学科	日下部 典子	心理学的支援法(司法犯罪コース)	HP6CPC2152	金	2時限	72
人間文化学部	心理学科	反田 智之	産業・組織心理学	HP6ADS3400	木	2時限	67
人間文化学部	心理学科	寺田 和永	教育・学校心理学	HP6ADS2100	火	5時限	75
人間文化学部	心理学科	中島 学	矯正心理学(司法犯罪コース)	HP6FCC3152	火	5時限	49
人間文化学部	心理学科	中野 美奈	公認心理師の職責	HP6RLS3250	水	3時限	26
人間文化学部	心理学科	松本 明生	学習・言語心理学	HP6CRS2450	木	5時限	70
人間文化学部	心理学科	向井 智哉	社会・集団・家族心理学	HP6CRS2300	火	2時限	70
人間文化学部	心理学科	山崎 理央	感情・人格心理学	HP6CRS2500	水	1時限	75
人間文化学部	メディア・映像学科	林 緑子	アニメ論	HM6EPS2250	木	1時限	6

人間文化学部	メディア・映像学科	梶川 瑛里	C G 表現論	HM6RAS3200	月	3時限	44
人間文化学部	メディア・映像学科	久保田 テツ	広告制作	HM6EPS3100	木	2時限	58
人間文化学部	メディア・映像学科	田中 始男	基礎演習 2	HM6IPS1250	月	4時限	55
人間文化学部	メディア・映像学科	筒本 和広	情報処理応用	H05BFS1353	金	3時限	56
人間文化学部	メディア・映像学科	洞ヶ瀬 真人	社会学	G03SSL1350	火	4時限	98
人間文化学部	メディア・映像学科	安田 暁	写真論	HM6EPS2300	金	3時限	38
人間文化学部	メディア・映像学科	渡辺 浩司	マルチメディア論	HM6FSU2250	火	3時限	93
人間文化学部	メディア・映像学科	田中 聡登	映画論	HM6FSU2200	木	1時限	56
人間文化学部	メディア・映像学科	村上 博郁	地域メディア論	HM6RAS3250	水	4時限	40
工学部	電気電子工学科	歌谷 昌弘	電気電子数学Ⅱ	T06MAT1250	火	2時限	13
工学部	電気電子工学科	沖 俊任	ものづくり加工実習	TA6EXE2150	月	1時限	14
工学部	電気電子工学科	香川 直己	回路理論Ⅰ	TA6COM1160	水	1時限	18
工学部	電気電子工学科	伍賀 正典	ものづくり加工実習	TA6EXE2150	月	1時限	14
工学部	電気電子工学科	伍賀 正典	プログラミング基礎	T06DTS1200	金	2時限	28
工学部	電気電子工学科	菅原 聡	電気磁気学Ⅰ	TA6COM1150	水	2時限	23
工学部	電気電子工学科	関根 康史	確率統計	TA6COM2600	木	4時限	21
工学部	電気電子工学科	仲嶋 一	瀬戸内の里山・里海学	G03RST1450	水	4時限	441
工学部	電気電子工学科	脇坂 和也	ものづくり加工実習	TA6EXE2150	月	1時限	14
工学部	建築学科	伊澤 康一	建築環境工学Ⅱ	TK6COM2700	木	3時限	45
工学部	建築学科	梅國 章	構造設計演習Ⅱ	TK6ARC3250	金	3時限	10
工学部	建築学科	大畑 友紀	建築計画Ⅱ	TK6COM2300	火	1時限	51
工学部	建築学科	酒井 要	建築デジタルデザインⅠ	TK5FUS1210	水	2時限	62
工学部	建築学科	佐藤 圭一	建築製図演習Ⅱ	TK6FUA1210	火	1時限	60
工学部	建築学科	島田 美和子	建築仕上げ材料	TK6FUA2650	水	2時限	57
工学部	建築学科	都祭 弘幸	不静定力学	TK6COM2750	金	3時限	62
工学部	建築学科	藤原 美樹	ユニバーサルデザイン論	TK6LED3350	月	1時限	21
工学部	建築学科	藤谷 秀雄	静定力学Ⅰ	TK6FUA1350	金	2時限	94
工学部	建築学科	山下 敬広	建築デザイン論	TK6ARC3450	水	2時限	47
工学部	建築学科	秋岡 昌彦	造形デザインⅡ	TK6COM2100	木	1時限	20
工学部	建築学科	後藤 亜貴	生活デザイン演習Ⅳ	TK6LED3150	水	3時限	16
工学部	建築学科	平野 毅	建築製図演習Ⅱ	TK6FUA1210	火	1時限	60
工学部	建築学科	甲野 裕之	建築施工	TK6COM3660	木	4時限	53
工学部	情報工学科	今井 勝喜	データ構造とアルゴリズム	TI6SOF2150	金	1時限	46
工学部	情報工学科	上野 貴弘	情報センシング	T06DTS1300	月	3時限	36
工学部	情報工学科	尾関 孝史	オペレーティングシステム	TI6SOF2200	火	3時限	31
工学部	情報工学科	金子 邦彦	データベースシステム	TI6SOF2250	金	2時限	46
工学部	情報工学科	谷口 億宇	並列分散処理	TI6SOF3300	月	2時限	24

工学部	情報工学科	天満 誠也	PythonプログラミングⅡ	T06DTS1250	木	3時限	67
工学部	情報工学科	中道 上	ソフトウェア工学	TI6SOF2300	月	2時限	47
工学部	情報工学科	滑川 裕介	データサイエンス演習	TI6SOF2750	金	3時限	39
工学部	情報工学科	宮崎 光二	実用ネットワーク管理	TI6NET2250	水	2時限	14
工学部	情報工学科	森田 翔太	コンピュータアーキテクチャ	TI6SOF1200	水	3時限	54
工学部	機械システム工学科	加藤 昌彦	強度設計学	TG6DAP2200	月	2時限	10
工学部	機械システム工学科	金谷 健太郎	物理学Ⅱ	TG5FUS1251	火	1時限	30
工学部	機械システム工学科	木村 純壮	メカトロニクス	TG6MAC3200	月	3時限	16
工学部	機械システム工学科	小林 正明	電気工学概論	TG6COM3200	火	3時限	15
工学部	機械システム工学科	坂口 勝次	熱力学Ⅱ	TG6HAF2250	月	3時限	10
工学部	機械システム工学科	中東 潤	機械材料学	TG6MAT1100	水	1時限	15
工学部	機械システム工学科	真鍋 圭司	生産加工システム	TG6DAP1150	月	2時限	18
生命工学部	生物科学科	岩本 博行	バイオ機器分析学	LB6BII2600	月	1時限	24
生命工学部	生物科学科	石塚 真太郎	保全生物学	LB6BII2850	火	2時限	23
生命工学部	生物科学科	太田 雅也	生物有機化学	LB5BCH1700	月	1時限	22
生命工学部	生物科学科	佐藤 淳	動物資源学	LB6BII2400	木	1時限	37
生命工学部	生物科学科	原口 博行	植物機能利用学	LB6ABI3500	火	1時限	16
生命工学部	生物科学科	久富 泰資	基礎微生物学	LB6BII1200	金	2時限	21
生命工学部	生物科学科	広岡 和丈	環境微生物学	LB6ABI2200	水	1時限	21
生命工学部	生物科学科	松崎 浩明	遺伝子工学	LB6BII2150	金	1時限	26
生命工学部	生物科学科	山本 覚	酵素利用工学	LB6ABI3700	水	1時限	17
生命工学部	生物科学科	吉崎 隆之	醗酵生産・醸造学	LB6ABI2300	水	2時限	25
生命工学部	健康栄養科学科	石井 香代子	給食経営管理論Ⅰ	LN6FSM2200	木	2時限	24
生命工学部	健康栄養科学科	内海 好規	食品学Ⅱ	LN5FOH1450	金	1時限	30
生命工学部	健康栄養科学科	菊田 安至	微生物学	LN5BMD1600	水	1時限	28
生命工学部	健康栄養科学科	中西(鴻池)優佳	給食経営管理実習Ⅰ	LN6FSM2250	他	その他	24
生命工学部	健康栄養科学科	津吉 哲士	環境・スポーツ栄養学	LN6APN2200	火	2時限	24
生命工学部	健康栄養科学科	松井 佳津子	食品加工学	LN5FOH2500	水	2時限	24
生命工学部	健康栄養科学科	村上 泰子	臨床栄養学Ⅰ	LN6CLN2400	金	1時限	25
生命工学部	健康栄養科学科	宮田 明	病態栄養学	LN6CLN2350	木	1時限	24
生命工学部	健康栄養科学科	森川 晶子	公衆栄養学Ⅰ	LN6PHN2200	月	2時限	24
生命工学部	健康栄養科学科	吉田 純子	基礎栄養学Ⅱ	LN6BAN1250	金	2時限	30
生命工学部	健康栄養科学科	松本 末信	社会福祉概論	LN5SHE2300	月	1時限	26
生命工学部	海洋生物科学科	伊丹 利明	魚介類の疾病と予防	LM6RUD3300	金	1時限	70
生命工学部	海洋生物科学科	泉 貴人	水生生物の生態と環境	LM6AQ3350	水	1時限	88
生命工学部	海洋生物科学科	太田 健吾	遺伝学	LM6MCS2100	木	2時限	116

生命工学部	海洋生物科学科	片山 貴士	魚類の飼料と栄養	LM6RUD3200	月	1時限	82
生命工学部	海洋生物科学科	金子 健司	水産資源の生態	LM6RUD3250	月	2時限	64
生命工学部	海洋生物科学科	我如古 菜月	水産食品科学実習(2)	LM6MFS3450	木	3時限	23
生命工学部	海洋生物科学科	北口 博隆	海洋環境科学	LM6MCS2600	火	1時限	97
生命工学部	海洋生物科学科	倉掛 昌裕	化学Ⅱ	LM5CHE1151	水	1時限	56
生命工学部	海洋生物科学科	阪本 憲司	魚介類の育種	LM6RUD3350	火	1時限	98
生命工学部	海洋生物科学科	真田 誠至	水族館論	LM6AQ3250	金	2時限	78
生命工学部	海洋生物科学科	高村 克美	海洋動物分類学	LM6MCS1200	月	1時限	142
生命工学部	海洋生物科学科	水上 雅晴	動物組織の構造と機能	LM5BI01250	火	1時限	122
生命工学部	海洋生物科学科	満谷 淳	海洋生態学	LM6MCS1150	木	1時限	151
生命工学部	海洋生物科学科	三輪 泰彦	水産食品の科学	LM6MCS2650	月	2時限	116
生命工学部	海洋生物科学科	山岸 幸正	海洋植物分類学	LM6MCS1250	金	2時限	136
生命工学部	海洋生物科学科	山本 知里	海洋動物の行動と生態	LM6FIE3250	木	1時限	95
薬学部	薬学科	井上 敦子	薬物治療学Ⅰ	PP6CLP2280	木	3時限	97
薬学部	薬学科	井上 裕文	応用分析科学	PP6PHY3200	木	3時限	100
薬学部	薬学科	大西 正俊	薬物治療学Ⅰ	PP6CLP2280	木	3時限	99
薬学部	薬学科	小川 祥二郎	分析化学Ⅲ	PP6PHY2320	月	2時限	105
薬学部	薬学科	上敷領 淳	生化学Ⅱ	PP6BI02220	金	1時限	97
薬学部	薬学科	小嶋 英二郎	臨床検査概論	PP6CLP2320	金	2時限	100
薬学部	薬学科	今 重之	免疫と疾患	PP6BI03250	金	1時限	98
薬学部	薬学科	佐藤 英治	調剤	PP6CLP3340	火	1時限	100
薬学部	薬学科	佐藤 雄己	製剤の性質	PP6CLP3380	月	3時限	99
薬学部	薬学科	重永 章	生体分子の構造と化学的性質	PP6CHE3200	木	1時限	98
薬学部	薬学科	志摩 亜季保	生化学Ⅱ	PP6BI02220	金	1時限	97
薬学部	薬学科	杉原 成美	食品衛生	PP6HLS3150	火	2時限	97
薬学部	薬学科	高根 浩	事前学習	PP6PET4250	他	その他	90
薬学部	薬学科	竹田 修三	食品衛生	PP6HLS3150	火	2時限	97
薬学部	薬学科	田中 哲郎	薬物動態解析	PP6CLP3300	水	2時限	98
薬学部	薬学科	田村 豊	代謝系・呼吸器系疾患の薬・病態・治療	PP6CLP3220	月	4時限	100
薬学部	薬学科	町支 臣成	有機化学Ⅱ	PP6CHE1170	月	2時限	92
薬学部	薬学科	中村 徹也	薬物動態解析	PP6CLP3300	水	2時限	98
薬学部	薬学科	西山 卓志	有機化学Ⅳ	PP6CHE2220	水	1時限	97
薬学部	薬学科	秦 季之	物理化学Ⅰ	PP6PHY1120	金	2時限	93
薬学部	薬学科	番匠谷 研吾	製剤の性質	PP6CLP3380	月	3時限	99
薬学部	薬学科	半田 由佳	微生物学	PP6BI01270	火	1時限	91
薬学部	薬学科	広瀬 雅一	薬剤師を取り巻く法規	PP6LAS3100	木	2時限	98

薬学部	薬学科	前原 昭次	漢方薬物治療学	PP6CLP1160	水	2時限	91
薬学部	薬学科	前原 昭次	天然物化学 I	PP6CHE2270	木	4時限	101
薬学部	薬学科	松岡 啓輔	薬剤師を取り巻く法規	PP6LAS3100	木	2時限	98
薬学部	薬学科	松岡 啓輔	薬学入門Ⅱ	PP5MBS1140	金	3時限	92
薬学部	薬学科	松岡 浩史	分子遺伝学 I	PP6BI01320	火	2時限	92
薬学部	薬学科	道原 明宏	分子遺伝学 I	PP6BI01320	火	2時限	92
薬学部	薬学科	本屋敷 敏雄	放射薬品学	PP6PHY2270	火	2時限	103
薬学部	薬学科	山下 純	患者の視点に立った行動	PP6CLP4420	他	その他	90
薬学部	薬学科	渡邊 正知	機能形態学Ⅱ	PP6BI01120	木	2時限	97
薬学部	薬学科	稗田 雄三	化学の基礎	G03NAS1700	木	2時限	52
大学教育センター	大学教育センター	今井 航	教職概論	QC7TTC1200	金	5時限	103
大学教育センター	大学教育センター	井上 泰	総合的な学習の時間の指導法Ⅱ	QC7TTC3890	金	5時限	23
大学教育センター	大学教育センター	小野 太幹	基礎数学	G03NAS1153	水	2時限	31
大学教育センター	大学教育センター	記谷 康之	Webデザイン入門	G03NAS1902	金	4時限	130
大学教育センター	大学教育センター	佐藤 嘉晃	英語Ⅱ	G02ENG115j	木	2時限	39
大学教育センター	大学教育センター	地主 弘幸	物理現象の基礎	G03NAS1300	水	3時限	51
大学教育センター	大学教育センター	SUZUKI HEATHER ANNE	英語Ⅱ	G02ENG1152	木	2時限	39
大学教育センター	大学教育センター	Tang Warren	英語Ⅱ	G02ENG115k	木	2時限	40
大学教育センター	大学教育センター	津田 将行	地学実験	LM5ERS1152	金	4時限	31
大学教育センター	大学教育センター	前田 吉広	キャリアデザインⅠ	G04CAE1105	火	2時限	74
大学教育センター	大学教育センター	松本 陵磨	英語Ⅱ	G02ENG115d	火	4時限	38
大学教育センター	大学教育センター	劉 国彬	中国語(Ⅱ)	G02CHI115c	火	4時限	38
大学教育センター	大学教育センター	Lowes Jason	英語Ⅳ	G02ENG215t	木	1時限	32
大学教育センター	大学教育センター	高垣 裕子	英語Ⅳ	G02ENG215j	月	3時限	36
大学教育センター	大学教育センター	神野 靖子	音楽	G03AHS1242	火	2時限	8
大学教育センター	大学教育センター	山本 賢太郎	囲碁から学ぶ人間学(2)	G03AHS1840	火	4時限	38
大学教育センター	大学教育センター	田中 宏和	憲法	G03SSL1154	金	2時限	64
大学教育センター	大学教育センター	上村 崇	倫理学(2)	G03THC1300	火	4時限	33
大学教育センター	大学教育センター	高澤 健司	生徒指導・進路指導論	QC7TTC2330	火	1時限	69
大学教育センター	大学教育センター	牧 貴愛	教育制度論	QC7TTC1150	水	4時限	86
大学教育センター	大学教育センター	谷川 充美	日本語表現法	G02JNE110q	月	3時限	46
大学教育センター	大学教育センター	藤井 晶子	日本語表現法2	HM5BDS1300	水	2時限	55
大学教育センター	大学教育センター	外林 省二	書道	G03AHS1123	火	3時限	15
大学教育センター	大学教育センター	木村 真弓	ダンス	G03AHS1680	木	4時限	36
大学教育センター	大学教育センター	平山 直樹	英語Ⅳ	G02ENG2151	金	3時限	27
大学教育センター	大学教育センター	前村 晃子	ドイツ語(Ⅱ)	G02GER1154	木	3時限	40

大学教育センター	大学教育センター	崔 眞英	韓国語（Ⅱ）	G02KOR1157	木	3時限	37
大学教育センター	大学教育センター	遠藤 耕二	哲学（2）	G03THC1150	火	2時限	58
大学教育センター	大学教育センター	齊藤 一彦	体育（2）	G03AHS1483	火	3時限	36
大学教育センター	大学教育センター	岡田 秀一	ドローンで撮る地域の魅力	G03RST1400	木	4時限	30
大学教育センター	大学教育センター	藤本 路加	陶芸	G03AHS1207	金	3時限	19
大学教育センター	大学教育センター	渋谷 清	絵画	G03AHS1162	火	3時限	15
大学教育センター	大学教育センター	Soar Benjamin	英語Ⅱ	G02ENG115n	木	2時限	40
大学教育センター	大学教育センター	バーデン 京子	英語Ⅱ	G02ENG115m	火	4時限	39
大学教育センター	大学教育センター	赤松 頌也	フランス語（Ⅱ）	G02FRE1154	木	3時限	35
大学教育センター	大学教育センター	寺澤 優	日本史（2）	G03HIC1151	月	2時限	217
大学教育センター	大学教育センター	Nassr Qolamreza	英語Ⅱ	G02ENG115i	木	2時限	40
大学教育センター	大学教育センター	Kobayashi Dawn	英語Ⅱ	G02ENG115e	火	4時限	39
大学教育センター	大学教育センター	Nassr Elahe	英語Ⅱ	G02ENG115l	木	2時限	37
大学教育センター	大学教育センター	岩崎 克己	ドイツ語（Ⅱ）	G02GER1151	火	3時限	36
大学教育センター	大学教育センター	大庭 フランシス光瑠	イスラム文化	G03HIC1550	火	4時限	114
大学教育センター	大学教育センター	久納 早智	世界史（2）	G03HIC1250	水	3時限	79
大学教育センター	大学教育センター	河 智弘	韓国語（Ⅱ）	G02KOR1154	火	4時限	36
大学教育センター	大学教育センター	俣野 英二	憲法	G03SSL1153	金	1時限	77
国際センター	国際センター	趙 建紅	日本語（5）（留学生用）	G02JN1300	水	3時限	15
共同利用センター	共同利用センター	瀬島 紀夫	情報処理応用	G02INL1153	木	3時限	32
共同利用センター	共同利用センター	鶴崎 健一	暮らしとバイオ	G03NAS1352	水	2時限	131
共同利用センター	共同利用センター	鶴崎 健一	暮らしとバイオ	G03NAS1353	木	1時限	121
IR室	IR室	片桐 重和	I C T 演習	TI6BFS1200	火	3時限	58
社会連携センター	社会連携センター	中村 雅樹	暮らしと物づくり	G03NAS1200	木	5時限	168